人工木材〈木粉配合樹脂〉

人工木デッキ

組立取扱説明書

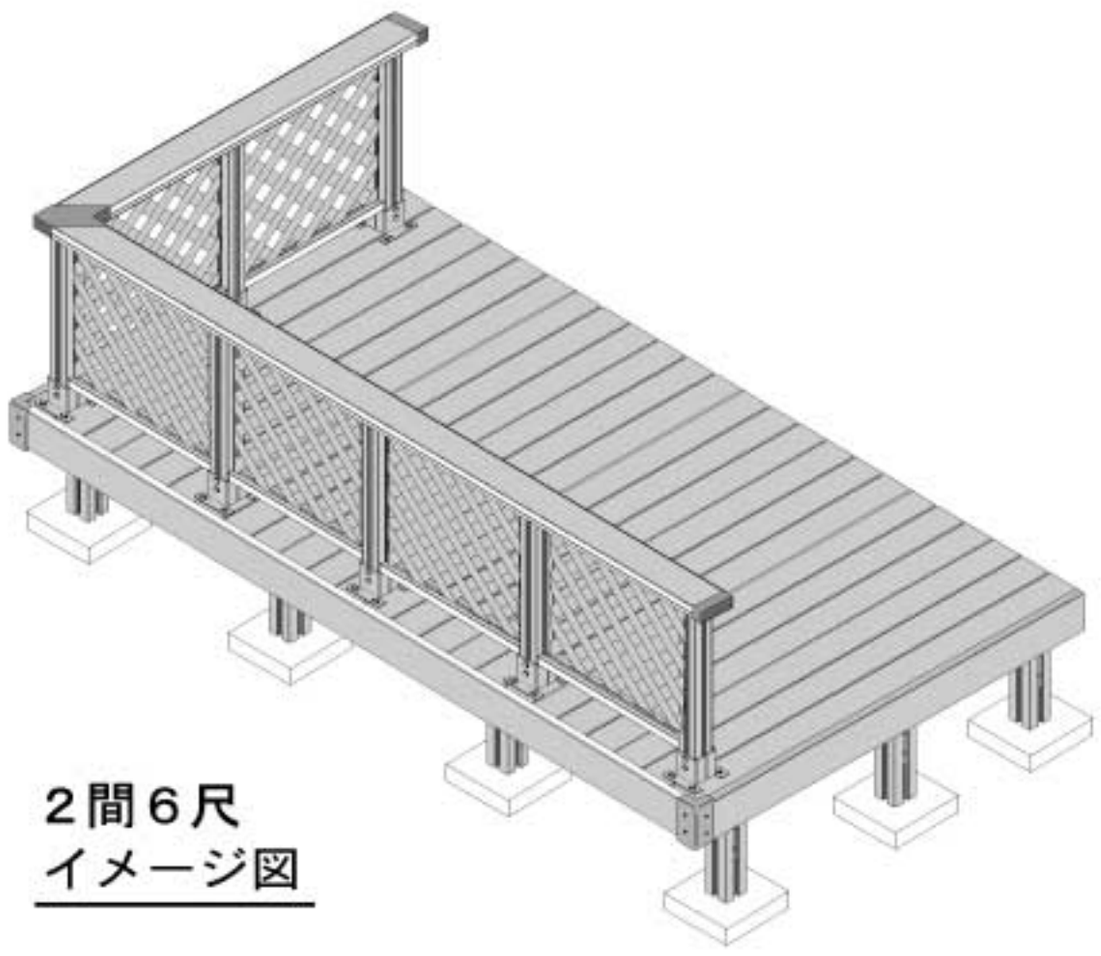
このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本説明書は全タイプ共通説明書となっております。組み立て前に本説明書をよくお読みいただき、手順に従って組み立ててください。

1.5間3尺タイプ　◆ラティス付デッキ ◆オープンデッキ
サイズ：(約) 幅2,718×奥行920mm

1.5間6尺タイプ　◆ラティス付デッキ ◆オープンデッキ
サイズ：(約) 幅2,718×奥行1,820mm

2間3尺タイプ　◆ラティス付デッキ ◆オープンデッキ
サイズ：(約) 幅3,612×奥行920mm

2間6尺タイプ　◆ラティス付デッキ ◆オープンデッキ
サイズ：(約) 幅3,612×奥行1,820mm



2間6尺
イメージ図

※施工店様へ：施工完了後は「組立取扱説明書」はお施主様にお渡しください。

⚠ 組立取扱説明書は大切に保管し、必要な時にお読みください。

もくじ

施工上、使用上のご注意・・・・・・・・2
組立・施工を始める前に・・・・・・・・3
部材数量の確認・・・・・・・・・・・・・・4
規格寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・7
施工場所の確認をします・・・・・・・12
組立・施工方法
手順① 土台を敷き、レッグを並べます。・・・・・・・・13
手順② 大引の順番を確認します。・・・・・・・・・・14
手順③ 大引をレッグにのせます。・・・・・・・・・・14
手順④ 大引に根太をのせ水平レベルをとります。・・・14
手順⑤ レッグを取り付けます。・・・・・・・・・・15
手順⑥ ポスト補強板を置きます。・・・・・・・・・15
※フェンス付きの場合
手順⑦ 根太とポスト補強板を取り付けます。・・・・16
手順⑧ フェンス取り付け側の側面幕板を取り付けます。・・・・・・・・・17
手順⑨ 床板を取り付けます。・・・・・・・・・・・18
手順⑩ 残りの側面幕板を取り付けます。・・・・・・18
手順⑪ 前面の幕板を取り付け幕板コーナーカバーを取り付けます。・・・・19
手順⑫ ポストにポスト金具とラティス受取付金具を取り付けます。・・・・・・・・20
手順⑬ 床板にポストを取り付けてラティス受けを取り付けます。・・・・・・・・21
手順⑭ ラティス格子を取り付けます。・・・・・・・・22
手順⑮ 笠木をカットします。・・・・・・・・・・・22
手順⑯ 手摺を取り付けます。・・・・・・・・・・・24
オプション商品
アルミ調整束組立手順・・・・・・・・・・・・・25
アルミボーダーフェンス組立手順・・・・・・・・26
ステップ組立手順・・・・・・・・・・・・・・・28

◆ 施工上、使用上のご注意 ◆

必ずお守りください。

■ 色について

《色 味》
本製品は原料に木材を使用しておりますので、色のばらつきが生じることがあります。
また、木質感の風合いをもたせるために、表面をサンディング加工しておりますので、芝目のように本製品の長手方向に順目、逆目があります。施工後、光の当たり方や見る方向、角度により色が部分的に違って見えることがあります。
《変 色》
天然木に見られるように、雨や太陽光の影響により初期にある程度変色をしますが、その後はほとんど変化しません。
《しみ》
使用環境によって雨、雪、散水等により製品表面に部分的にしみが残ることがあります。
※除去方法については「お手入れ方法」をご参照ください。
《汚れの付着》
表面サンディングした際の削粉、ご使用中における表面のこすれ又は、雨や太陽光の影響により発生した粉および、
表面に残った煤塵や黄砂等による汚れが付着することがありますので、衣類、洗濯物、布団などが直接触れないようにしてください。

● この現象の対処方法
①衣類等へ粉が付着した場合は、クリーニング店等ご相談ください。
②防止策として、デッキを使用する場合は必ず履物を履いてご使用ください。
又、定期的に『通常のお手入れ』および『定期的なお手入 れ』を実施してください。
特に、使用頻度の少ないところでは使用前に『定期的なお手入れ』を実施してください。

■ アルミカット面の注意

カット面にバリが着いている場合が有りますので十分注意してください。

■ 衝撃について

- 本製品の上に重量物を落とさないようにしてください。割れやへこみ等の原因となります。
- 本製品表面を傘等先端の尖ったもので突付かないでください。破損や変形の原因となります。
- 本製品に強い衝撃を与えないようにしてください。破損の原因となります。

■ その他の注意事項

- 日中の日差しが強い時は表面が熱くなる事がありますので、歩行の際は必ず履物を履いてご使用ください。
特に小さなお子様が使用される時は十分注意してください。
- 製品の特性上、隙間(目地)をあけての施工をお願いしておりますので、隙間に指等を挟まないようご注意ください。
- 本製品表面に灯油、ガソリン、有機溶剤が付着した場合はすぐに拭き取ってください。変形、変色の原因となります。
- 本製品の上に空き缶や鉄製の物等をおいて、長時間放置しないでください。鉄の錆等でしみができる原因となります。
- 重量物を置かないでください。やむを得ず短時間だけ置く場合は敷板等を上に置いて、荷重が分散するようにしてください。

■ 汚れについて

- 汚れは使用環境に大きく影響されます。特に、工業地、海岸地域、排気ガスの多い場所ではお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れが付着した場合は、頑固な汚れになる前に清掃を行ってください。

■ お手入れの際の注意事項

- ひどい汚れを落とす場合でも、強酸、強アルカリ、シンナーやベンジンなどの有機溶剤、石油類は使用しないでください。
- 洗剤はきれいに洗い流してください。洗剤が残ると変色の原因となります。
- 高圧洗浄機での洗浄も可能ですが、水圧によっては製品の木目加工に影響を及ぼしたり、製品表面に跡が残る場合がありますので、影響の無い箇所(製品の端等)で状況を確認してからご使用ください。

■ お手入れ方法

『通常のお手入れ』
- 本製品についたごみや埃は、ほうき等で取り除いてください。汚れている部分は柔らかい布かスポンジで水拭きした後に乾拭きしてください。

『汚れのひどい場合』
- 中性洗剤を所定の割合まで希釈し、布巾などで部材の長手方向に拭き、
水で洗剤をきれいに洗いながしてください。

『定期的なお手入れ』
- 月に１～2回程度の頻度で、柔らかい布やスポンジ等で水拭きした後に乾拭きをしてください。

『しみ』
- 雨しみ除去(使用環境により雨、雪等により、製品表面に部分的なしみが残ることがあります)

①通常のお手入れ方法で、本製品の表面のゴミやホコリ、汚れを除去します。
②散水ホース等を用いて、本製品全体に表面が完全に濡れるように十分散水します。
③散水終了後に自然乾燥しますとしみを目立たなくすることができます。
※製品表面に水が部分的に残っている場合は必ず乾拭きをしてください。

『傷、こげあと』
- 製品表面についた傷やこげあとの除去

①通常のお手入れ方法で、本製品の表面のゴミやホコリ、汚れを除去します。
②傷、こげあと部分をサンドペーパー(＃24～40)で長手方向に擦り、傷、こげあとを取り除きます。
③傷、こげあとを取り除いた後、削粉を清掃します。
※初期の表面と若干異なることがありますので、お手入れ周辺を含め全体的ぼかす感じですることがポイントです。

『カビ』
表面上の凹凸にカビが発生する場合があります。ブラシなどで除去してください。

■ 加工・塗装について

本製品は通常加工(切断、穴あけ、面取りなど)であれば木材同様の工具が使用可能です。
穴あけ後、保持力が低下します。
本製品を長さ方向へ切断しますと、変形する場合がございますので、そのような使用はお避けください。

■ 保管方法について

本製品を保管する場合は、立てかけずに平坦な場所に平置きしてください。変形の恐れがあります。
直射日光や暖房器具に近いなど、高温になる環境を避け、雨や水などのあたらない場所へ保管してください。

■ 温度特性について

本製品は原料に使用している樹脂の特性上、周囲の温度差により若干の伸縮があります。

■ 燃焼について

- 本製品は可燃性ですので、周辺での火気の取り扱いには、十分ご注意ください。
- 本製品の上でたき火などをしないでください。
- 本製品の上で暖房器具やバーベキューコンロ等を使用しないでください。
- 本製品の着火点は天然木とほぼ同じですので、天然木が燃えるような条件下では燃えてしまいます
- 本製品が万が一着火、発火した場合は水散布、各種消火器にて消火してください。

点検とメンテナンス

デッキ使用の場合、デッキ下部の水はけが悪くなる ことで湿度が高くなり、本製品に悪影響をおよぼす可能性がありますので『定期的なお手いれ』と併せて、年に3～4回の頻度で点検、メンテナンスを行なってください。

〈点検箇所ポイント〉
- 水溜りの原因をなくすための目地、隙間、間隔が確保できているか？
(目地にゴミ等がつまっていないか)
- 下地及び排水溝にゴミが溜まってないか？
(溜まっている場合は掃除を実施してください。)

組立・施工を始める前に

★組立・施工を始める前に本書「組立取扱説明書」を良く読んで全体の流れをつかんでください。

★組立・施工を始める前に別紙部材表を参照して全ての部材が揃っていることを確認してください。

★組立・施工をする際は必ず「組立取扱説明書」に従って組み立てをしてください。

★安全のため必ず2人以上で組立・施工を行ってください。

★製品変形防止のため部材は必ず平らな場所に保管してください。

★ケガをしないよう、組立・施工の際は軍手などをご使用ください。但し電動ドライバーをご使用の際は軍手をしたまま施工をすると、巻き込まれる危険がありますので、軍手を使わず素手でお使いください。

〈組立・施工に必要な道具〉

●電動ドライバー
インパクトドライバーをお勧めします。

ビス止の時はビット

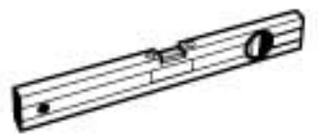
下穴を開ける時はドリル刃
Φ3mm
(3mm以上は 使用しないでください。)

フェンス付ステップ使用時

ボルトを止める時は六角ソケット NO.8

8mm
14mm

●水準器(水平器)



デッキの水平レベル出しをする時使います。

●メジャー

●ノコギリ

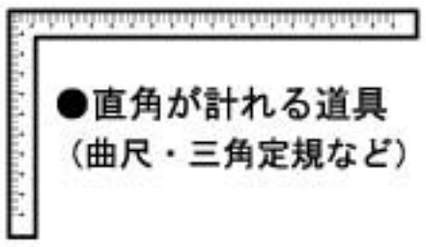
木工用可。
手摺をカットする際に使います。

●カッター

●軍手・皮手袋等

電動ドライバーをご使用の際は、巻き込まれる危険がありますので軍手などを使わず素手でお使いください。

●直角が計れる道具
(曲尺・三角定規など)



〈土台について〉別売

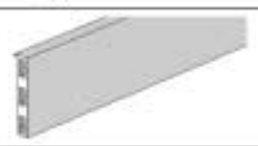
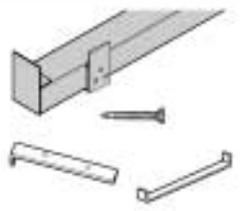
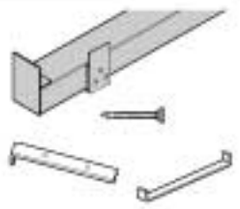
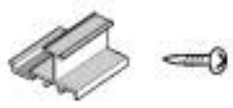
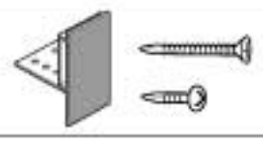
デッキを設置する場所がコンクリート等ではない場合は、地面を硬くならし固めてからデッキレッグの来る位置にコンクリート平板や沓石などを敷き、水平レベル出しをしてください。

注意 地面のならし固めが不十分だったり、水平レベル出しをせずにご使用になるとデッキレッグの浮きが発生する可能性があり、製品変形の恐れがあります。

◆施工前に必ず、部材数量をお確かめください。

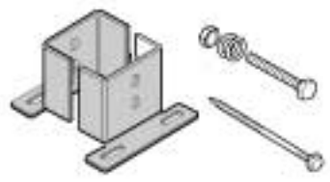
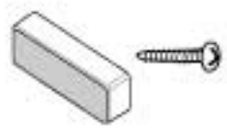
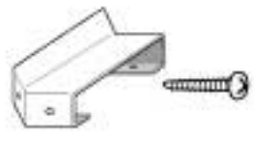
※ご面倒でも組立を始める前に部材の数量をご確認ください。
　万一、不足している部材などがございましたら、施工前にご購入店にご連絡ください。
※部材に破損などがございましたら、施工前にご購入店にご連絡ください。
※施工開始後のご連絡ですと、ご対応に時間を要する為、施工が中途になってしまいますが
　ご了承ください。
※施工場所がコンクリート等で固められていない場合は、必ず土台（コンクリート平板等）
　をご準備ください。土台はレッグ（アルミ調整束）と同じ数量が必要です。

◆デッキ用（オープンデッキ）部材

	商　品　名	イメージ図	1.5間×3尺 数量	1.5間×6尺 数量	2.0間×3尺 数量	2.0間×6尺 数量
1	床板　1800×145×30㎜		—	18本	—	24本
2	床板　900×145×30㎜		18本	—	24本	—
3	幕板　6尺用　側面　1790×145×30(20)㎜		—	2本	—	2本
4	幕板　3尺用　側面　890×145×30(20)㎜		2本	—	2本	—
5	幕板 1.5間用　正面　2718×145×30(20)㎜		1本	1本	—	—
6	幕板 2.0間用　正面　3612×145×30(20)㎜		—	—	1本	1本
7	根太　1.5間用　2678×65×45㎜		3本	5本	—	—
8	根太　2.0間用　3572×65×45㎜		—	—	3本	5本
9	6尺　大引セット ※右用1本、左用1本、センター用2本 鉄板ビスΦ4.2×32㎜　32本 幕板治具1個、根太間隔治具1個		—	1セット	—	1セット
10	3尺　大引セット ※右用1本、左用1本、センター用2本 鉄板ビスΦ4.2×32㎜　16本 幕板治具1個、根太間隔治具1個		1セット	—	1セット	—
11	根太、大引き固定ビスセット 鉄板ビスΦ4.2×13㎜　10本入		3セット(30本) 6本予備	4セット(40本)	3セット(30本) 6本予備	4セット(40本)
12	床板固定金具セット 床板固定金具　10個入 鉄板ビス　Φ4.2×13㎜　10本入		6セット(各60個) 各9個予備	9セット(各90個) 各5個予備	7セット(各70個) 各1個予備	12セット(各120個) 各5個予備
13	幕板コーナーカバー1個 木ビスΦ4.2×13㎜　4本		2セット	2セット	2セット	2セット
14	オプション幕板固定金具1個 鉄板ビスΦ4.2×13㎜4本、Φ4.2×30㎜2本		3セット	3セット	3セット	3セット
15	レック束柱セット (180mm,290mm,400mmのどれかとなります。) レック束柱1本 鉄板ビスΦ4.2×13㎜　4本		8セット	12セット	8セット	12セット

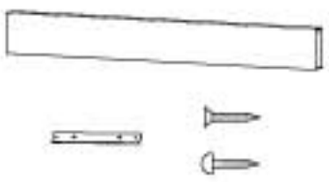
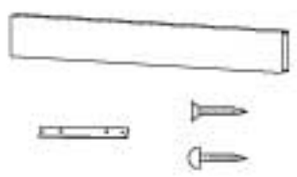
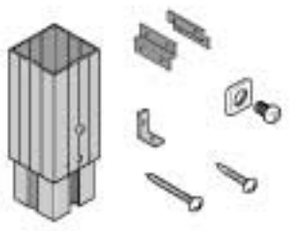
※調整束の場合はオプション部材33番をご確認ください。

◆フェンス付用部材　※オープンデッキの場合は不要

	商　品　名	イメージ図	1.5間×3尺 数量	1.5間×6尺 数量	2.0間×3尺 数量	2.0間×6尺 数量
16	6尺用 ポスト(柱)補強板セット 補強板385×160×42㎜　1個 鉄板ビスΦ4.2×13㎜　4本		―	7セット	―	8セット
17	3尺用 ポスト(柱)補強板セット 補強板365×160×42㎜　1個 鉄板ビスΦ4.2×13㎜　4本		5セット	―	6セット	―
18	ポスト(フェンス用柱) ポスト88×88×820㎜1本		5セット	6セット	6セット	7セット
19	ポスト金具セット ポスト金具1個 、ボルトナットΦ4×30　2本 六角鉄板ビスΦ5.5×100㎜　4本		5セット	6セット	6セット	7セット
20	フェンス金具セット ラティス受取付金具2個、笠木取付金具2個 鉄板ビスΦ4.2×40㎜　2本、木ビスΦ3.5×20　8本 ボルトナットΦ4×30　2本		4セット	5セット	5セット	6セット
21	ラティスフェンス　758×705×16㎜ ※アルミボーダーフェンスを御注文の場合は No.21のアルミボーダーフェンスをご参照下さい。		3枚	4枚	4枚	5枚
22	ラティスフェンス　650×705×16㎜ ※アルミボーダーフェンスを御注文の場合は No.21のアルミボーダーフェンスをご参照下さい。		1枚	1枚	1枚	1枚
23	アルミ入ラティス受　738×80×38㎜		3本	4本	4本	5本
24	アルミ入ラティス受 630 630×80×38㎜		1本	1本	1本	1本
25	笠木　6尺側面用　1780×135×38㎜		―	1本	―	1本
26	笠木　3尺側面用　870×135×38㎜		1本	―	1本	―
27	笠木　1.5間正面用　2650×135×38㎜		1本	1本	―	―
28	笠木　2.0間正面用　3470×135×38㎜		―	―	1本	1本
29	笠木端部キャップセット 笠木端部キャップ1個 木ビスΦ3.5×20　2本		2セット	2セット	2セット	2セット
30	笠木角部キャップセット 笠木角部キャップ1個 木ビスΦ3.5×20　4本		1セット	1セット	1セット	1セット

◆オプション 部材

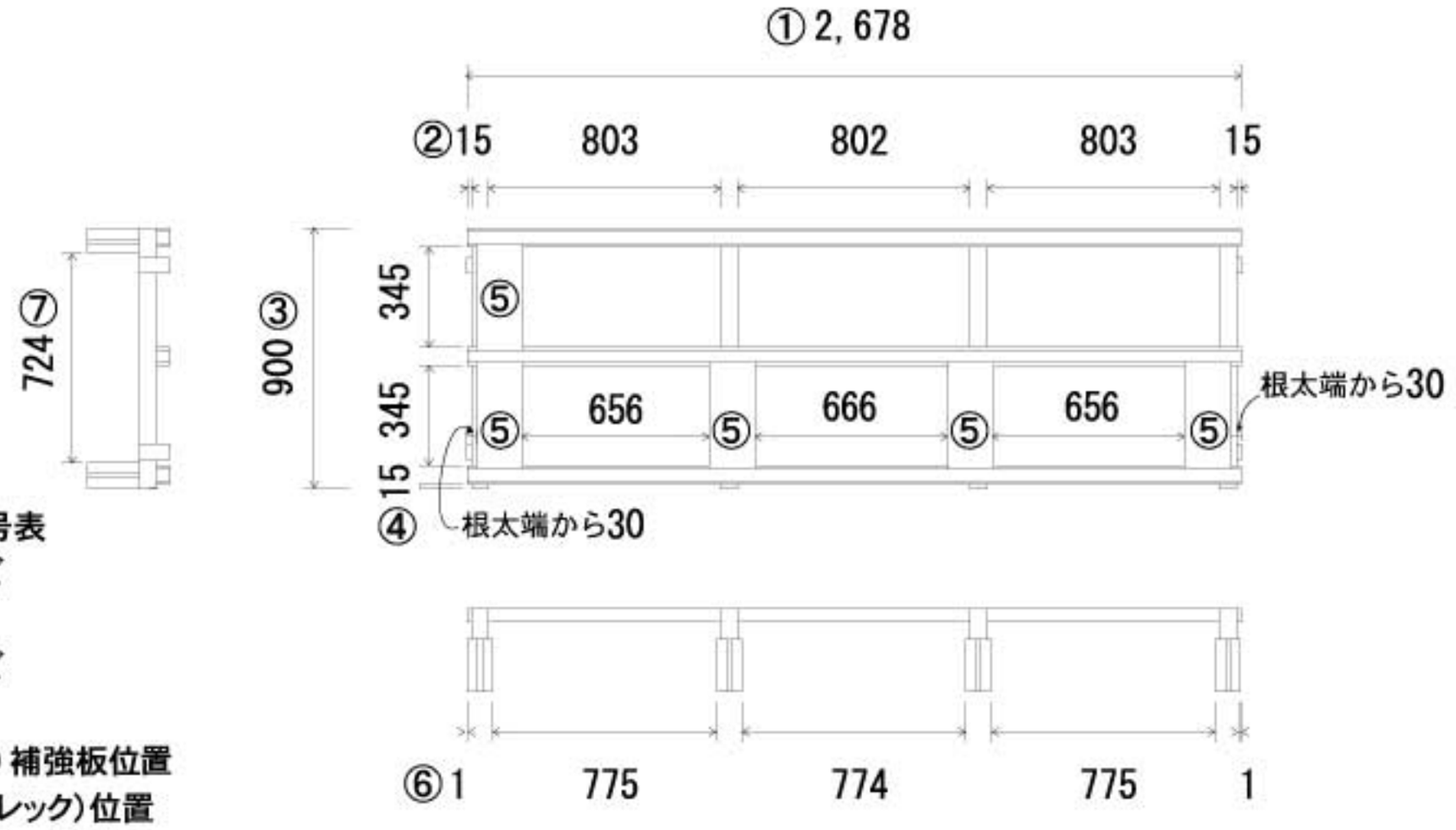
※オプションをご注文いただいた場合です。

	商　品　名	イメージ図	1.5間×3尺 数量	1.5間×6尺 数量	2.0間×3尺 数量	2.0間×6尺 数量
31	アルミボーダーフェンスセット ボーダーフェンス754×100×14㎜　2本 取付金物 140×16×2㎜　2個、鉄板ビス4本、木ビス4本 ※ラティスフェンスを御注文の場合は No.21～22のラティスフェンスをご参照下さい。		3セット	4セット	4セット	5セット
32	アルミボーダーフェンスセット ボーダーフェンス646×100×14㎜　2本 取付金物 140×16×2㎜　2個、鉄板ビス4本、木ビス4本 ※ラティスフェンスを御注文の場合は No.21～22のラティスフェンスをご参照下さい。		1セット	1セット	1セット	1セット
33	アルミ調整束 （L170～280、L270～480、L370～680ｍｍ） 東A、東B　各1本、仮止用ボルト×1組 大引取付用金具×2個、アンカー×1個 アンカー用ビスφ4.2×40 1本 鉄板ビスφ4.2×20　13本		8セット	12セット	8セット	12セット
34	ステップセット 1段ステップセット　800×320×H320mm	 完成図	梱包内容はＰ28をご確認ください。 ※ご注文数量			
35	ステップセット 2段ステップセット　800×430×H430mm	 完成図	梱包内容はＰ28をご確認ください。 ※ご注文数量			
36	ステップセット 3段ステップセット　800×540×H540mm	 完成図	梱包内容はＰ28をご確認ください。 ※ご注文数量			

規格寸法図

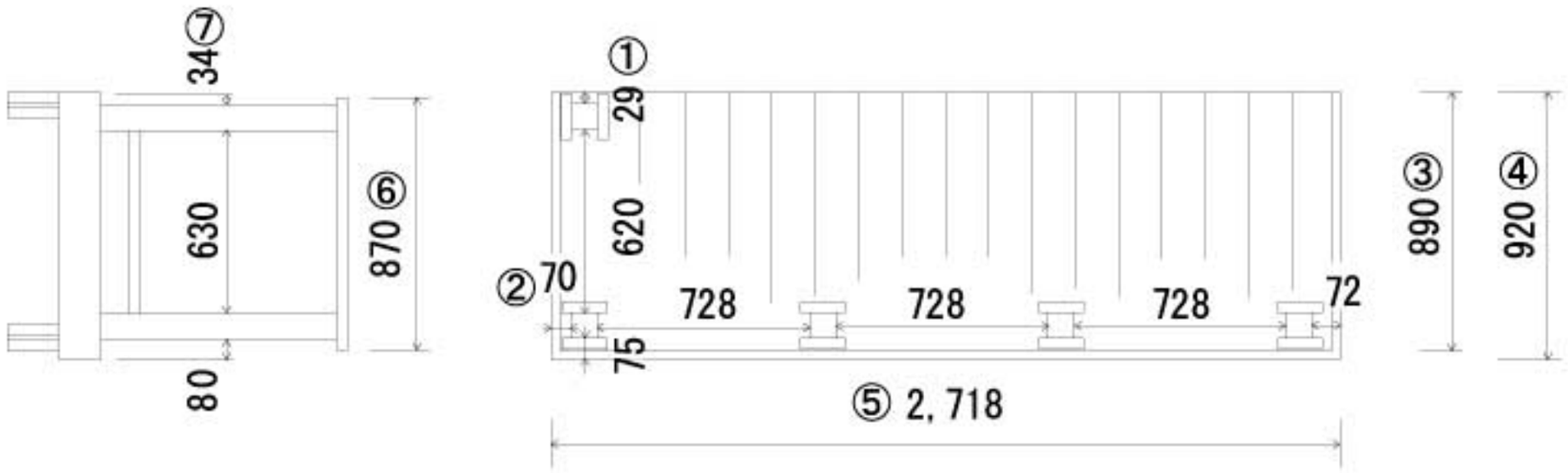
規格寸法図　仕上サイズ：1.5間(2718mm)×3尺(920mm)

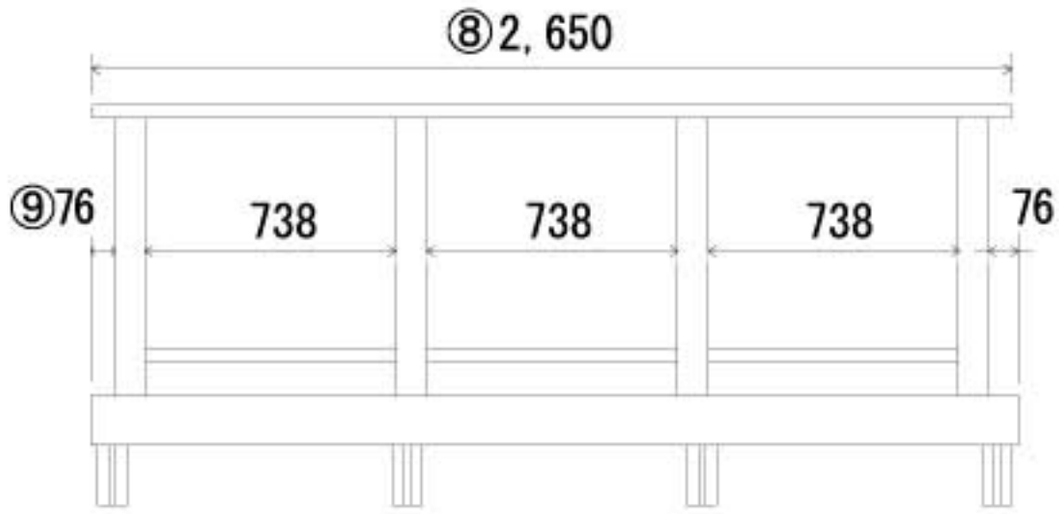
基礎構造



各部規格番号表
①根太サイズ
②大引間隔
③大引サイズ
④根太間隔
⑤ポスト(柱)補強板位置
⑥横幅面束(レック)位置
⑦出幅面束(レック)位置
※⑤はフェンス付きの場合

フェンス付図面

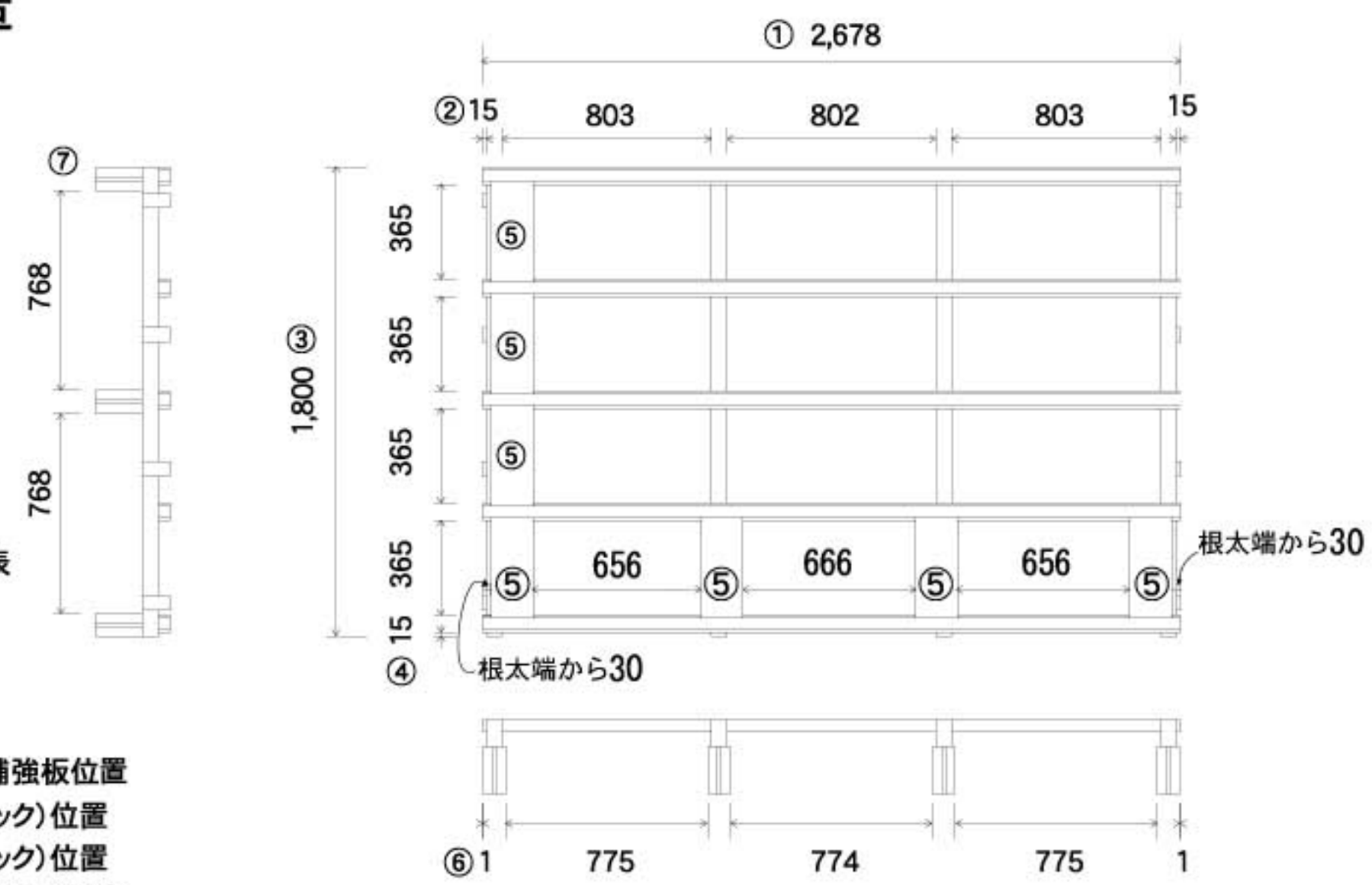




各部規格番号表
①柱固定金具位置(出幅側)ポスト金具間
②柱固定金具位置(横幅側)ポスト金具間
③幕板サイズ(出幅側)
④出幅サイズ
⑤幕板、横幅サイズ(横幅側)
⑥笠木サイズ(出幅側)
⑦ポスト位置(出幅側)
⑧笠木サイズ(横幅側)
⑨ポスト位置(横幅側)
※①②⑥～⑨はフェンス付きの場合

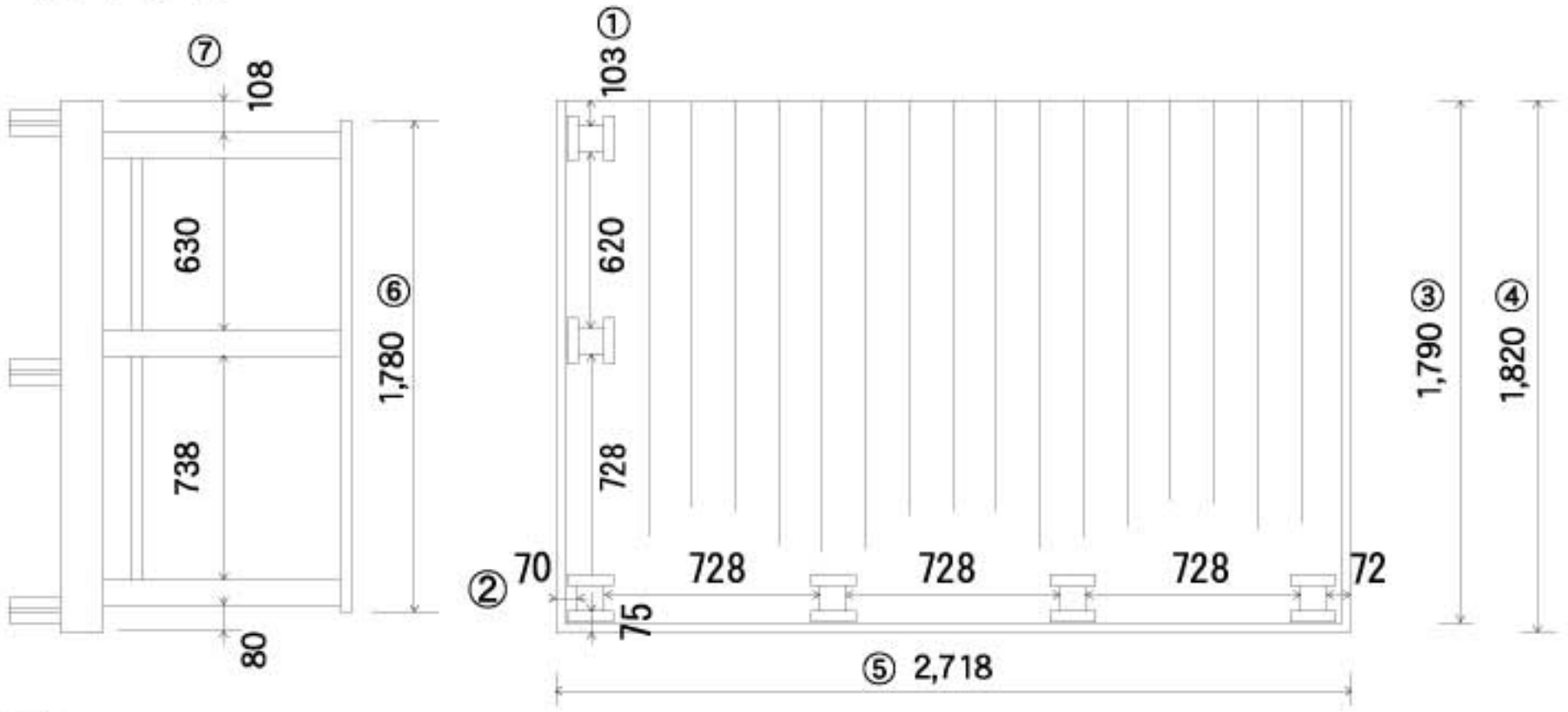
規格寸法図　仕上サイズ：1.5間(2718mm)×6尺(1820mm)

基礎構造

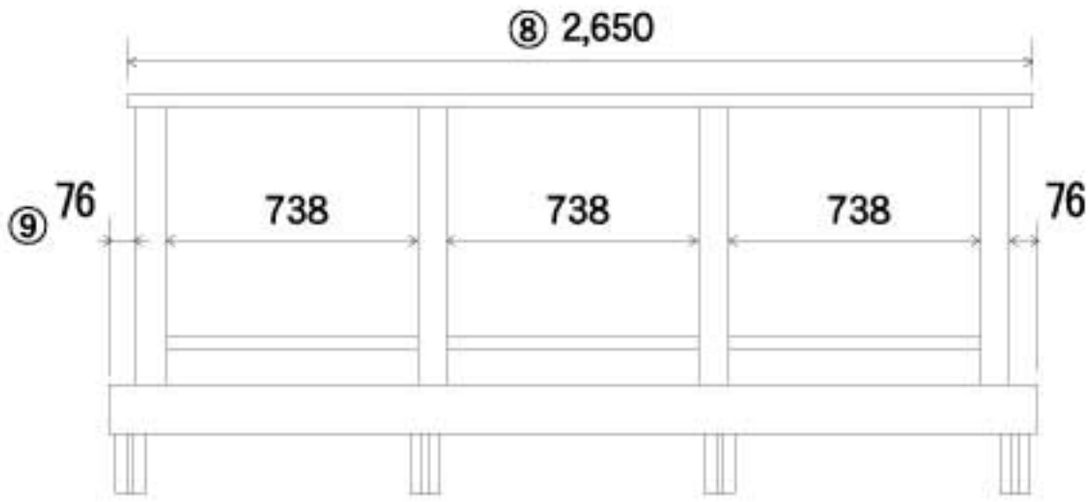


各部規格番号表
①根太サイズ
②大引間隔
③大引サイズ
④根太間隔
⑤ポスト(柱)補強板位置
⑥横幅面束(レック)位置
⑦出幅面束(レック)位置
※⑤はフェンス付きの場合

フェンス付図面

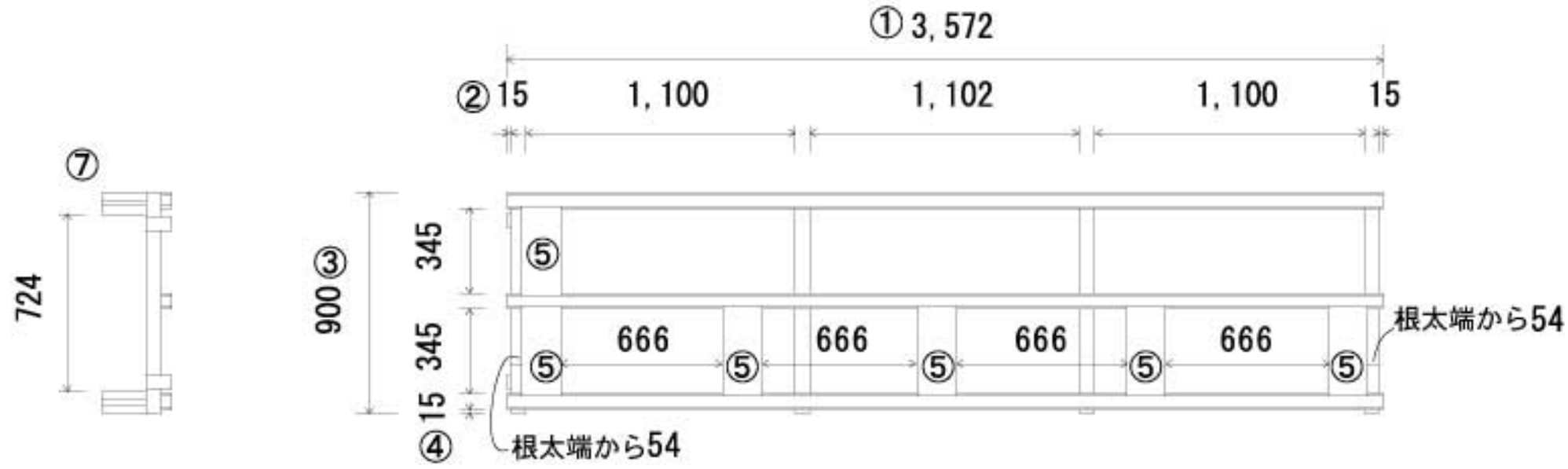


各部規格番号表
①柱固定金具位置(出幅側)ポスト金具間
②柱固定金具位置(横幅側)ポスト金具間
③幕板サイズ(出幅側)
④出幅サイズ
⑤幕板、横幅サイズ(横幅側)
⑥笠木サイズ(出幅側)
⑦ポスト位置(出幅側)
⑧笠木サイズ(横幅側)
⑨ポスト位置(横幅側)
※①②⑥～⑨はフェンス付きの場合



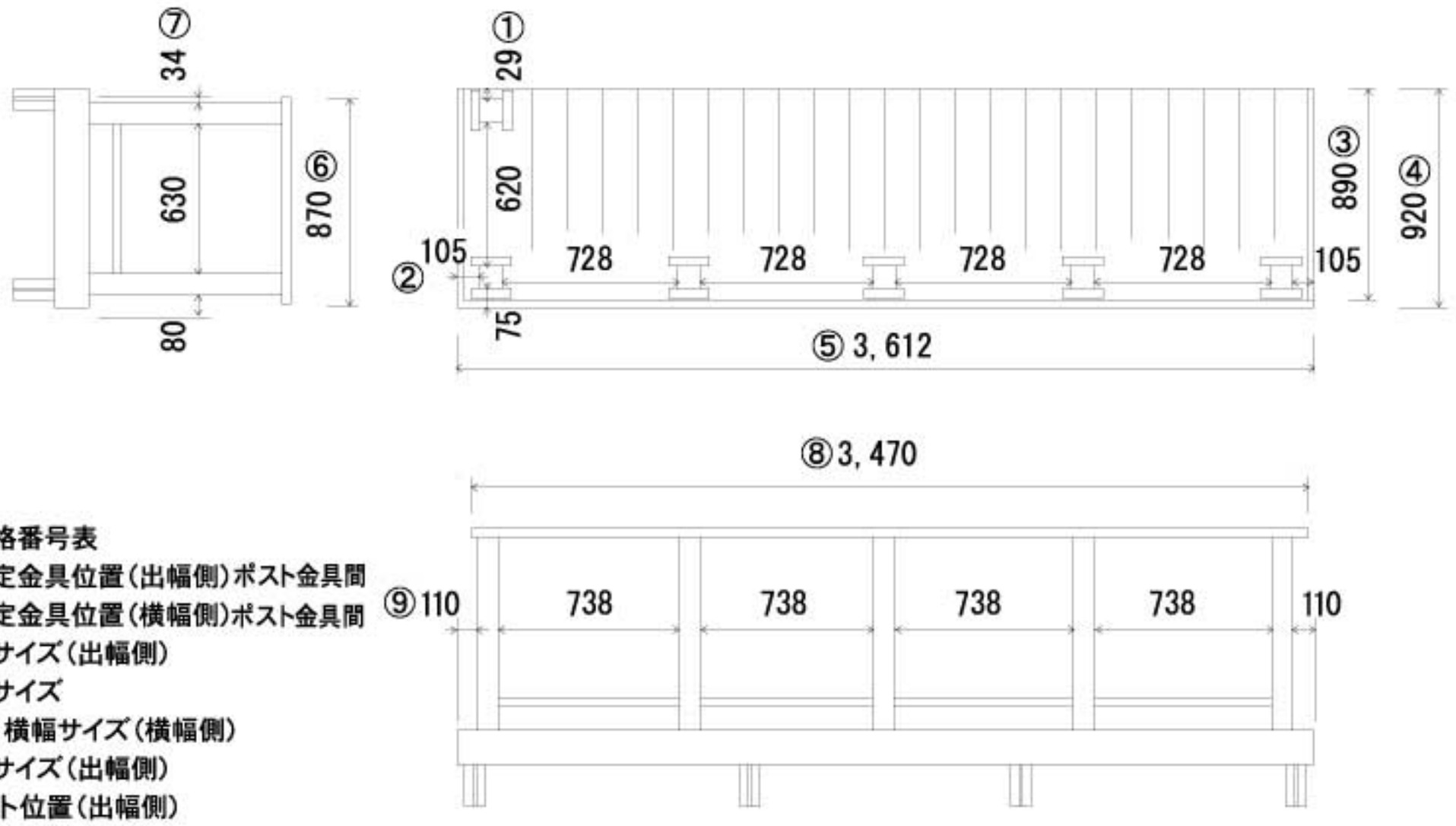
規格寸法図　仕上サイズ ： 2.0間(3612)×3尺(920)

基礎構造



各部規格番号表
①根太サイズ
②大引間隔
③大引サイズ
④根太間隔
⑤ポスト(柱)補強板位置
⑥横幅面束(レック)位置
⑦出幅面束(レック)位置
※⑤はフェンス付きの場合

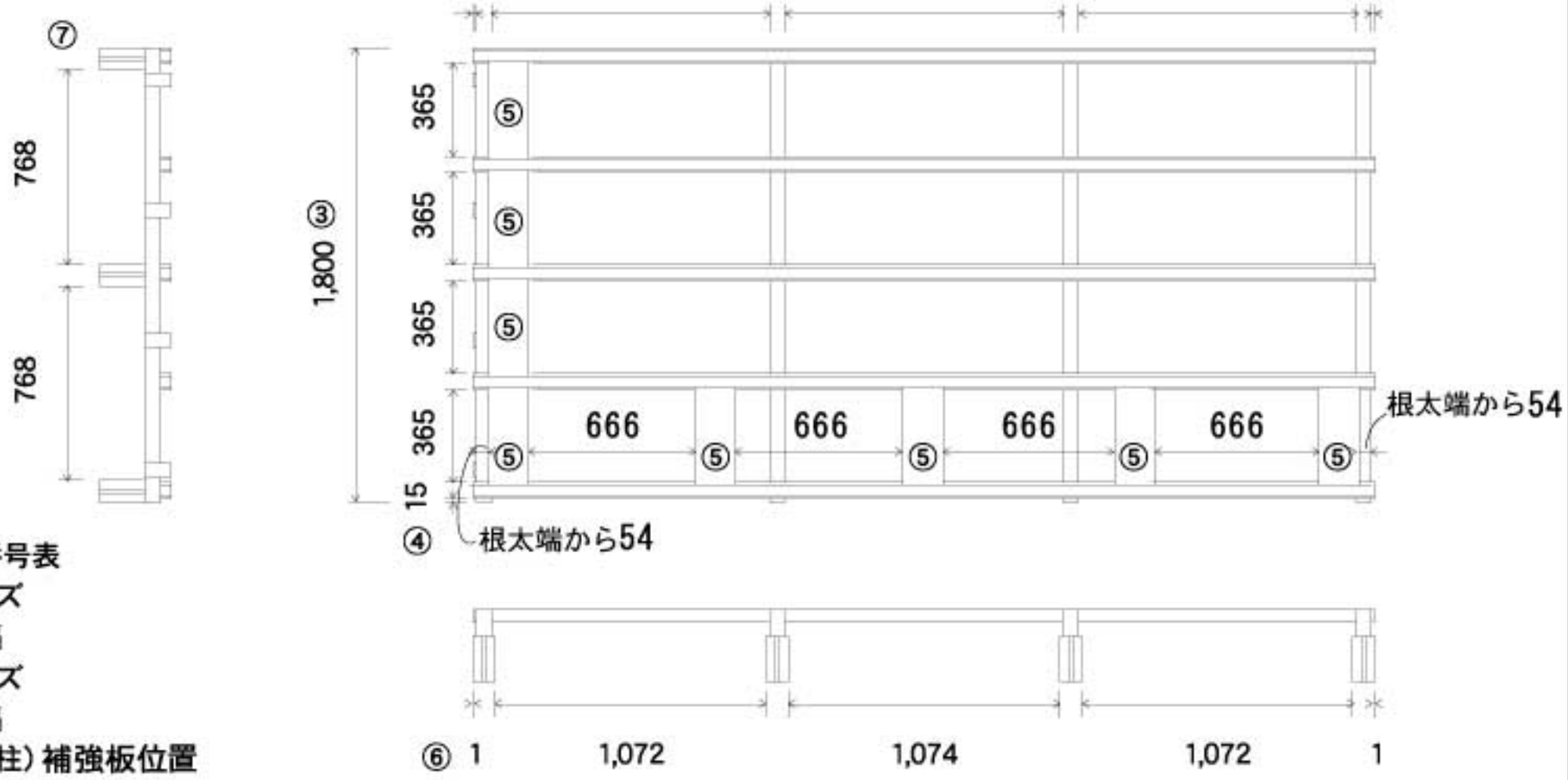
フェンス付図面



各部規格番号表
①柱固定金具位置(出幅側)ポスト金具間
②柱固定金具位置(横幅側)ポスト金具間
③幕板サイズ(出幅側)
④出幅サイズ
⑤幕板、横幅サイズ(横幅側)
⑥笠木サイズ(出幅側)
⑦ポスト位置(出幅側)
⑧笠木サイズ(横幅側)
⑨ポスト位置(横幅側)
※①②⑥～⑨はフェンス付きの場合

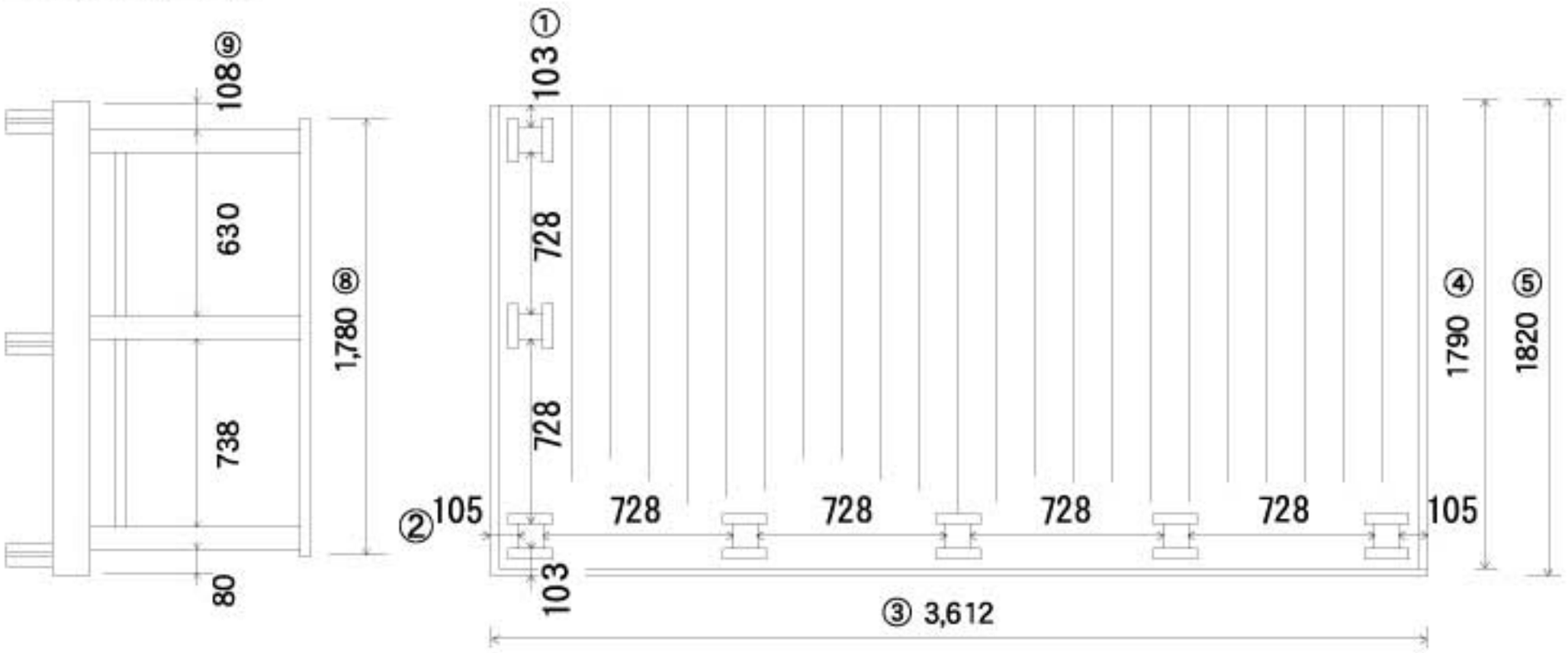
規格寸法図　仕上サイズ ： 2.0間(3612)×6尺(1820)

基礎構造

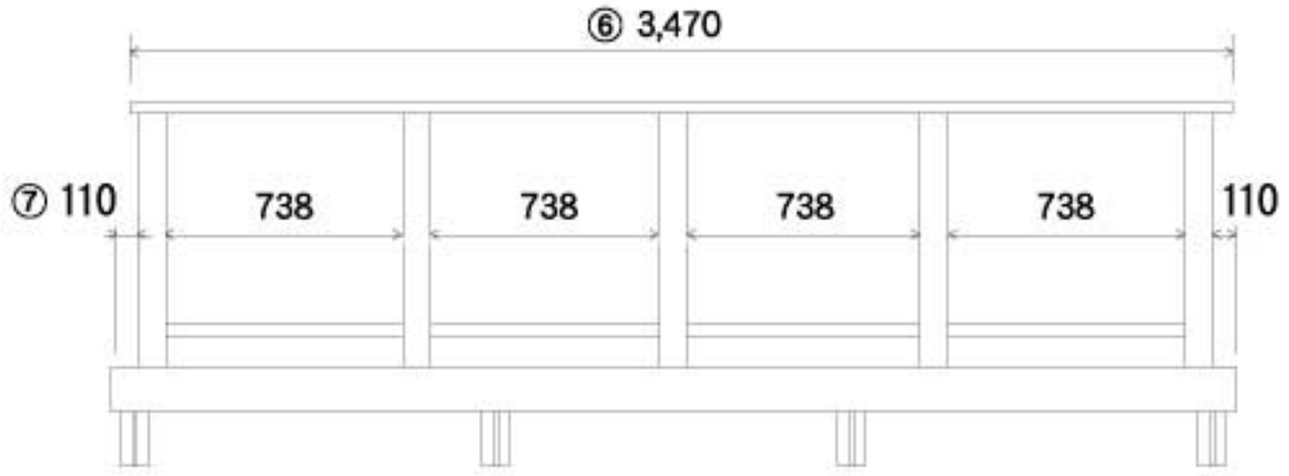


各部規格番号表
①根太サイズ
②大引間隔
③大引サイズ
④根太間隔
⑤ポスト(柱)補強板位置
⑥横幅面束(レック)位置
⑦出幅面束(レック)位置
※⑤はフェンス付きの場合

フェンス付図面



各部規格番号表
①柱固定金具位置(出幅側)ポスト金具間
②柱固定金具位置(横幅側)ポスト金具間
③幕板サイズ(出幅側)
④出幅サイズ
⑤幕板、横幅サイズ(横幅側)
⑥笠木サイズ(出幅側)
⑦ポスト位置(出幅側)
⑧笠木サイズ(横幅側)
⑨ポスト位置(横幅側)
※①②⑥～⑨はフェンス付きの場合



はじめに

この組立取扱説明書は、2間6尺のラティス付デッキ
（フェンス6枚）の場合で図解しております。

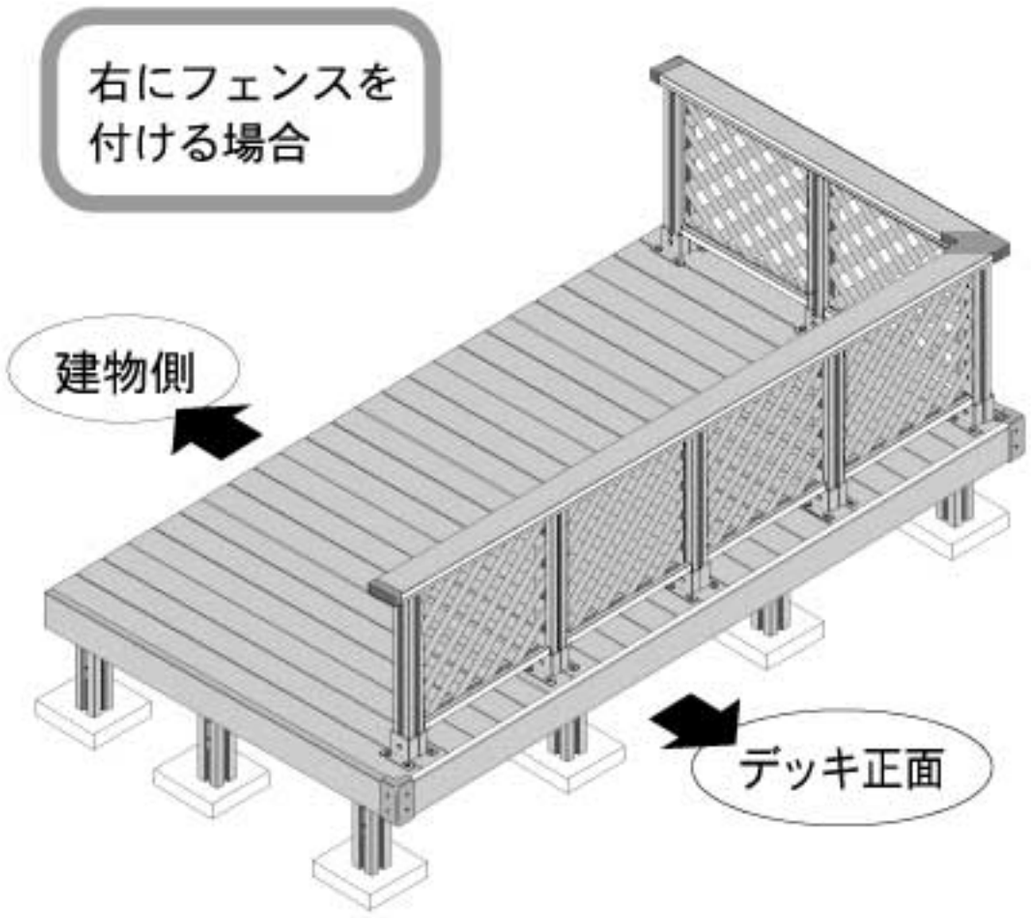
施工場所の確認をします

※デッキを設置する場所の寸法を測り、
　設置可能であることをご確認ください。

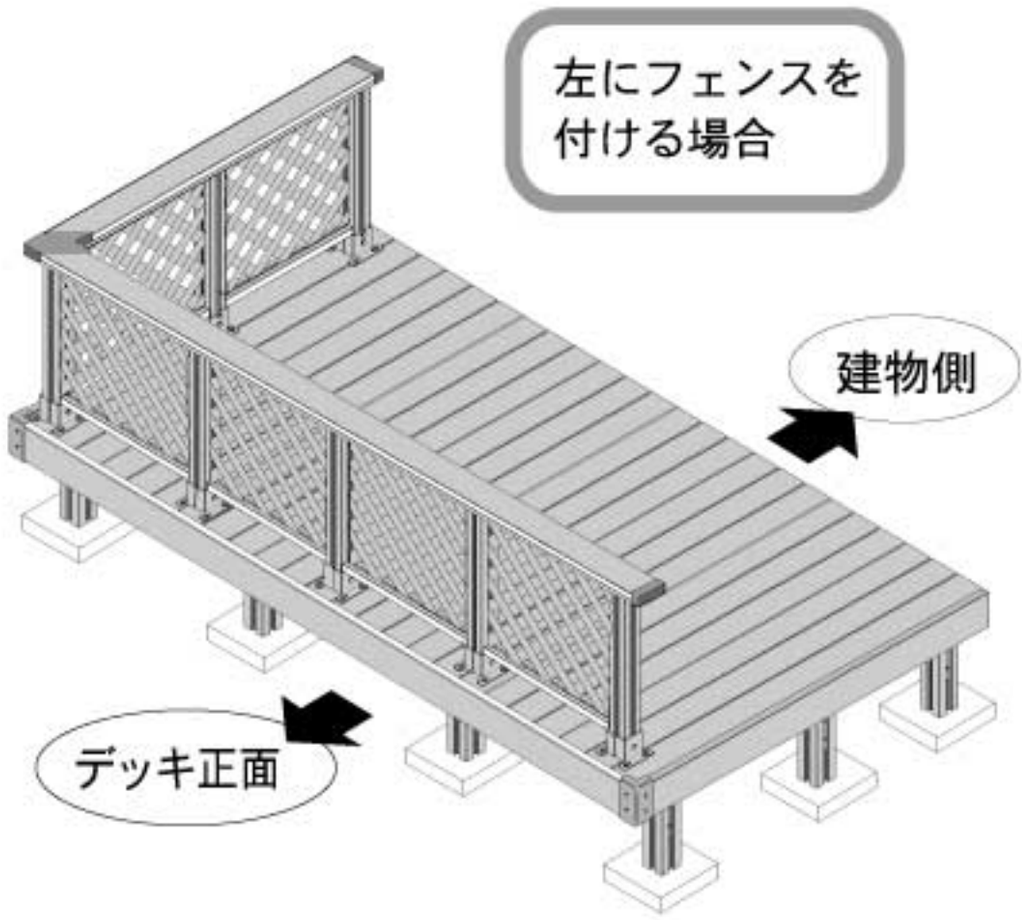
Point
組立・施工上特にご注意
いただきたい内容に
付いているマークです。

Point
フェンスは左右のどちら側でも、お好きな側につけることができます。
ポストの取り付け位置が変わります。

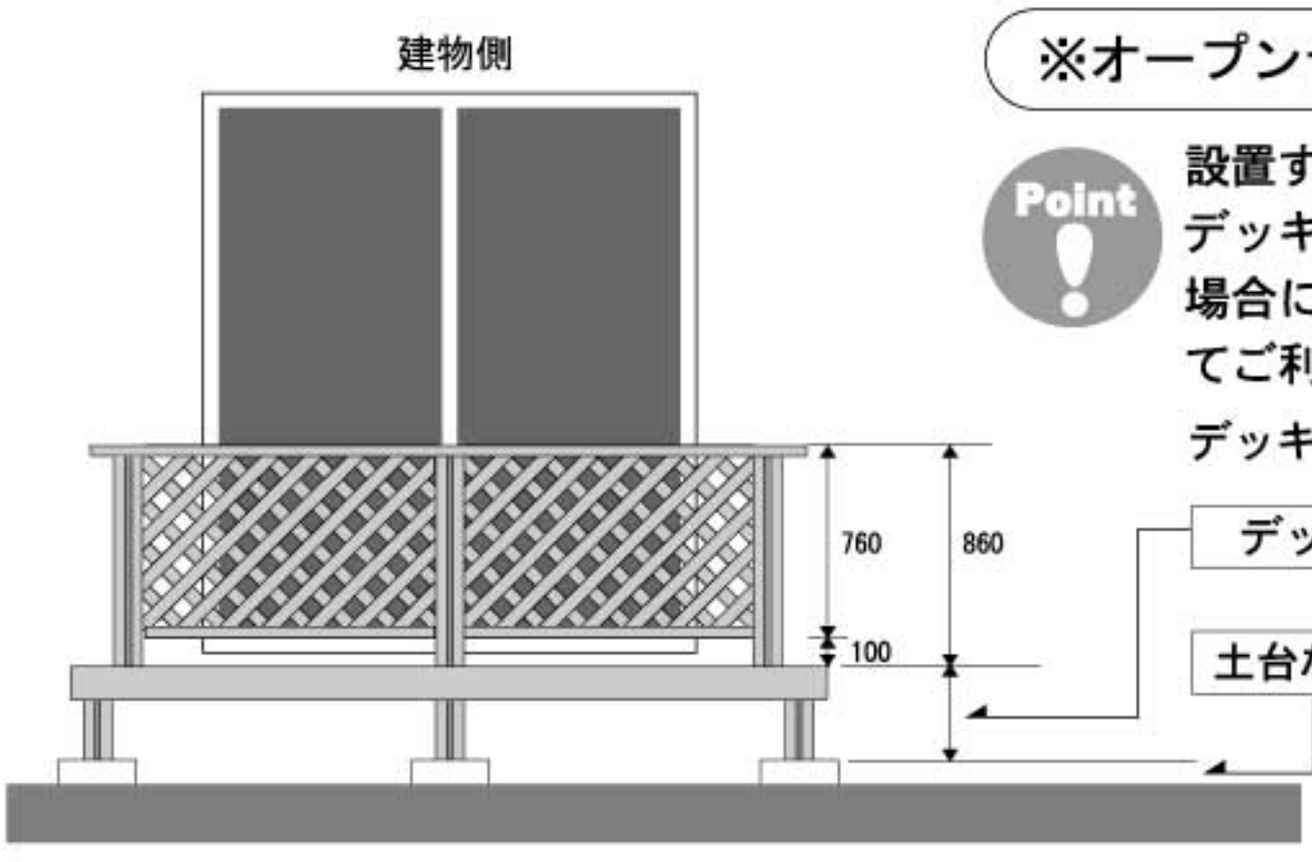
右にフェンスを
付ける場合



左にフェンスを
付ける場合



Point
最初にポストの位置を確認してから組立作業を始めてください。
デッキ端のポストの位置を決めて取り付けていきます。（ポストの取付方法：20P参照）



※オープンデッキはフェンスがありません。

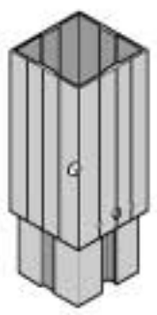
Point
設置する場所が窓際の場合は、窓の高さと
デッキの高さをご確認ください。
場合によっては、土台の厚みなどで調整し
てご利用状況に合わせてください。

デッキの高さ+土台などの厚み＝ **床面高さ**

◆デッキの高さは
320mm、430mm、540mmが
ございます。
◆オプションのアルミ調整束を
お使いの場合の**デッキ高**は
310mm～420mm
410mm～620mm
510mm～820mmがございます。
※お買い上げになったデッキの
高さをご確認ください。

施工開始

組立・施工方法



アルミ調整束

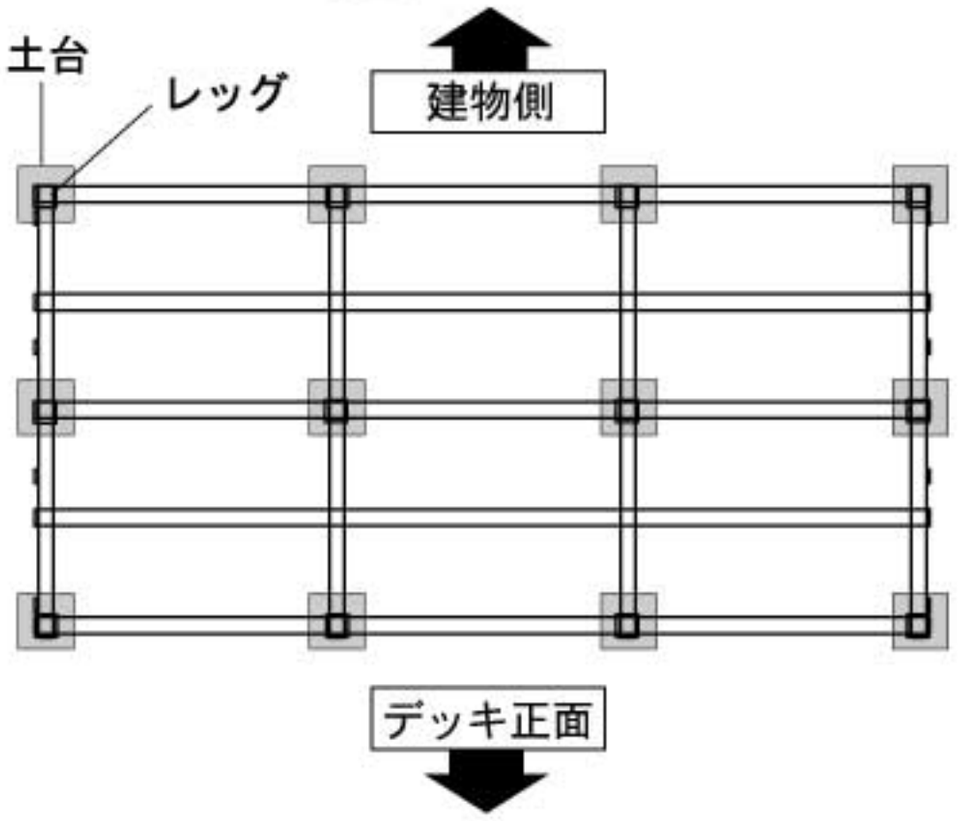
※オプションのアルミ調整束をご利用の場合は
P25の説明に従って
アルミ調整束を組み立ててから
手順①の作業に取りかかってください。

手順1 土台を敷きレッグまたはアルミ調整束を並べます。

設置場所の地面をならし土台を並べます。
土台の上にレッグを置きます。

P8〜P11の「基礎構造図」の ⑥ ⑦ を
参照してレッグの位置を決め、
土台を並べます。

Point
ここでなるべく土台を
綺麗に配列しておくと
後の作業が楽です。

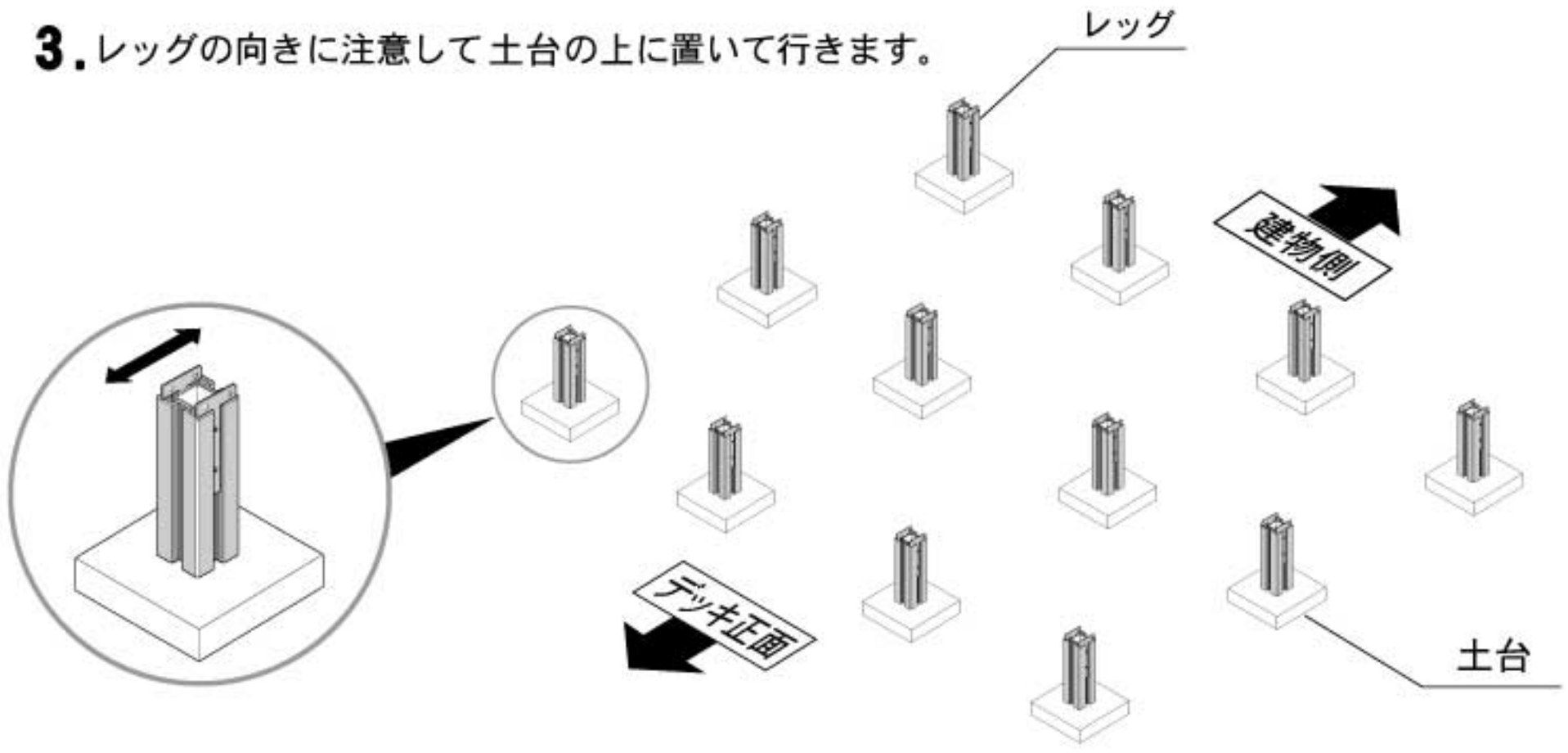


1. 設置場所の地面を、水平になるように
軽くならします。地面を叩いて固めて
ください。

※地面がコンクリートなどの場合は
ならす必要はありません。

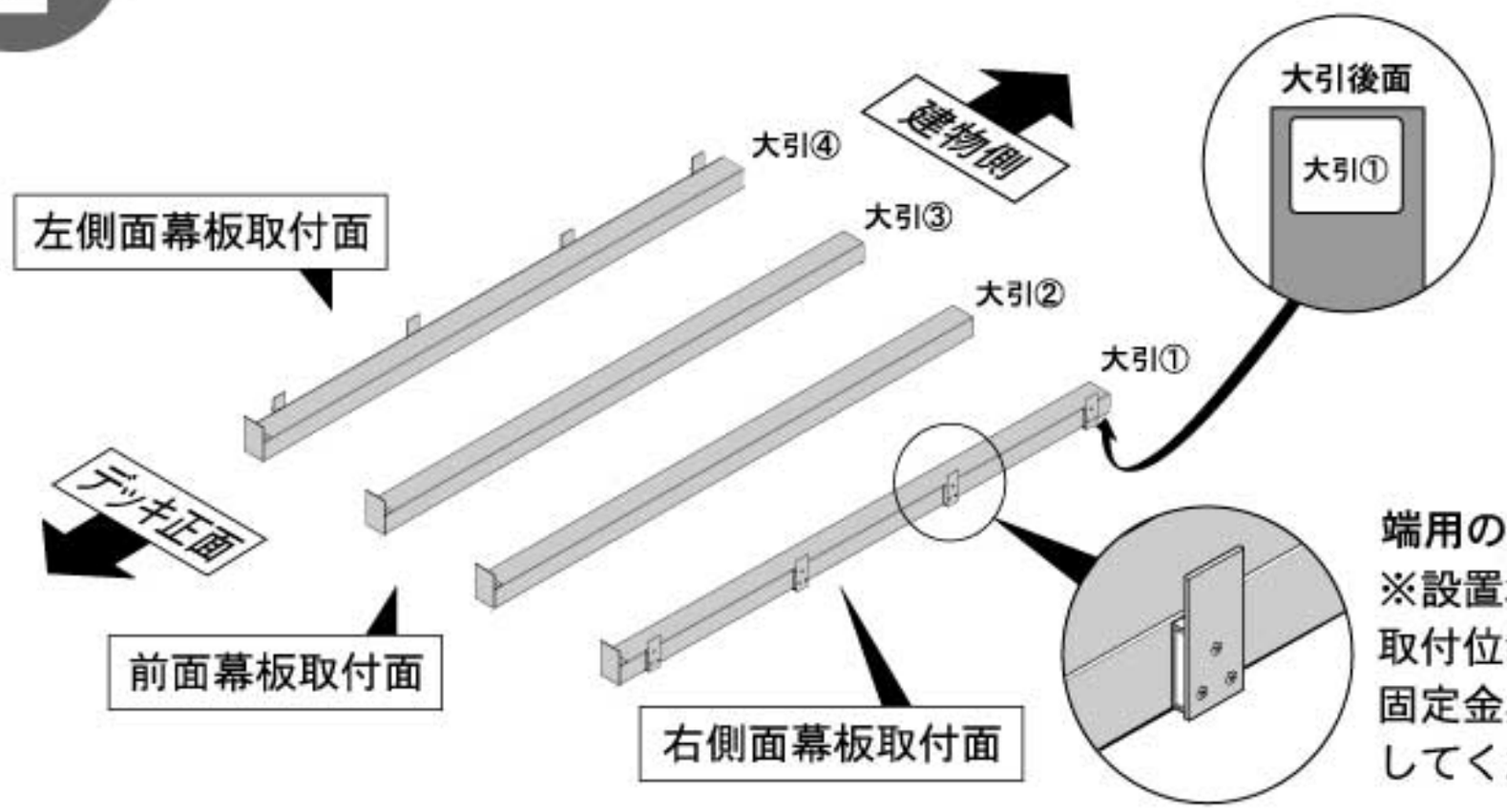
2. レッグのくる位置に土台を並べます。
土台は組立を進めていく際に、必要に応じて
位置を調整していきます。

3. レッグの向きに注意して土台の上に置いて行きます。



手順 2 大引の順番を確認します。

大引についている幕板固定金具の
位置を確認しながら、大引を番号順に並べます。



Point

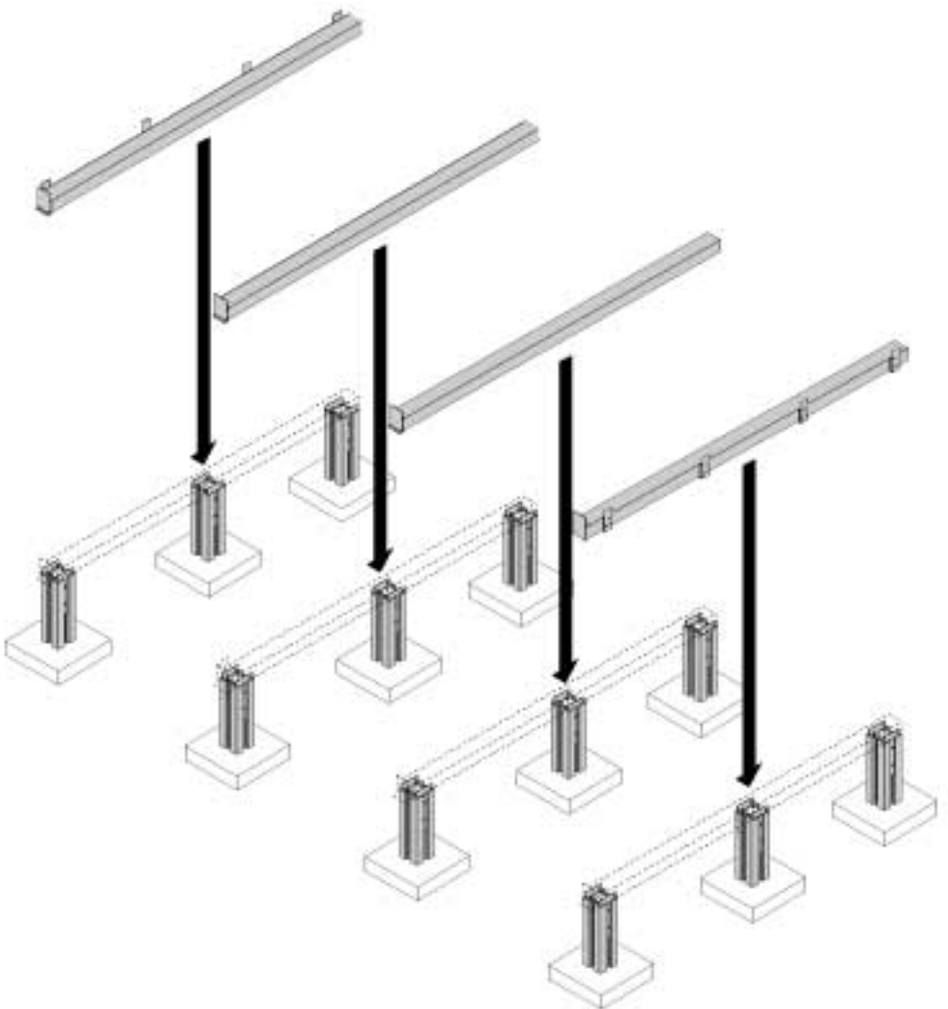
端用の大引の金具位置

※設置場所の条件等でレッグの
取付位置を変える場合は幕板
固定金具の取付位置を調整
してください。

手順 3 大引きをレッグにのせます。

レッグの上に大引を仮置きします。

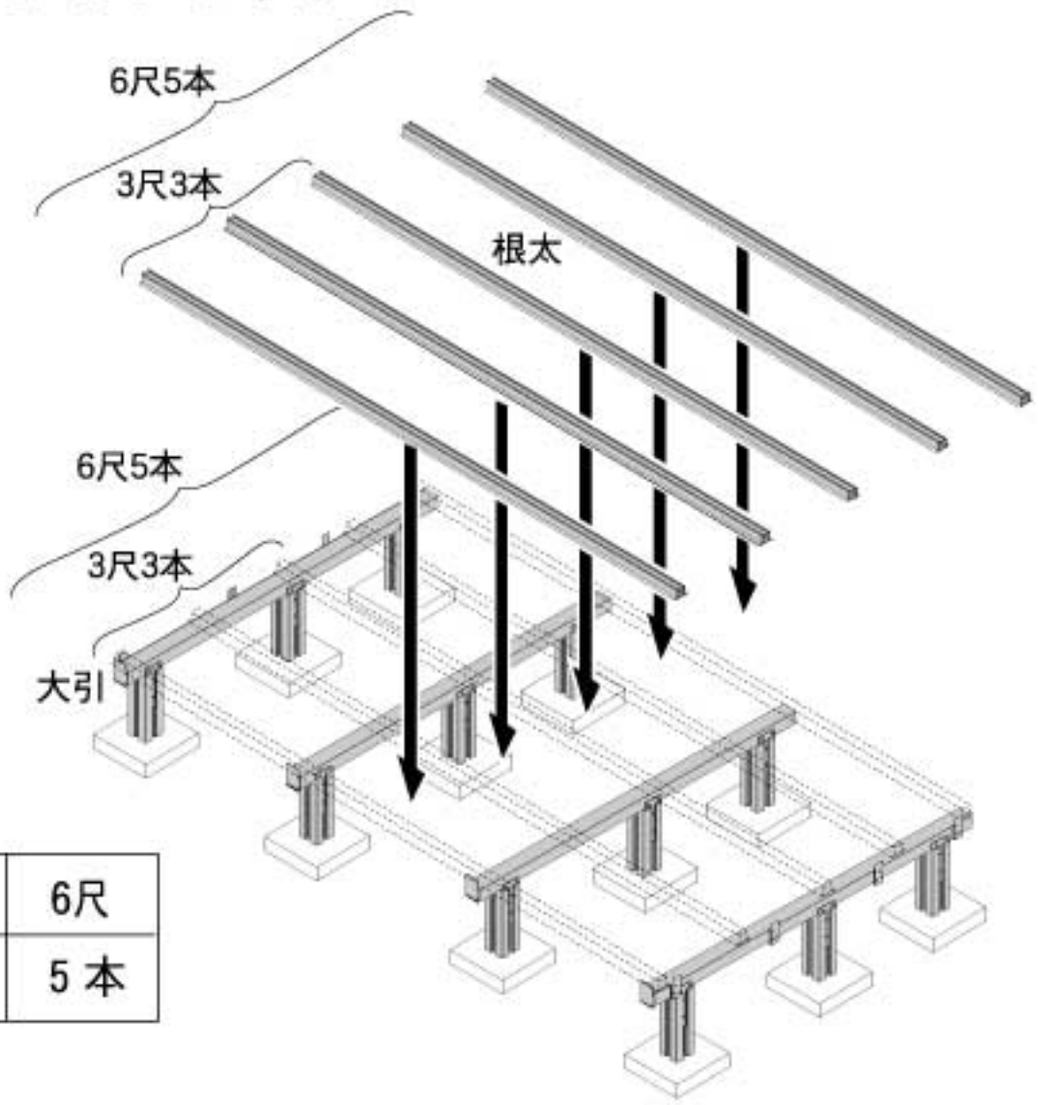
※端用のレッグは上図のように
幕板固定金具より外側に設置してください。

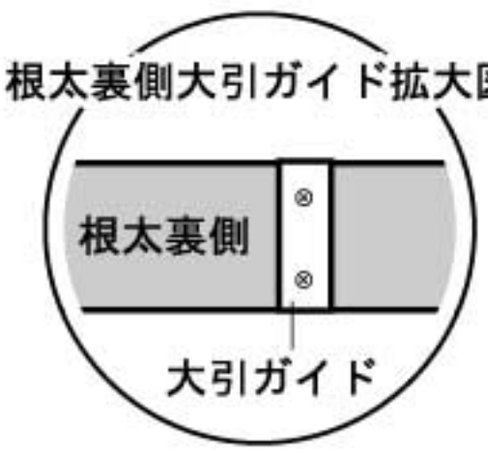


手順 4 大引に根太をのせ、水平レベルをとります。

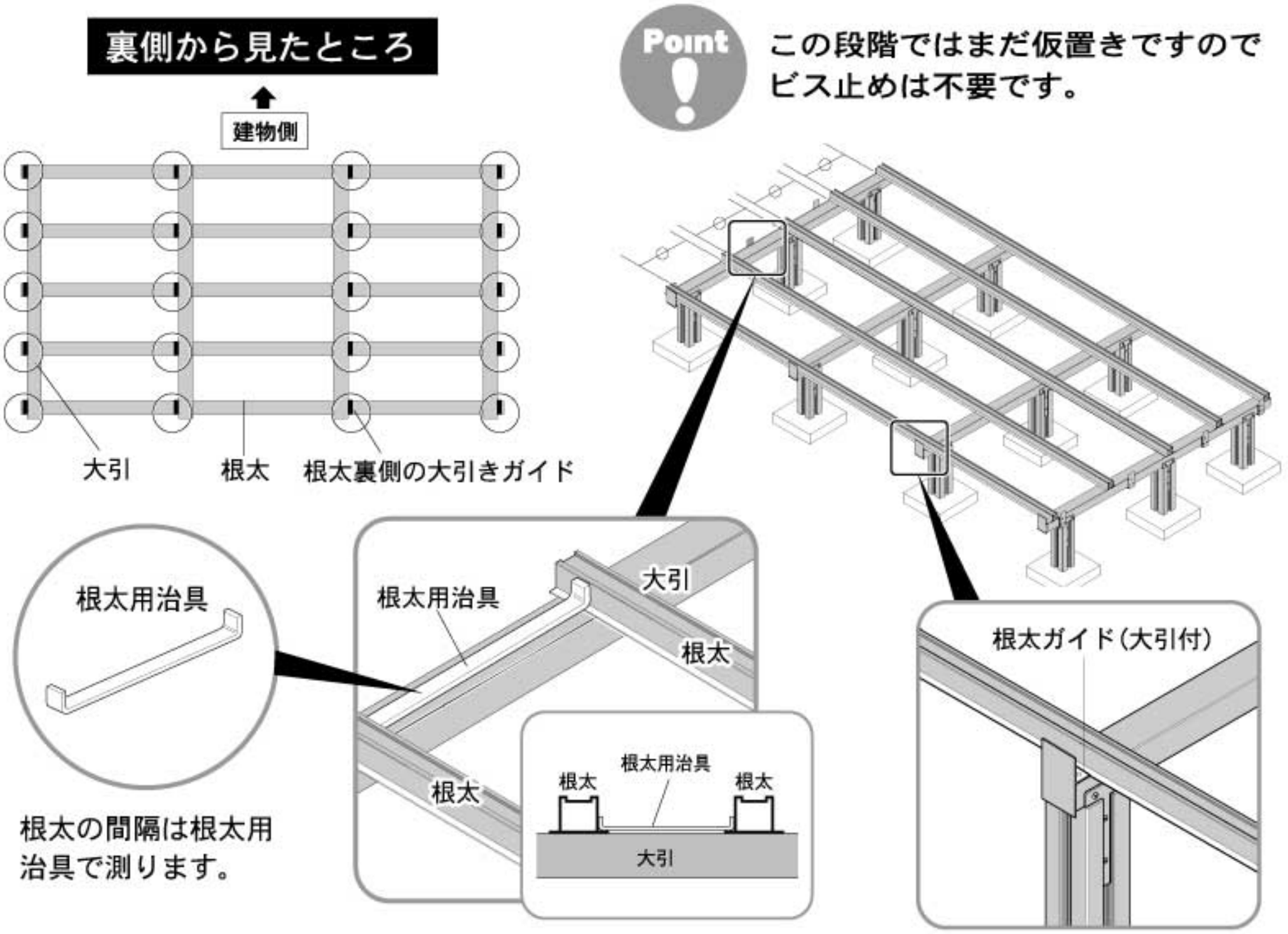
1. 根太裏側の大引ガイドに大引を
沿わせ、根太用治具を使い、根太の
位置を決めていきます。
P8〜P11の「規格寸法図」を参照して
大引と根太を組み合わせます。
治具とガイドは寸法を測る目安として
お使いください。

※状況により大引ガイドは取り外して根太を
ご利用になりましても差し支えございません。

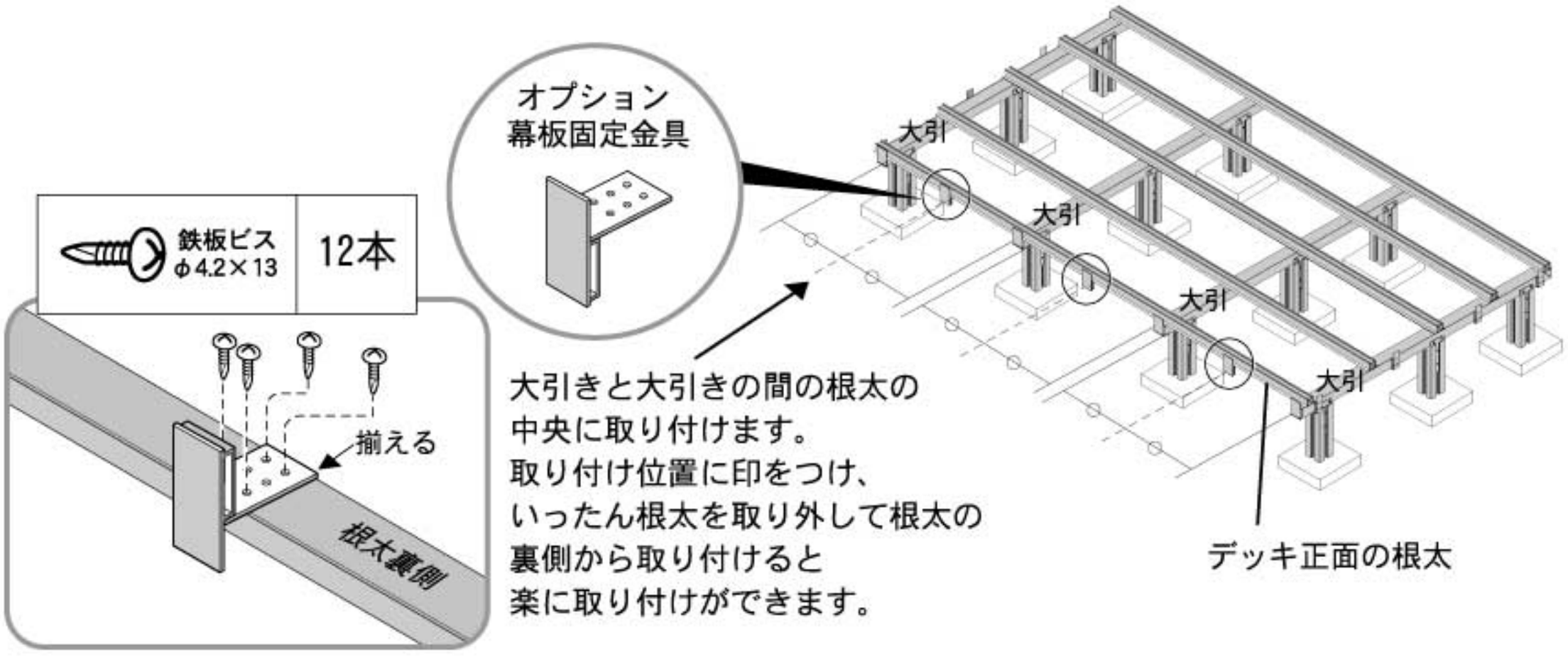




根太	3尺	6尺
	3 本	5 本



2. デッキ正面の根太にオプション幕板固定金具を取り付けます。



ここで水準器(水平器)を使って水平レベル出しをしてください。傾きがあるようでしたらその部分の土台の下に砂利を入れるなどして水平にしてください。

注意
安全、快適にお使いいただく為には
水平レベル出しが必要です。
デッキの傾きは床板などの反り、
ゆがみが生じる原因となり事故など
につながる恐れがあります。

オプションにてステップを購入したお客様で、デッキ正面側にステップの取り付けを行う場合はP29の**「デッキ正面にステップを取り付ける場合」**をご確認ください。

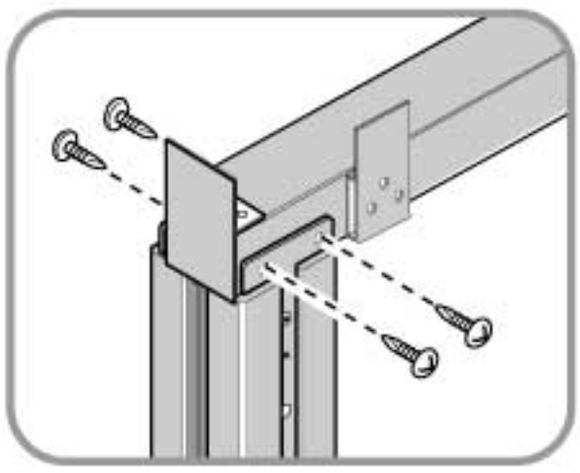
手順 5

レッグを取り付けます。

大引とレッグをビスでしっかりと固定します。

	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
鉄板ビス φ4.2×13	32本	48本	32本	48本

※レッグが手順 3 の位置にあるか確認してください。



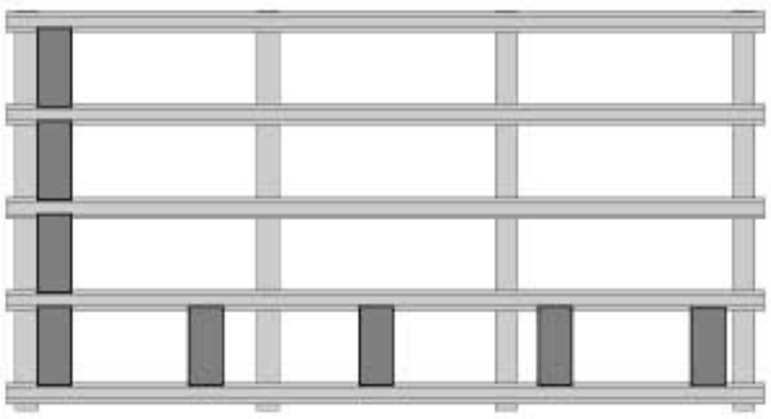
手順 6

フェンス付きの場合はポスト補強板を置きます。

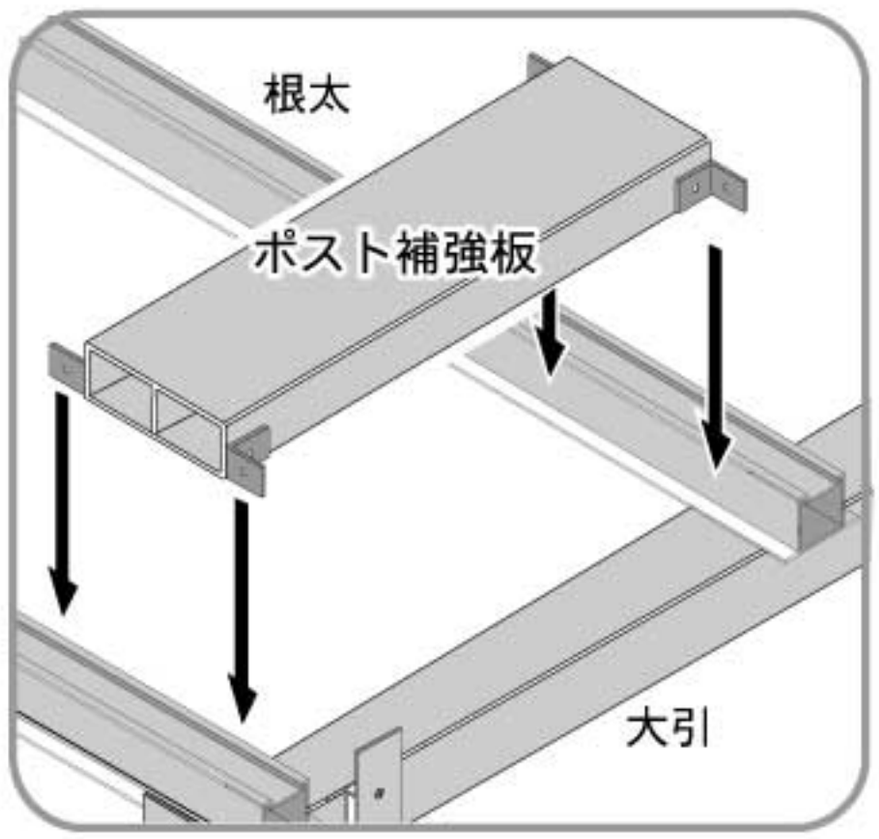
※オープンデッキの場合は手順 7 の1へ
進んでください。

Point

P8〜P11の「規格寸法図」基礎構造⑤ を
確認しながら配置してください。



※左側にフェンスを付ける場合。

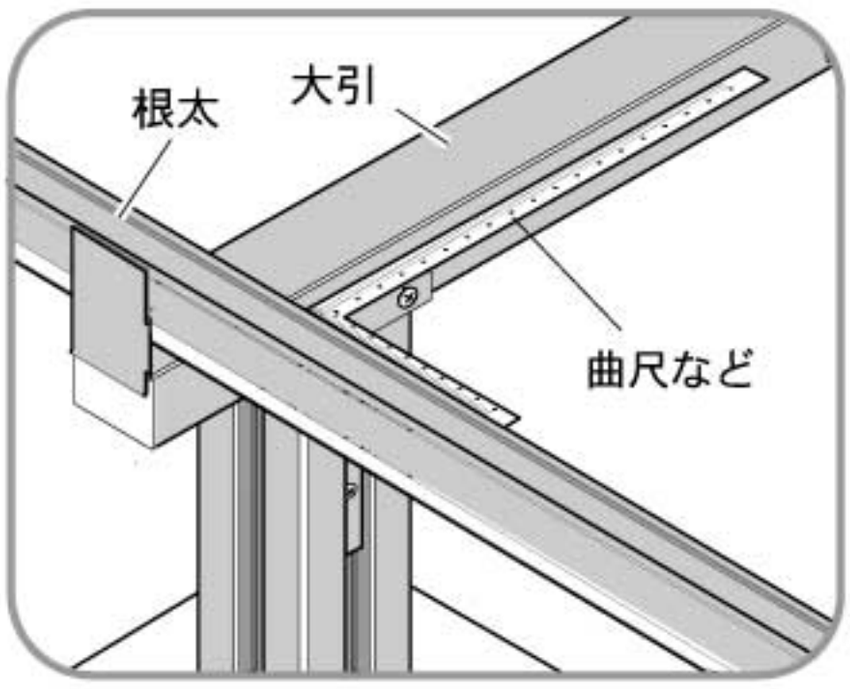


手順 7

根太とポスト補強板を取り付けます。

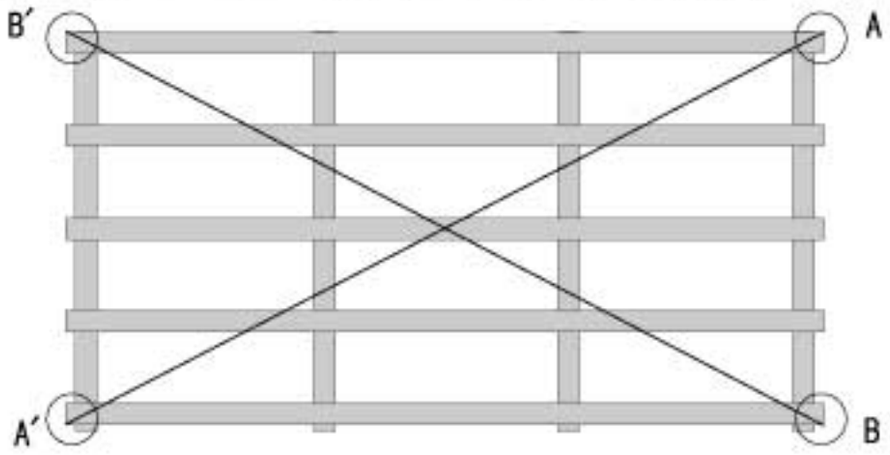
※オープンデッキはポスト補強板は不要です。
大引に根太を取り付けて、
根太にポスト補強板（フェンス付きのみ）を取り付けます。

1. 大引きと根太にゆがみが無いか確認します。



Point

根太を大引にビスで固定していく際に
大引と根太が直角になっているか
確認しながら作業をしてください。
（対角線を計り同寸法にすると直角がとれます。）
※直角がとれていないとデッキの歪みの原因になります。

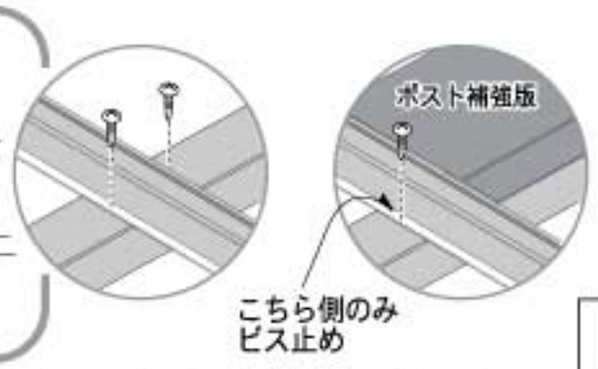


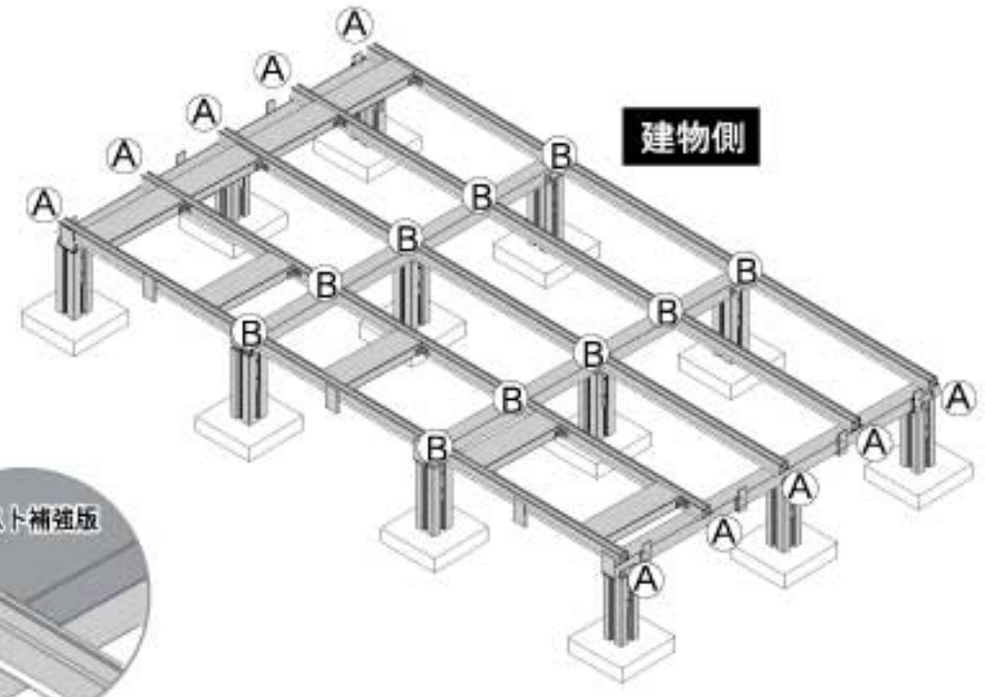
対角線の長さ（約） AA′= BB′	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	282.0cm	321.8cm	368.0cm	399.3cm

2. 大引に根太を固定します。

Ⓐ部
デッキ両端部分のとめ方

Ⓑ部
とめ方





鉄板ビス φ4.2×13	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	24本	40本	24本	40本

※1.5間の場合、ポスト補強版と根太大引き固定ビスが重なる箇所は
ビス止めしないでください。反対側を1箇所ビス止めしてください。

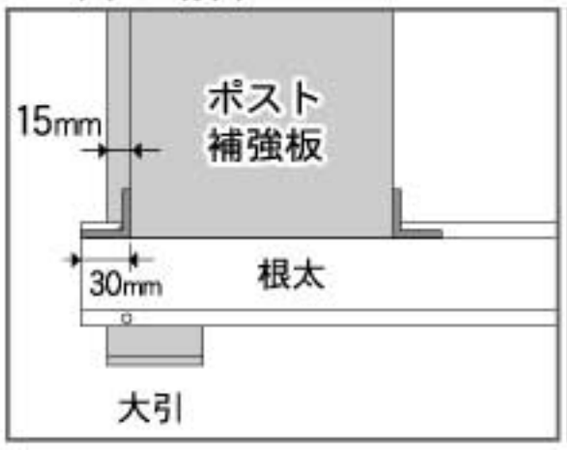
※オープンデッキの場合は 7 -3 は 必要ありません。手順 8 に進んで下さい

---

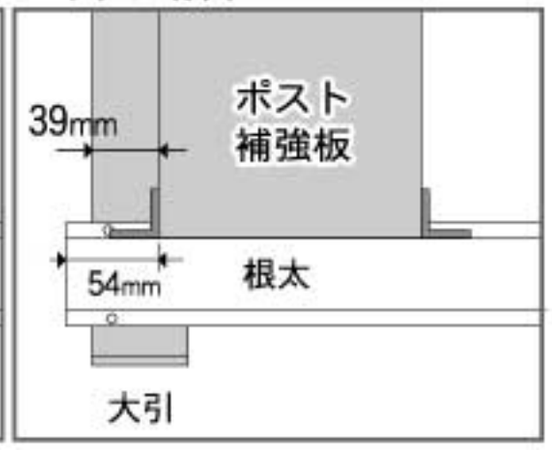
3. 根太にポスト補強板をビスでしっかりと固定します。

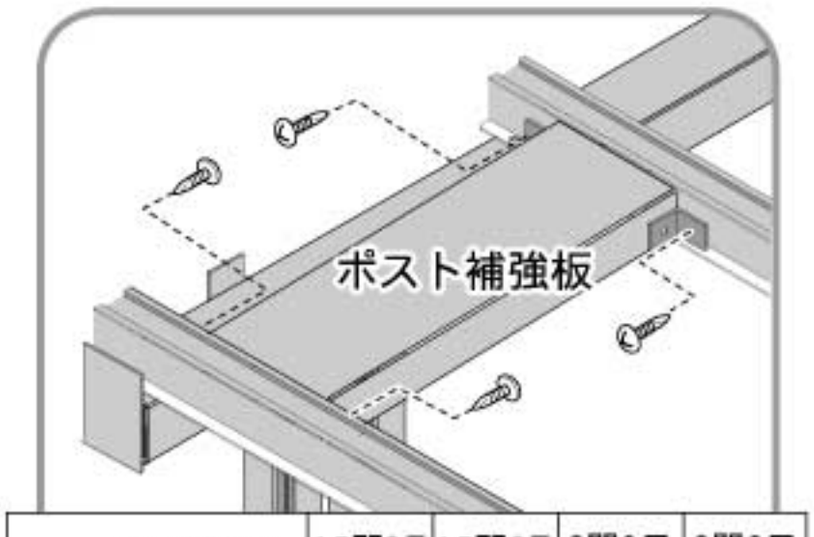
※ 端部ポスト補強板の位置は下図を参考にしてください。

1.5間の場合



2間の場合

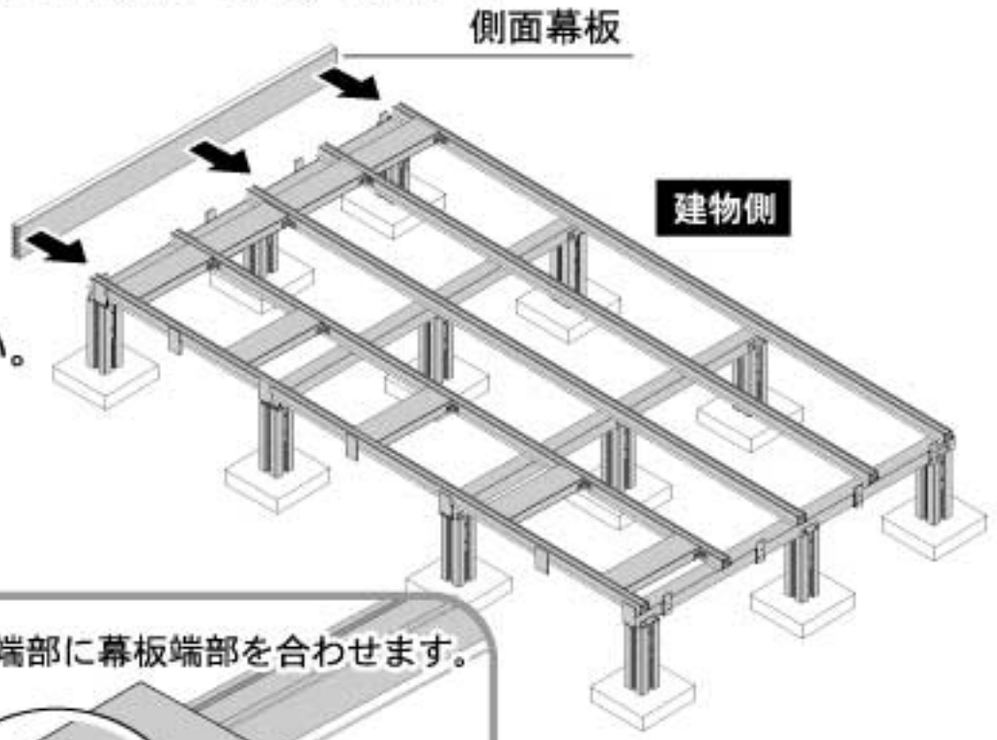




鉄板ビス φ4.2×13	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	20本	28本	24本	32本

手順 8 フェンス取り付け側の側面幕板を取り付けます。

1. フェンス取り付け側の側面幕板を
建物側を起点に取り付けます。

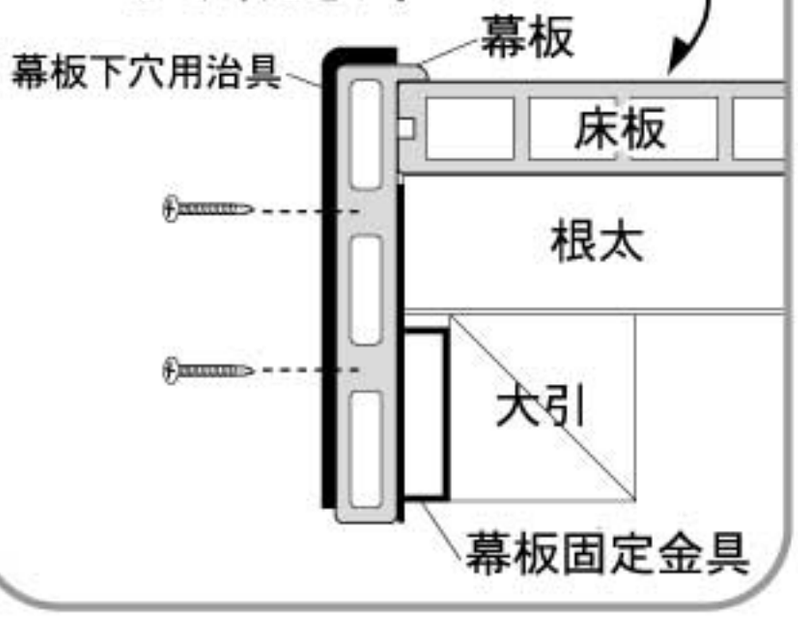


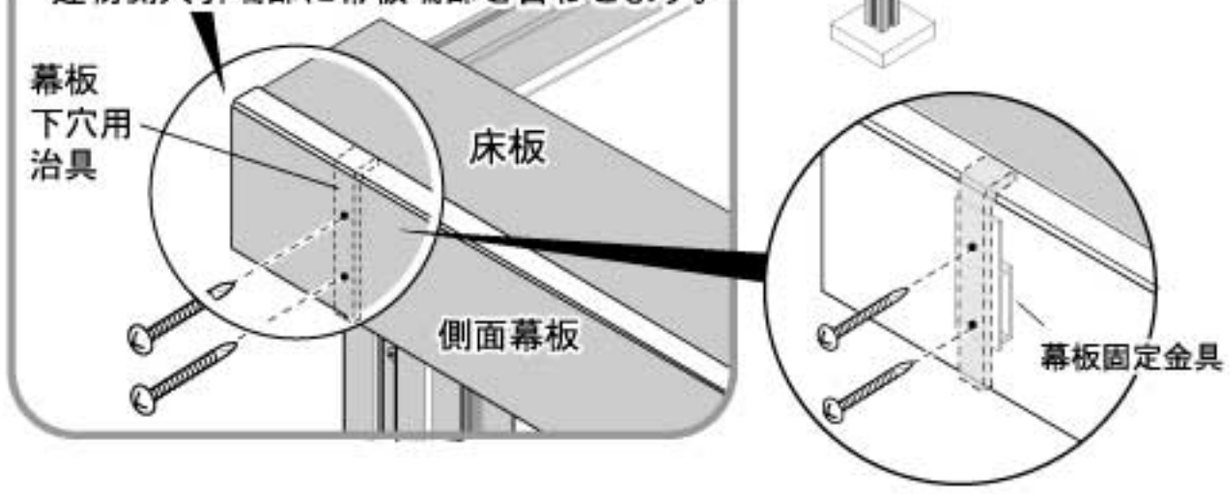
Point

幕板下穴用治具を使いドリル刃で 下穴を
開けてからとめてください。
下穴は幕板固定金具まで通してあけてください。

側面断面図

幕板を固定する際に床板を仮置きして、幕板の固定位置を確認してください。



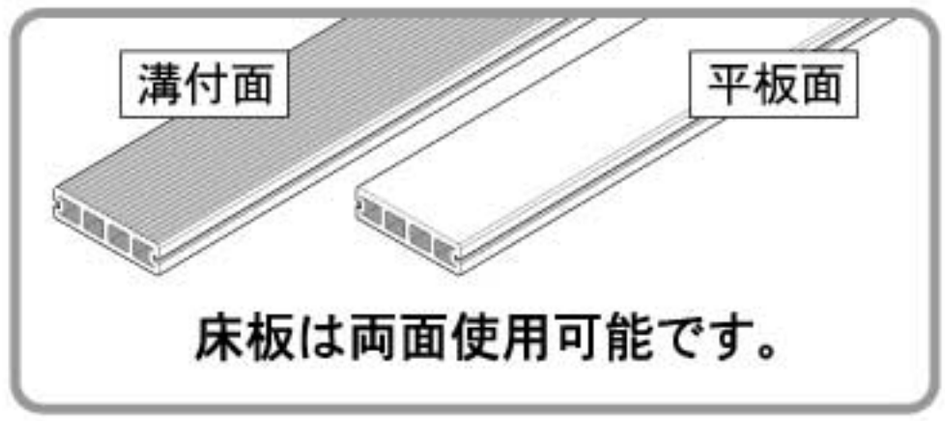


鉄板ビス φ4.2×32	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	4本	8本	4本	8本

手順 9

床板を取り付けます。

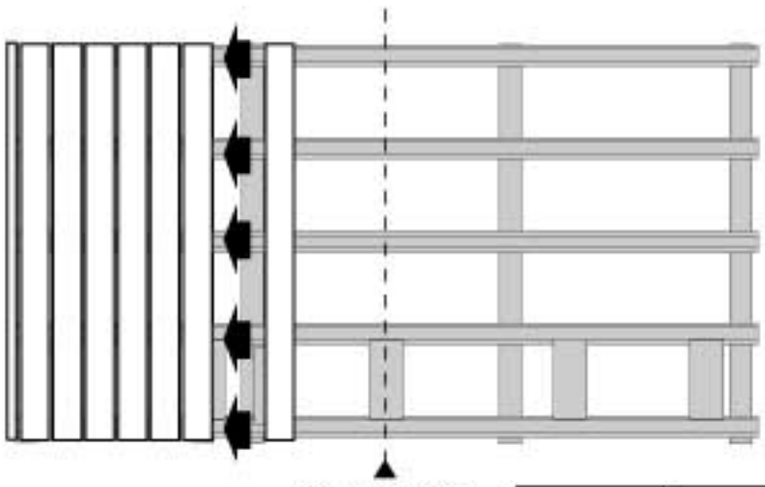
床板、床板固定金具の順番に
規格枚数の床板を取り付けます。



床板は両面使用可能です。

注意

商品の特性上、反りなどがある場合があります。
その場合は床板を取り付ける際に、反りを押し
付け加減にしながら調整して取り付けてください。

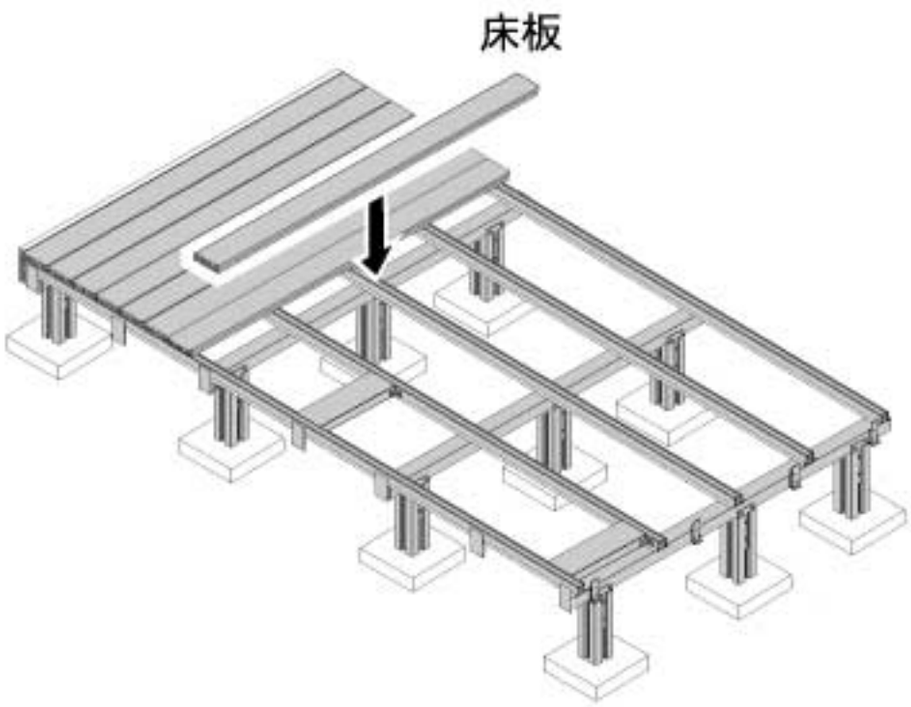


根太長さ	1.5間 2,678㎜	2間 3,572㎜
中心位置	1,339㎜	1,786㎜

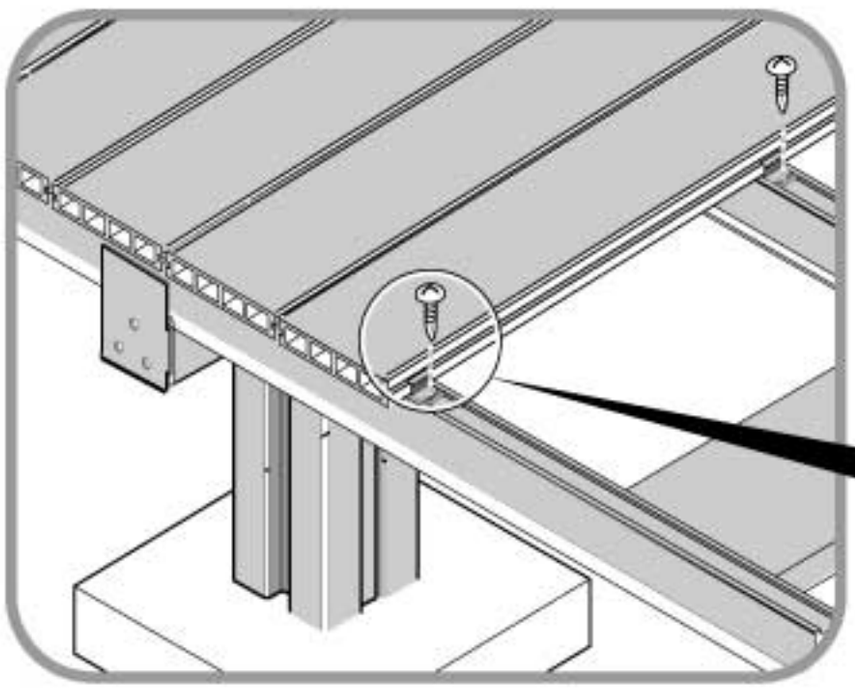
取り付けを始める前に・・・

根太の長さの中心に印をつけてください。
その印を目安に半分の枚数の床板を取り付けていきます。
残り半分の床板をご面倒でも、あらかじめ床板と床板止金具
を仮置きして押し付け加減を調整しながら床板止金具を
ビス止めすることをお勧めします。

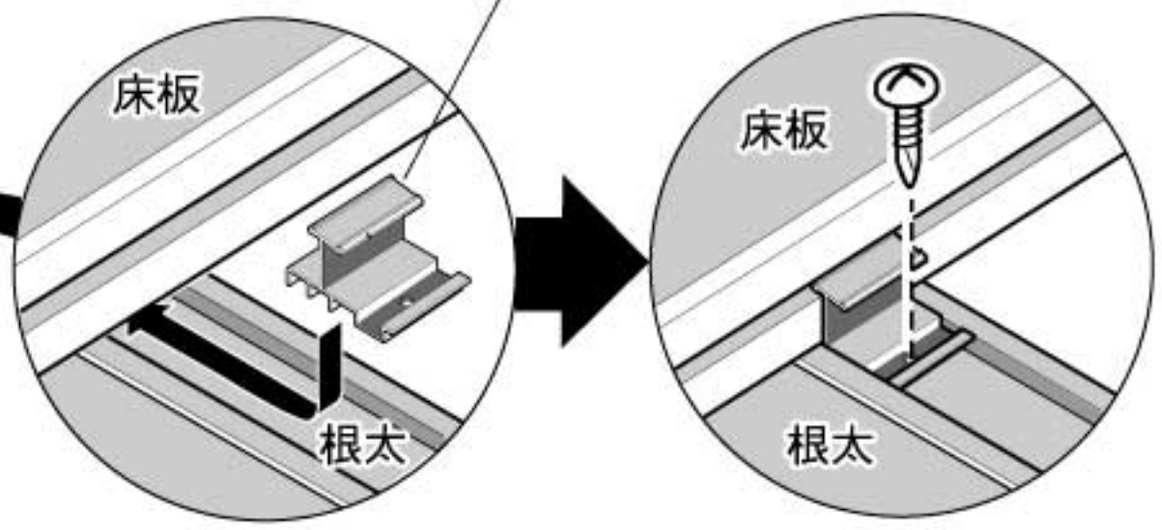
床板と金具は平均に押当てながら取り付けて
いってください。力には個人差がありますので
目地で若干の誤差が生じます。(目地4mm目安)



1. 床板止金具を根太にはめ込み、スライドさせて床板側面の溝に押し当てます。
全ての根太に床板止金具で取り付けていきます。
床板止金具を根太にビスで止めます。

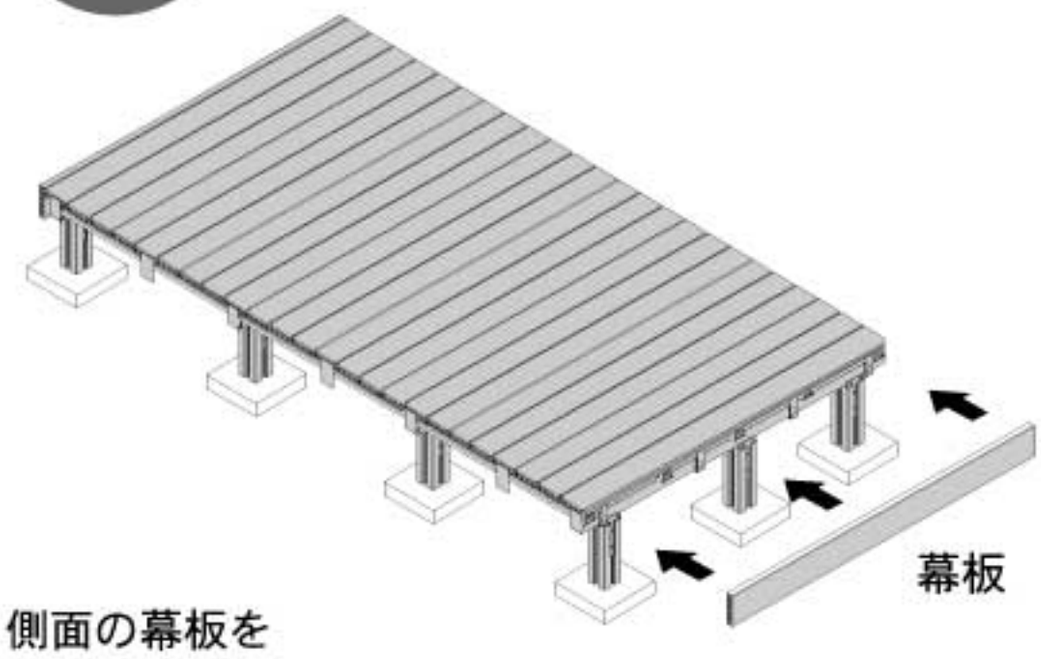


※床板止金具の
向きにご注意
ください。



鉄板ビス φ4.2×13	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	51本	85本	69本	115本

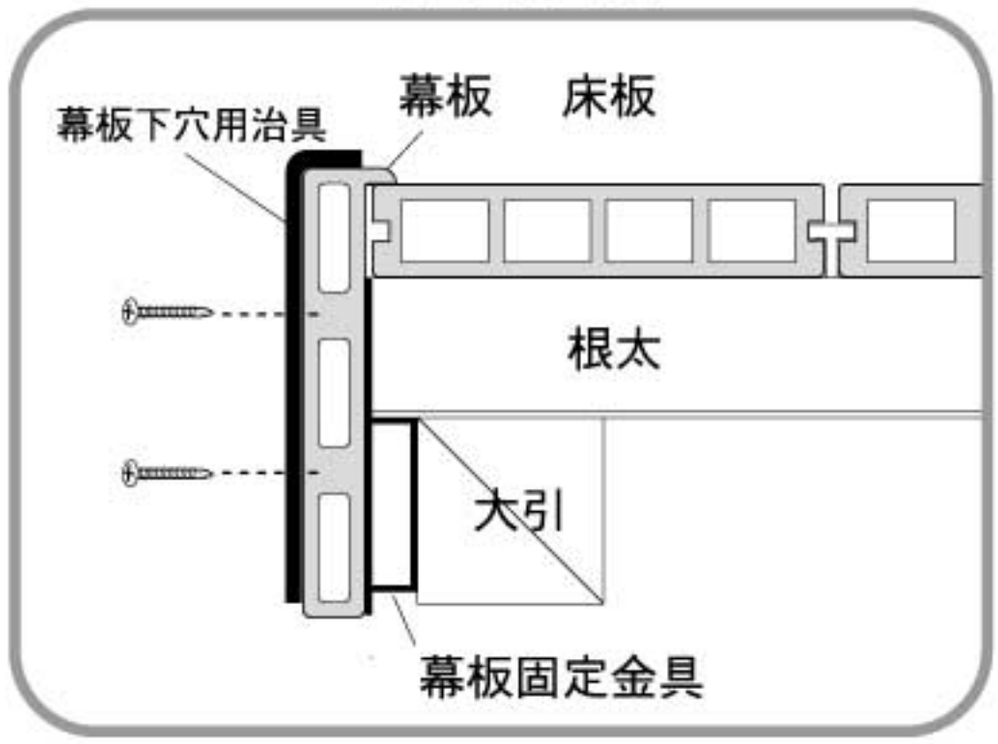
手順10 残りの側面の幕板を取り付けます。



側面の幕板を
ビスで幕板固定金具に取り付けます。
(手順⑧と同様)

	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
鉄板ビス φ4.2×32	4本	8本	4本	8本

側面断面図

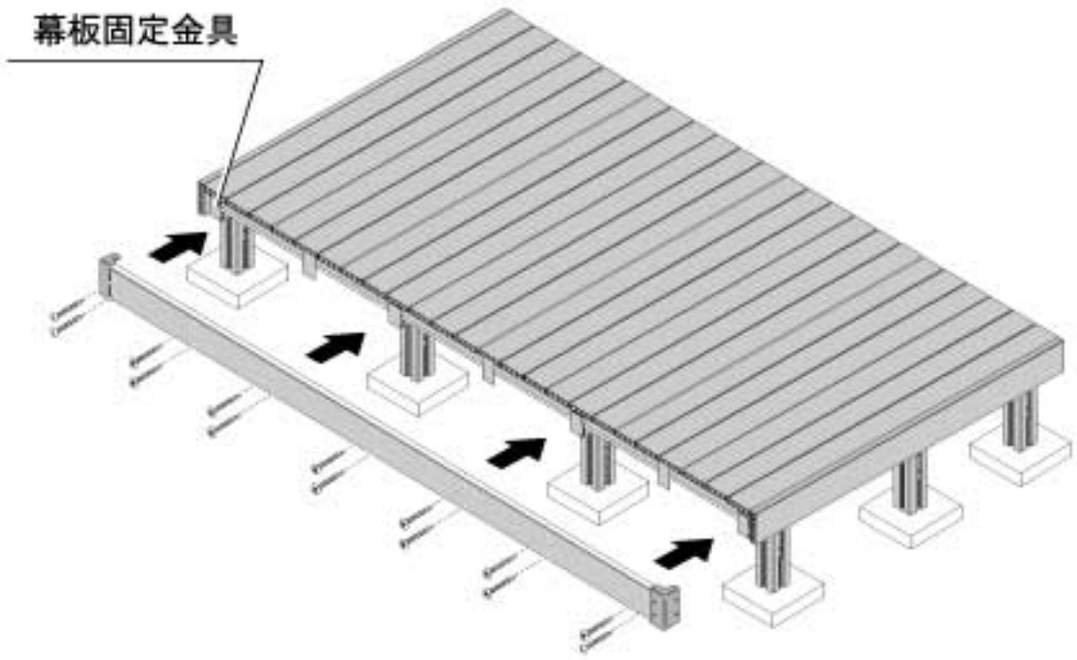


Point
幕板下穴用治具を使い
下穴を開けてからとめてください。
下穴は幕板固定金具まで通して
あけてください。

手順11 前面の幕板を取り付け、幕板コーナーカバーを取り付けます。

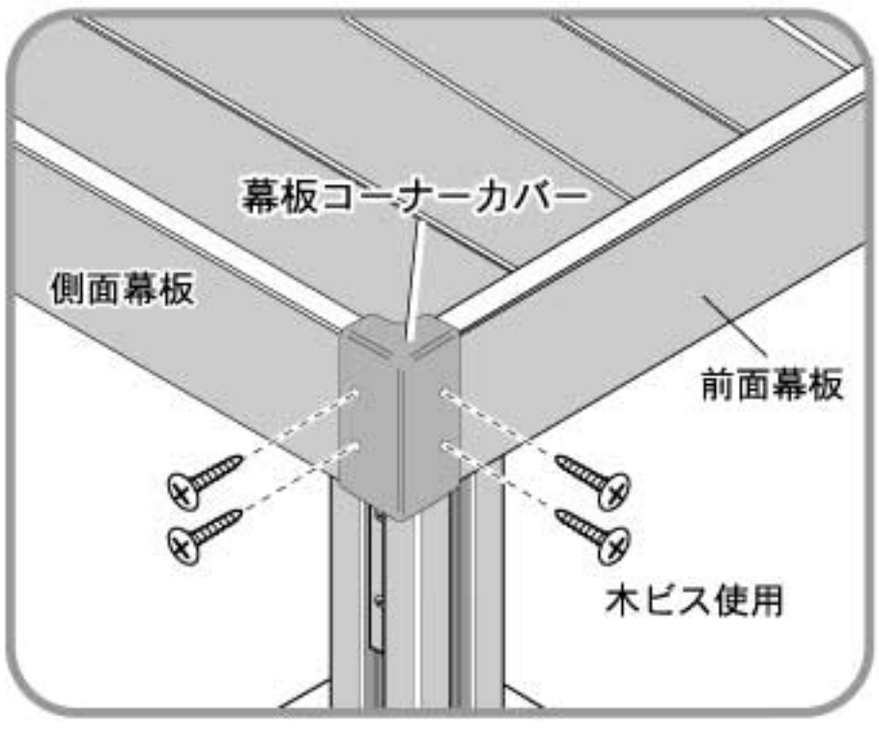
1. 前面幕板をとりつけます。
前面幕板をビスで幕板固定金具に取り付けます。

	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
鉄板ビス φ4.2×32	14本	14本	14本	14本



Point
幕板で隠されて幕板固定金具が隠れて
しまいますので幕板用固定金具の位置を
ビニールテープなどで床板に印をつけて
おくと後の作業がやりやすくなります。
幕板下穴用治具を使いドリル刃で下穴を
開けてからとめてください。下穴は幕板
固定金具まで通してあけてください。
(手順⑧と同様)

2. 幕板角部に幕板コーナーカバーをはめて
ビスで取り付けます。



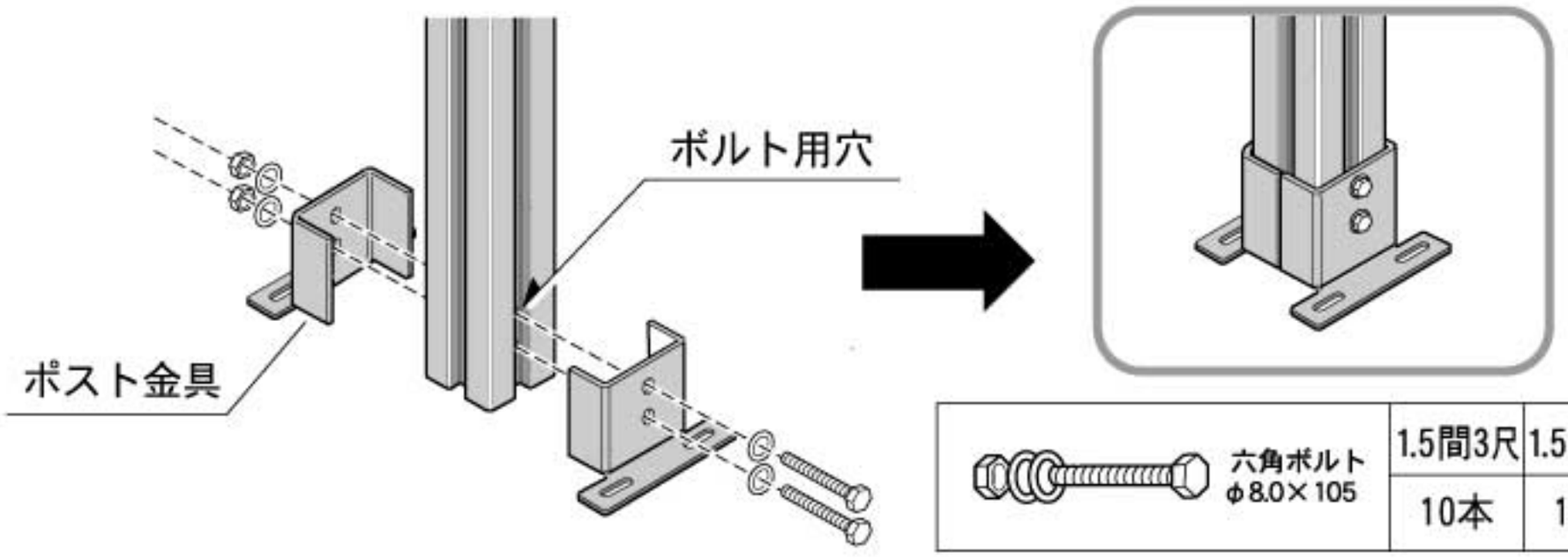
木ビス φ4.2×13	8本使用

Point
ドリル刃で
下穴を開けてからとめてください。

オープンデッキ完成です。

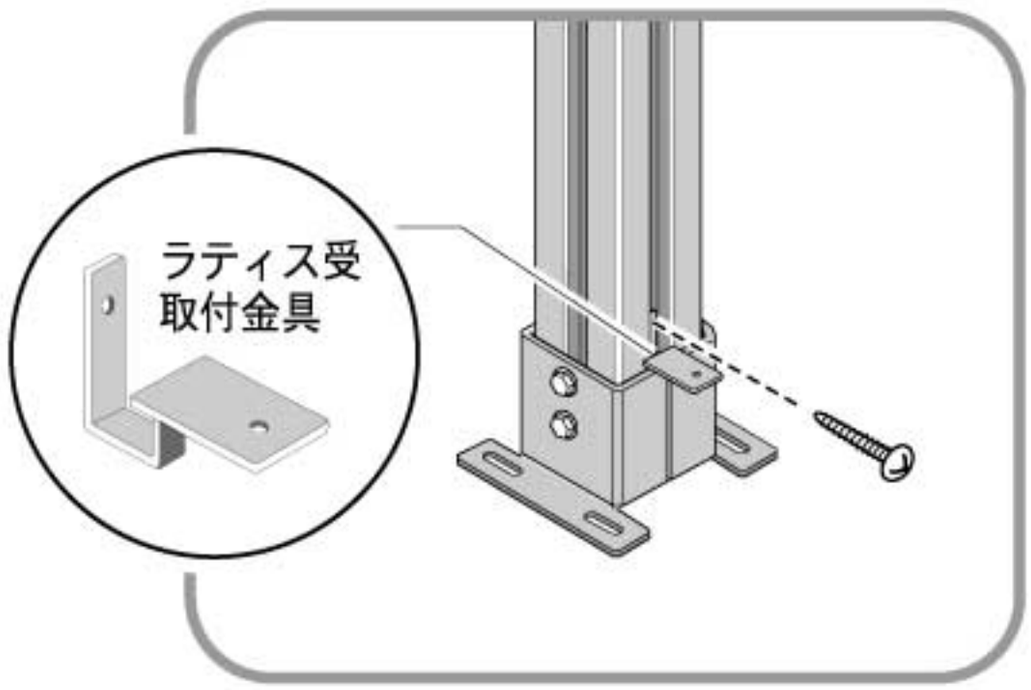
手順12 ポストにポスト金具とラティス受取付金具を取り付けます。

1. ポストにあいているボルト用穴にあわせて
ポスト金具をボルトでとめます。この段階では手締めにしておきます。



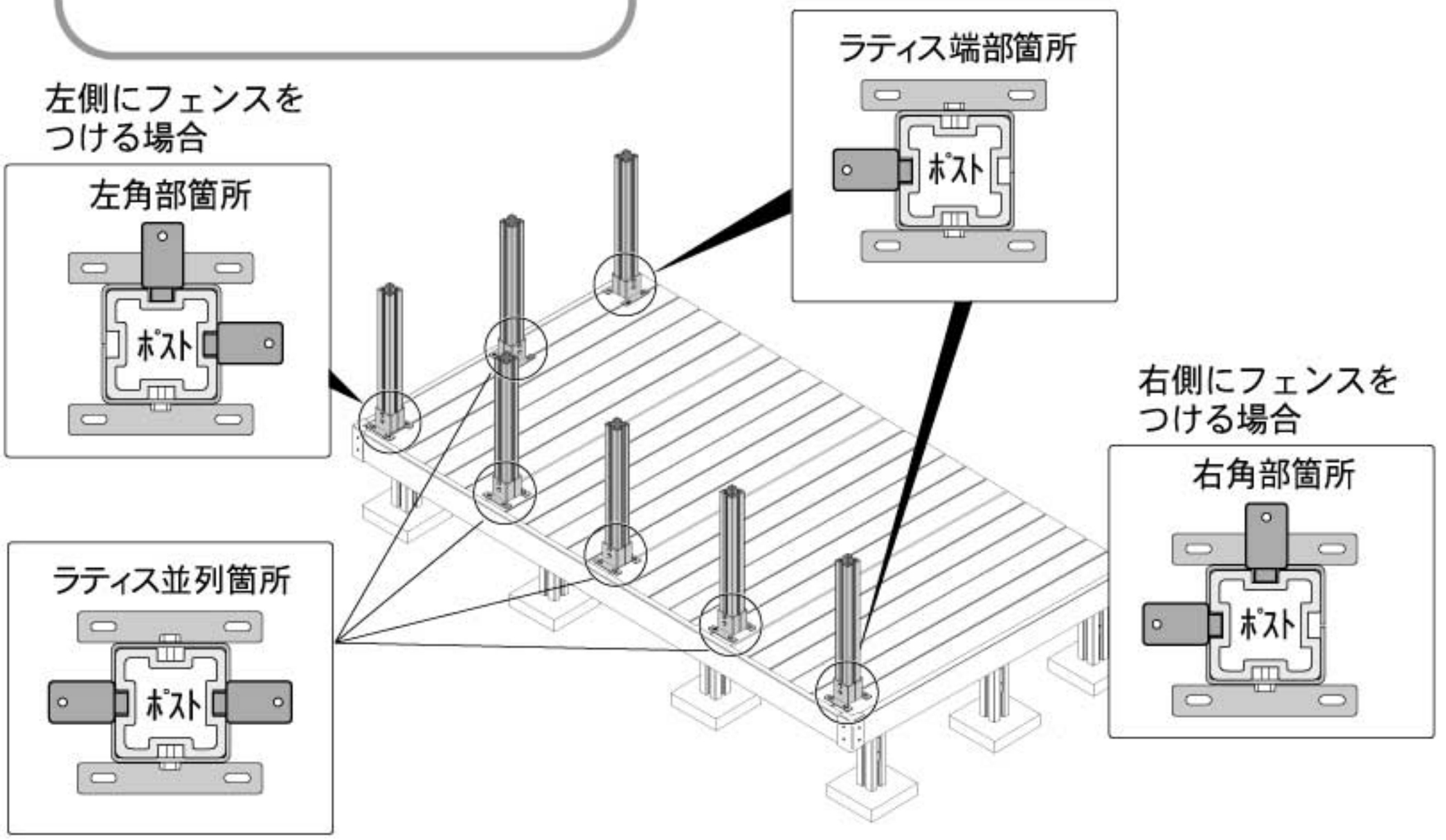
	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
六角ボルト φ8.0×105	10本	12本	12本	14本

2. ラティス受取付金具を取り付けます。



Point ラティス受取付金具はラティスをつないでいく側に取り付けますので、ポストの向きに間違えがないようご注意ください。

	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
鉄板ビス φ4.2×40	8本	10本	10本	12本



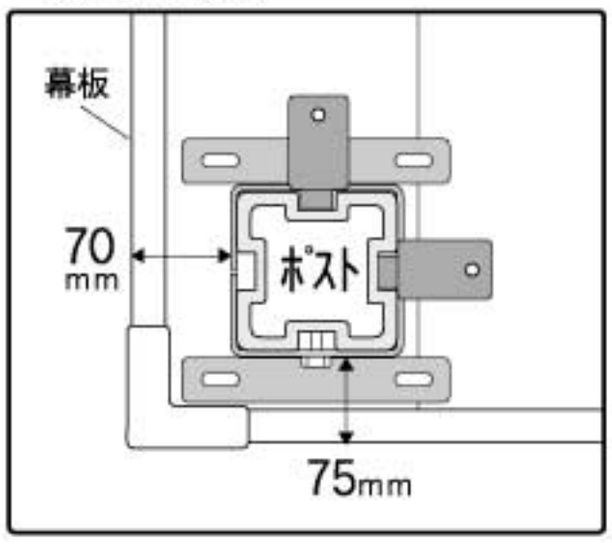
3. ポスト金具のボルトを本締めします。

手順 13

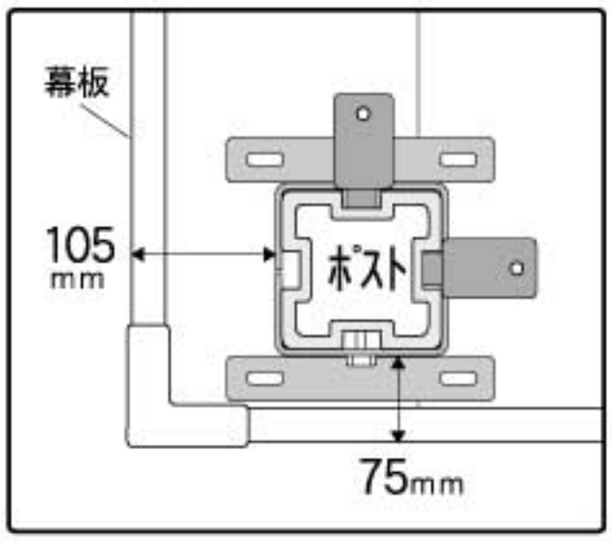
床板にポストを取り付けてラティス受を取り付けます。

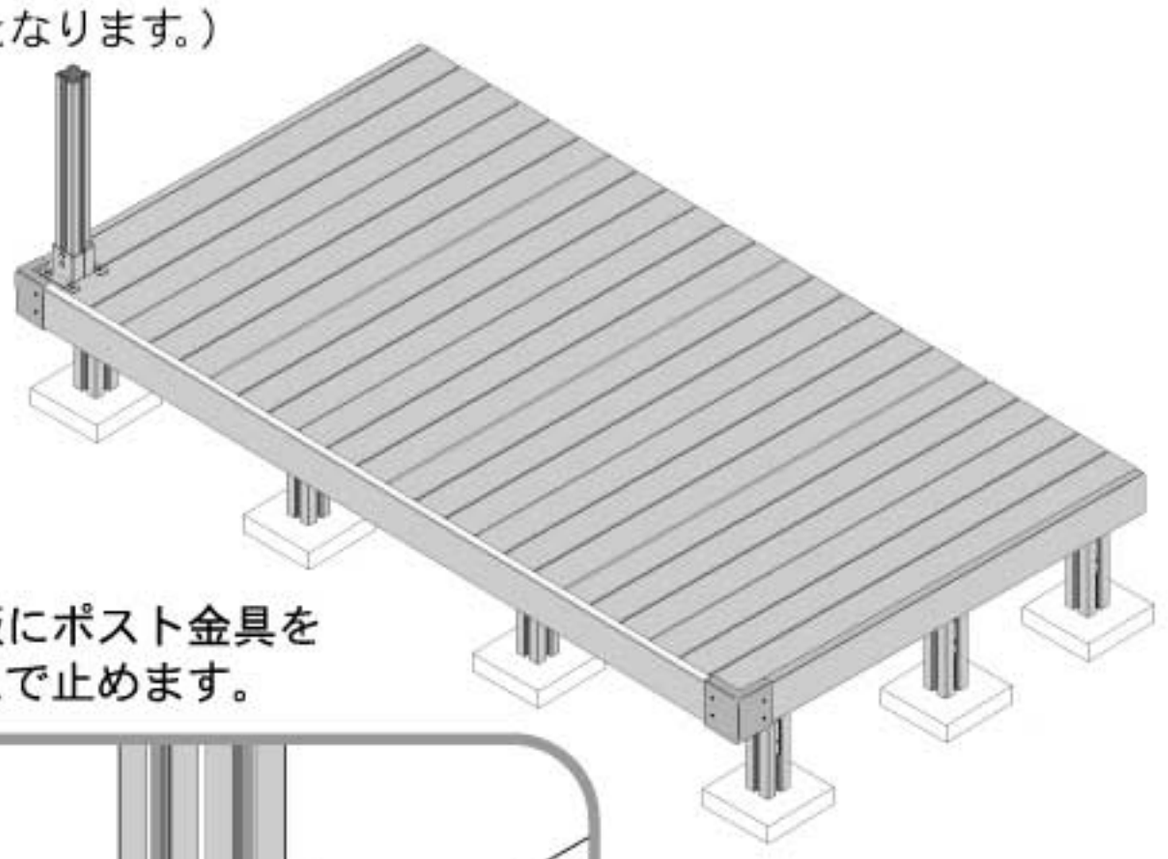
1. 最初に角のポストを1本取り付けます。
ポストの取付位置を測り、ポストの位置を決めて取り付けます。
（準備した六角ソケットが必要となります。）

1.5間の場合

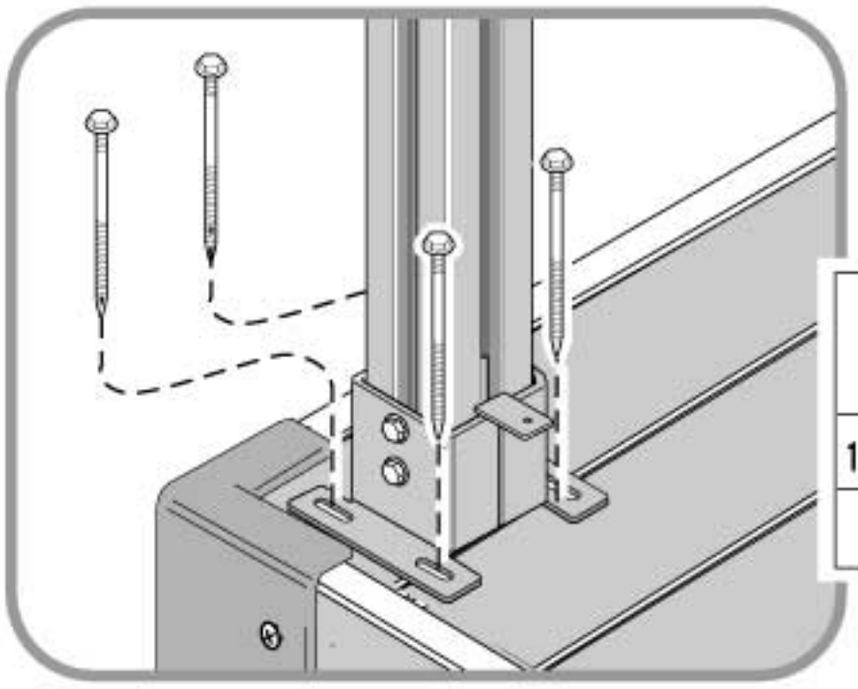


2間の場合



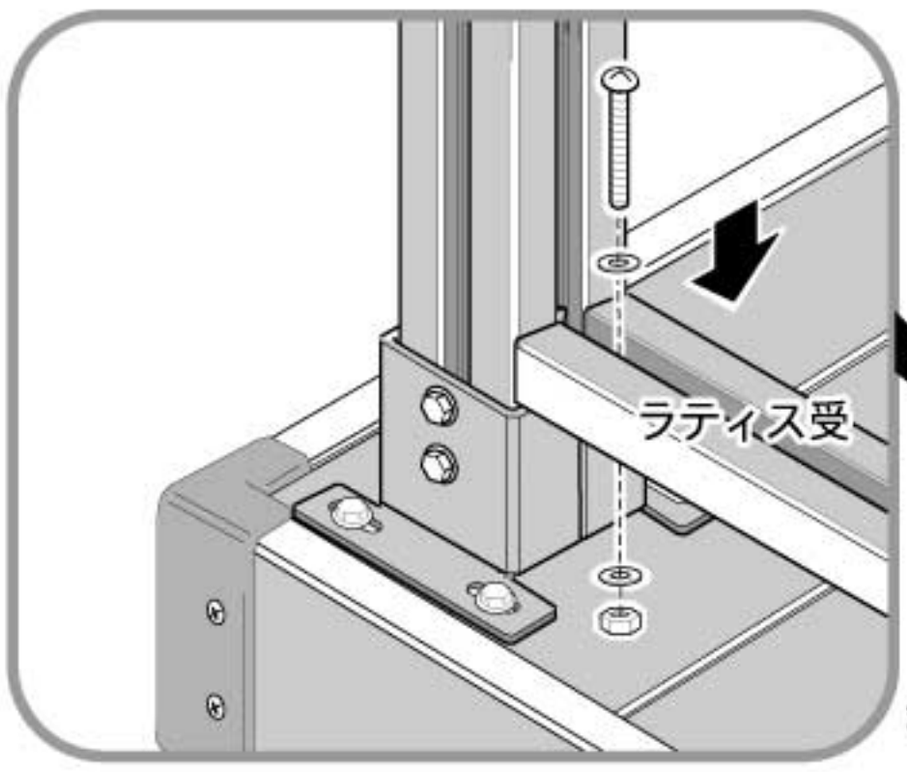


2. 床板にポスト金具を
ビスで止めます。



六角鉄板ビス φ5.2×100			
1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
20本	24本	24本	28本

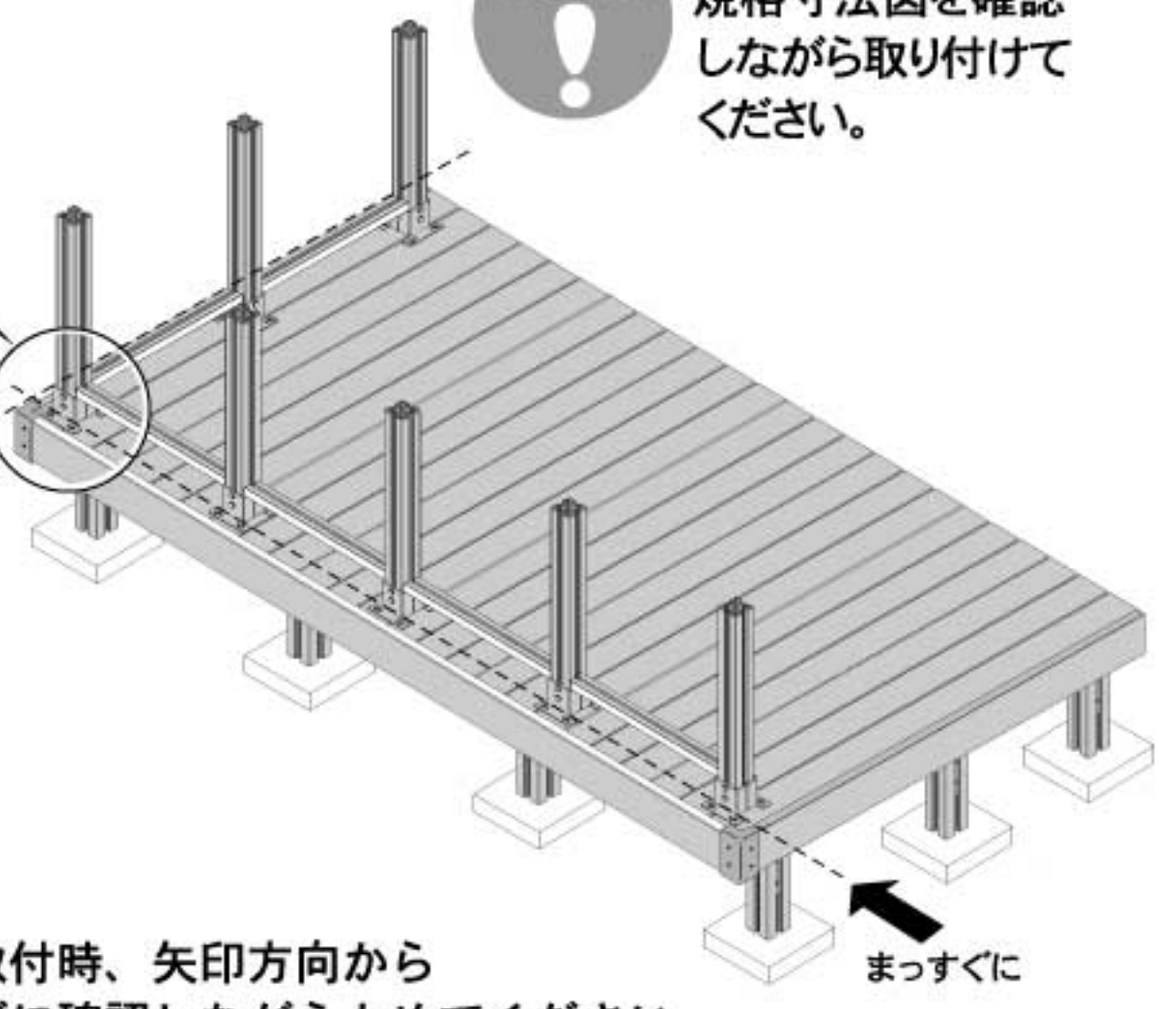
3. ラティス受をラティス受
取付金具にのせ、ボルトで止めます。



ボルト φ4×35	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	8本	10本	10本	12本

4. ポストとラティス受を順番にとりつけていきます。
ラティス受けを取り付けた後、手順⑫の**1.**で
手締めしておいたポスト金具を本締めしてください。

Point
P8〜P11の規格寸法図を確認しながら取り付けてください。



Point
**ポスト取付時、矢印方向から
まっすぐに確認しながらとめてください。**

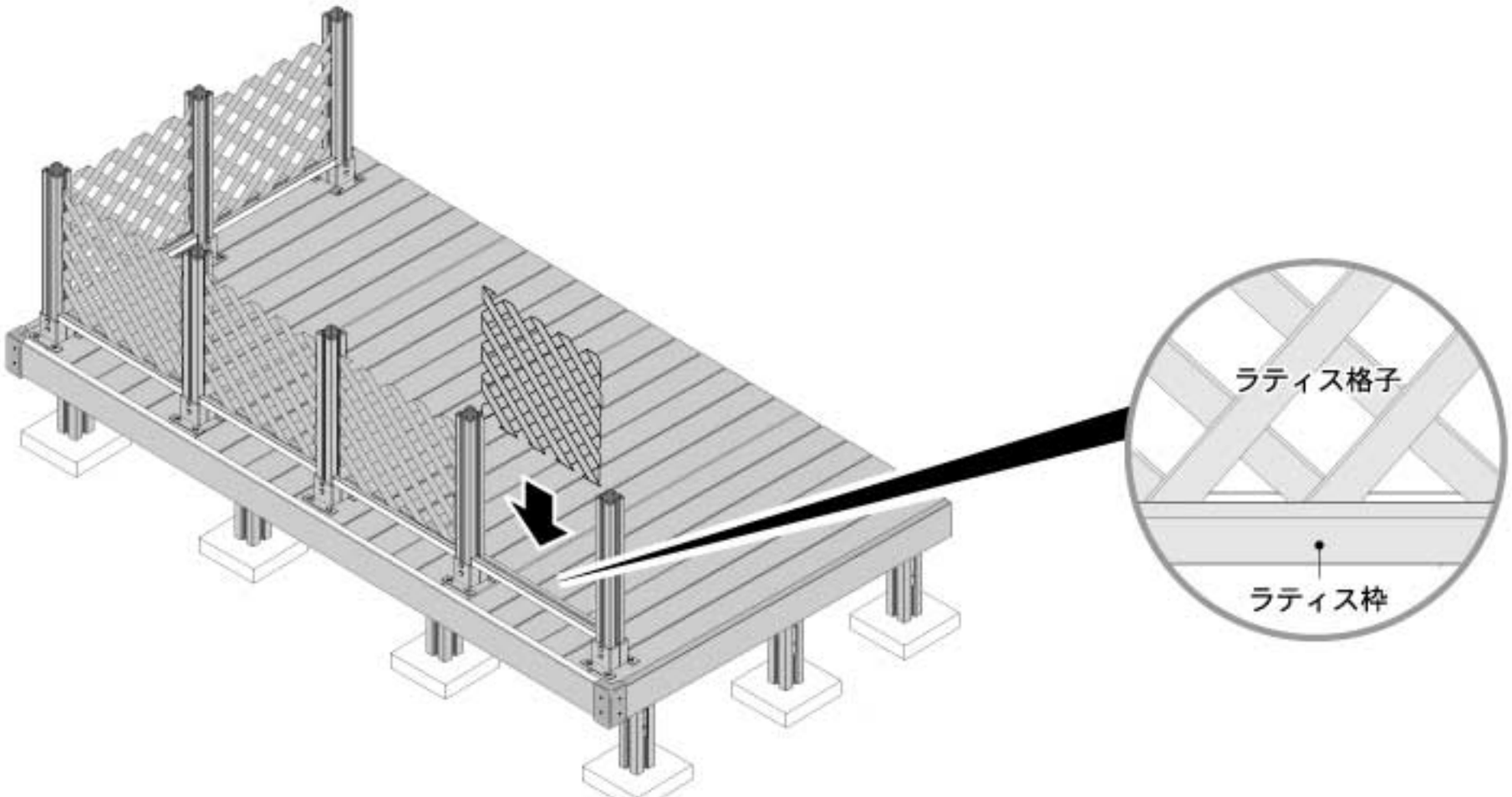
手順 14

ラティス格子を取り付けます。

ラティス格子をポストとラティス受の溝に上から差し込むようにはめ込みます。

注意

※気候によりラティスが膨張して差し込みにくい
場合があります。その際は無理に差し込まずに
ラティスの両側をカッターなどで少し削ってから、
差し込んでください。



手順 15

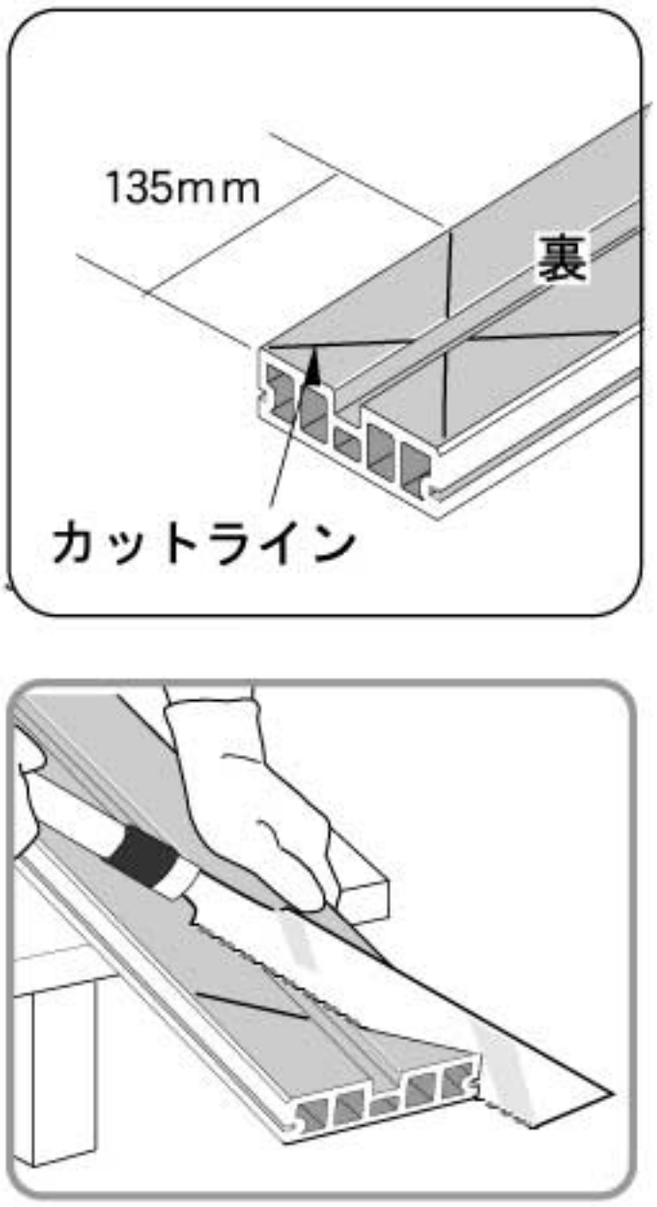
笠木をカットします。

P23「セット別笠木(手摺)カットサイズ図」の寸法を参照して
各笠木をノコギリでカットします。

Point

カットする前にカットラインを引いてください。
右側に フェンス をつける場合、左側にフェンス を
つける場合で選ぶカットラインが変わります。
一旦、柱の上にのせてカットラインを確認すると
間違いがありません。

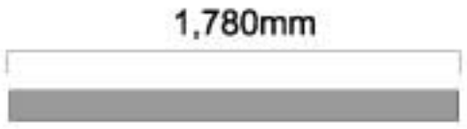
※角部は笠木キャップを取り付けますので
多少の隙間が出来ても大丈夫です。

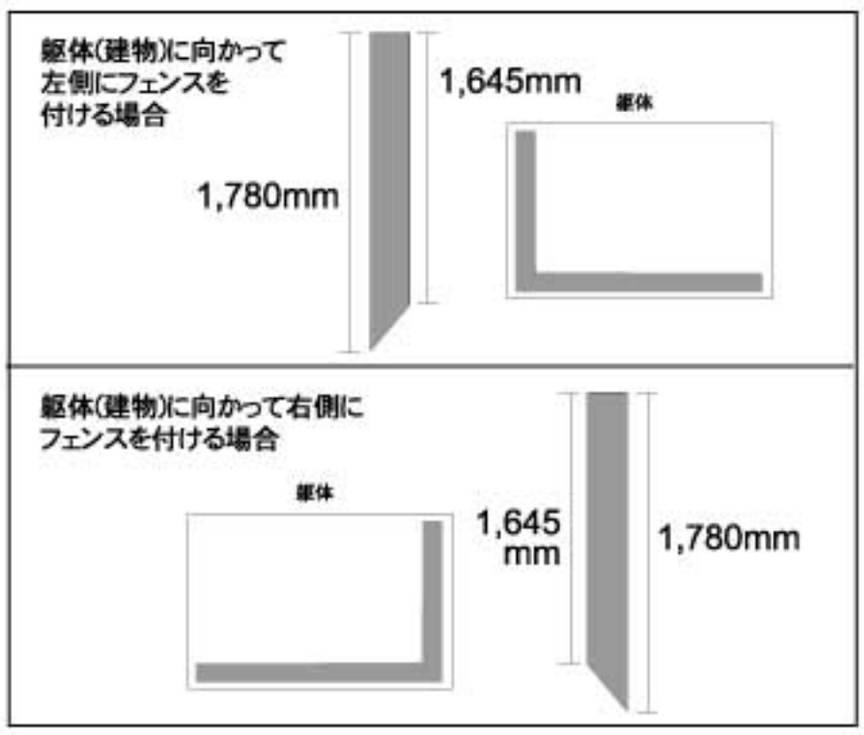


セット別笠木（手摺）カットサイズ図

1.5間×6尺、2.0間×6尺共通 短尺方向笠木（手摺）カットサイズ

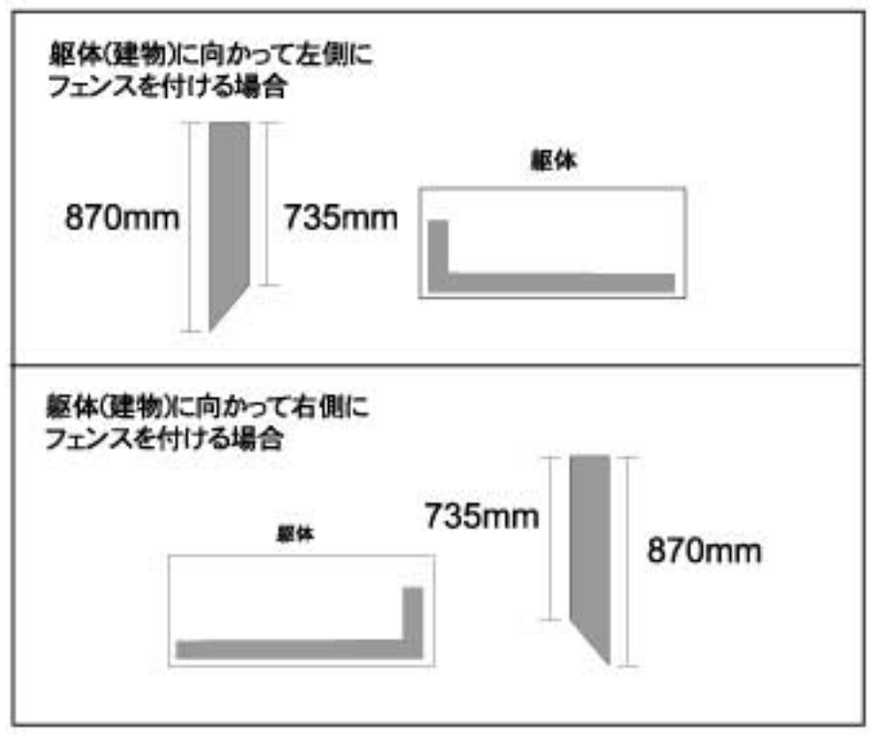
◆1,780㎜の笠木を下図のサイズにカットします。





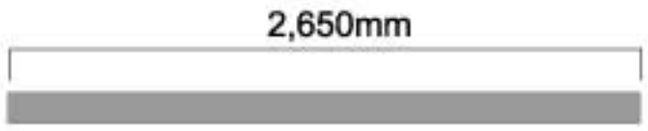
1.5間×3尺、2.0間×3尺共通 短尺方向笠木（手摺）カットサイズ

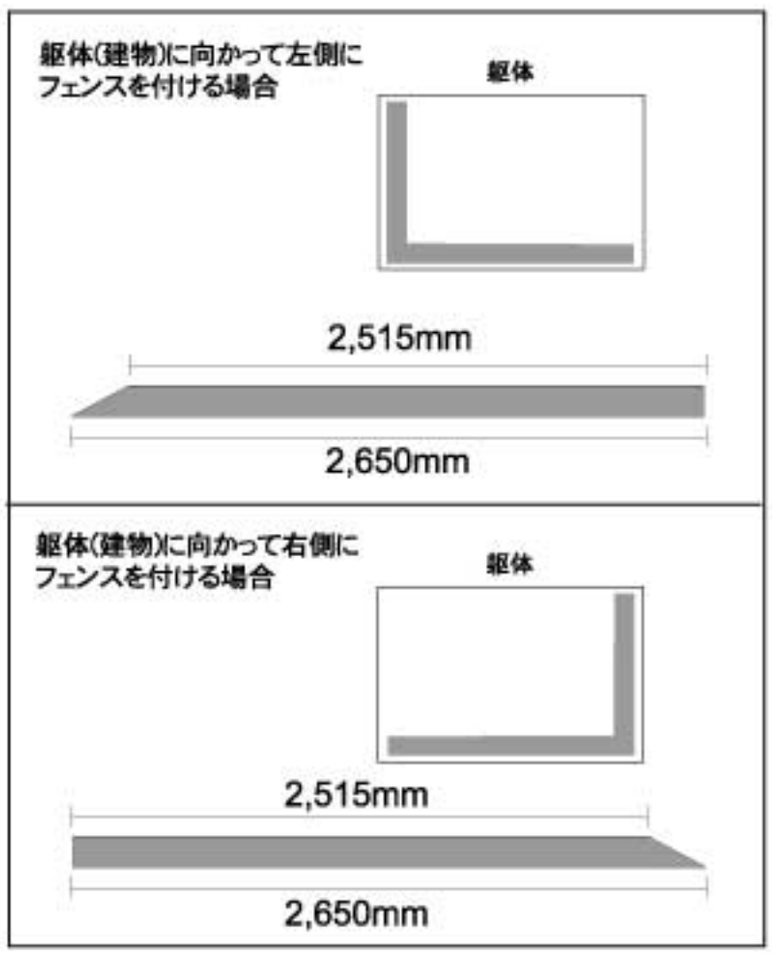
◆870㎜の笠木を下図のサイズにカットします。



1.5間×6尺、1.5間×3尺共通 長尺方向笠木（手摺）カットサイズ

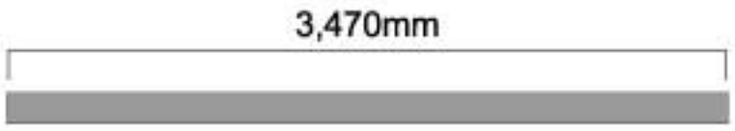
◆2,650㎜の笠木を下図のサイズにカットします。

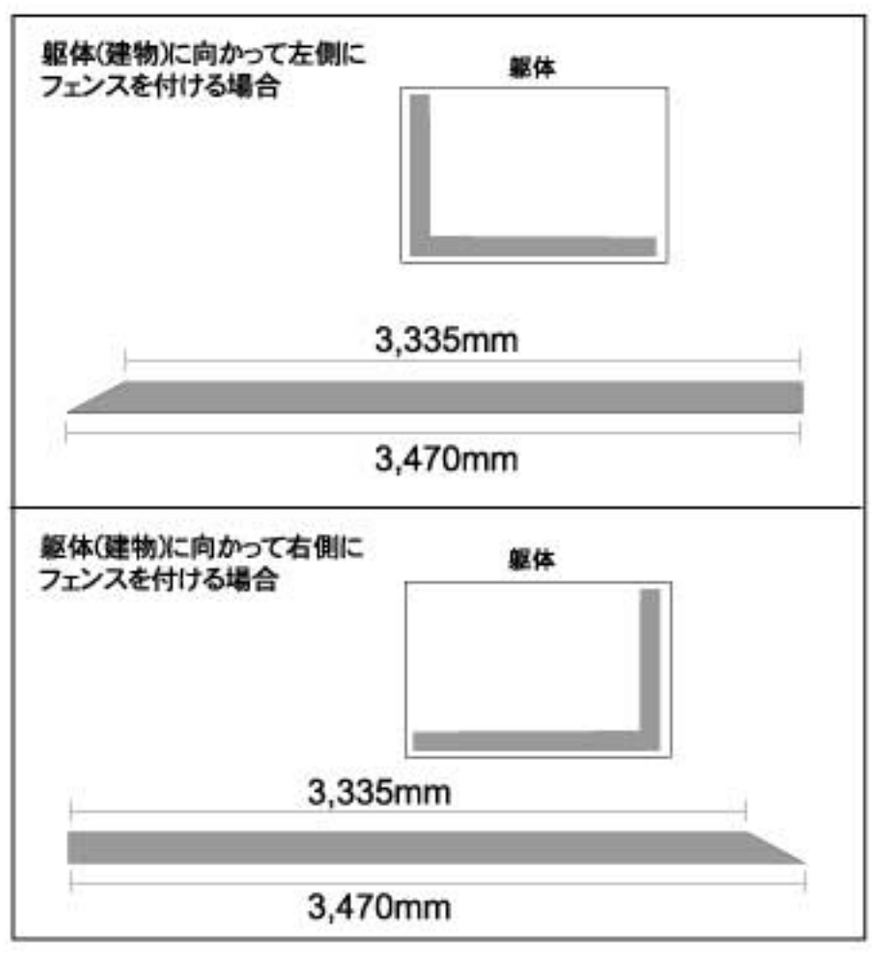




2.0間×6尺、2.0間×3尺共通 長尺方向笠木（手摺）カットサイズ

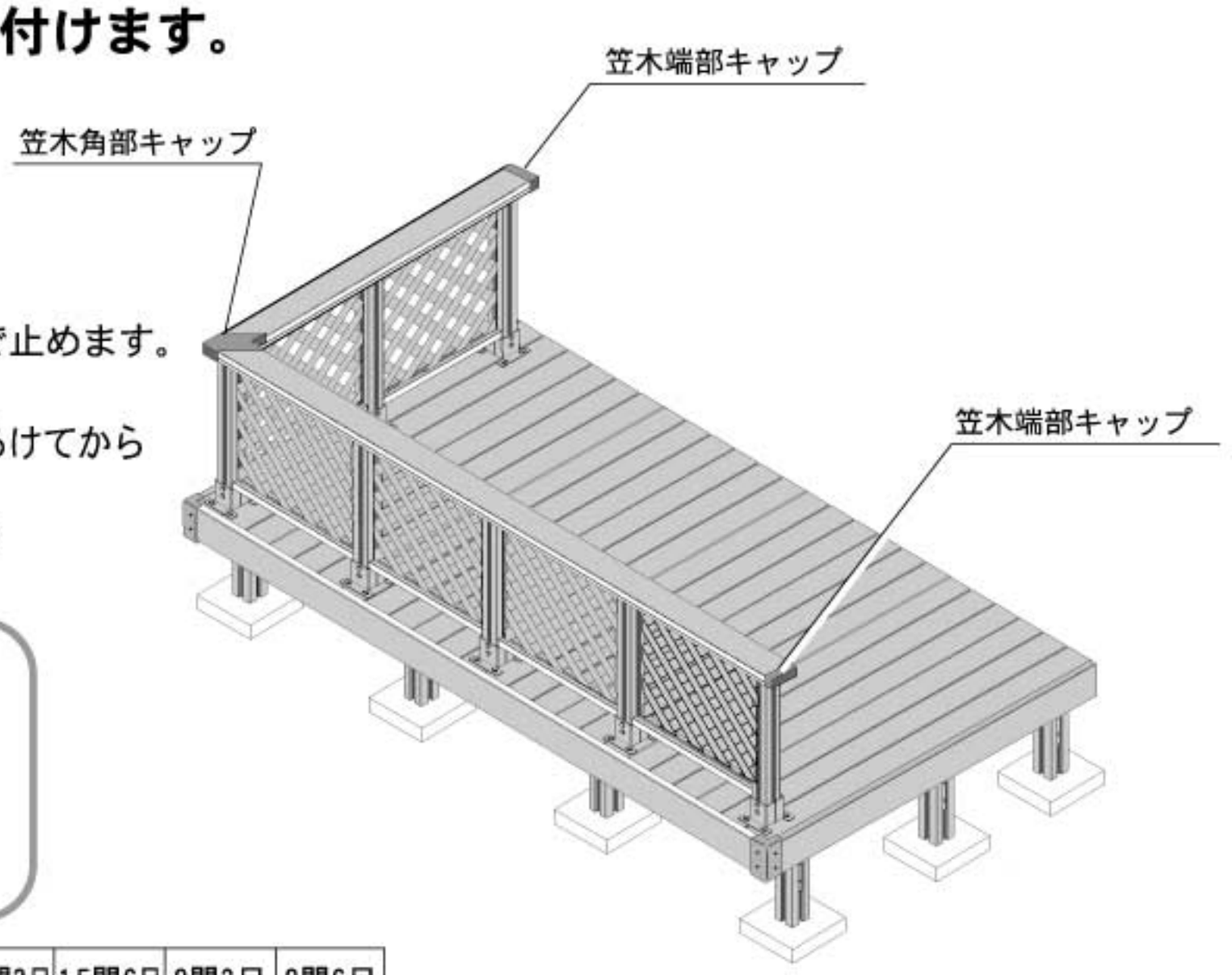
◆3,470㎜の笠木を右図のサイズにカットします。





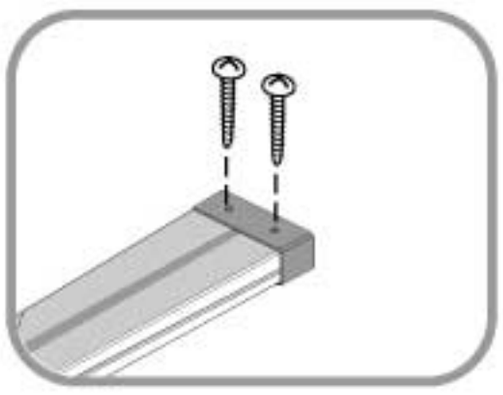
手順 16

笠木を取り付けます。



1. 笠木端部キャップを
笠木の裏側からビスで止めます。

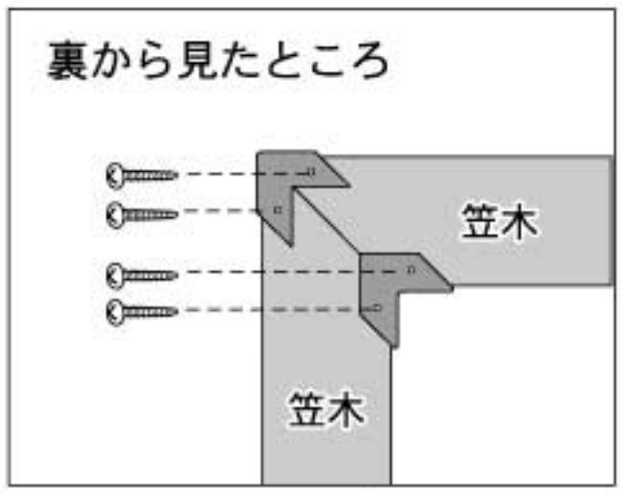
Point
木ビスは下穴をあけてから
とめてください。
(ドリル刃3mm)



木ビス φ3.5×20	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	4 本			

2. 笠木角部キャップをはめながら
ポストの上に笠木をのせます。

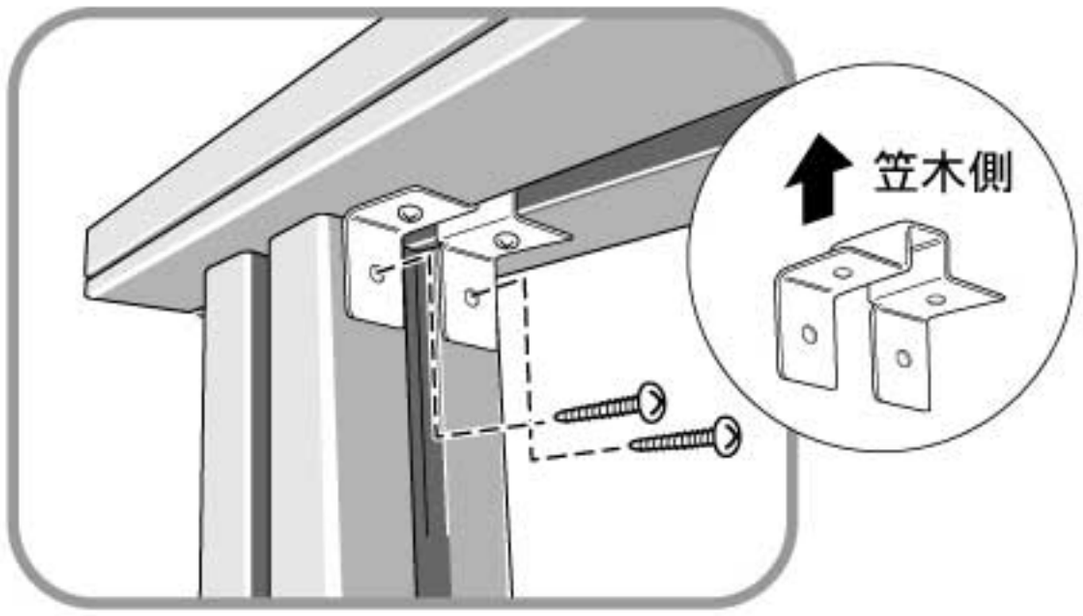
Point
笠木を取り付けた後では
「笠木角部キャップ」は
取り付けできません。



笠木角部キャップを裏側から
ビスで笠木に固定します。

木ビス φ3.5×20	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	4 本			

2. 笠木取付金具でポストと笠木を固定します。
笠木取付金具の向きに注意してください。



木ビス φ3.5×20	1.5間3尺	1.5間6尺	2間3尺	2間6尺
	32本	40本	40本	48本

Point
木ビスは下穴をあけてから
とめてください。

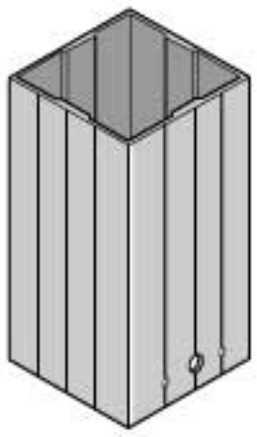
完成です

オプション商品　人工木デッキ用 アルミ調整束〈組立手順〉

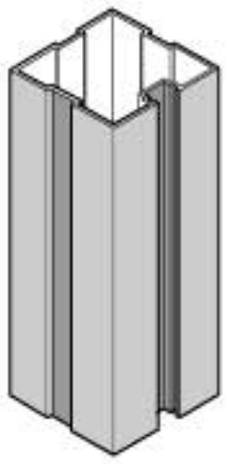
お願い

アルミ材の端部等でケガをしないよう、組立・施工の際は軍手などをご使用ください。
但し電動ドライバーをご使用の際は軍手をしたまま組立てますと、巻き込まれる危険がありますので軍手を使わず素手でお使いください。

部材



束Ａ×1個



束Ｂ×1個

大引取付用金具×2個

アンカー×1個

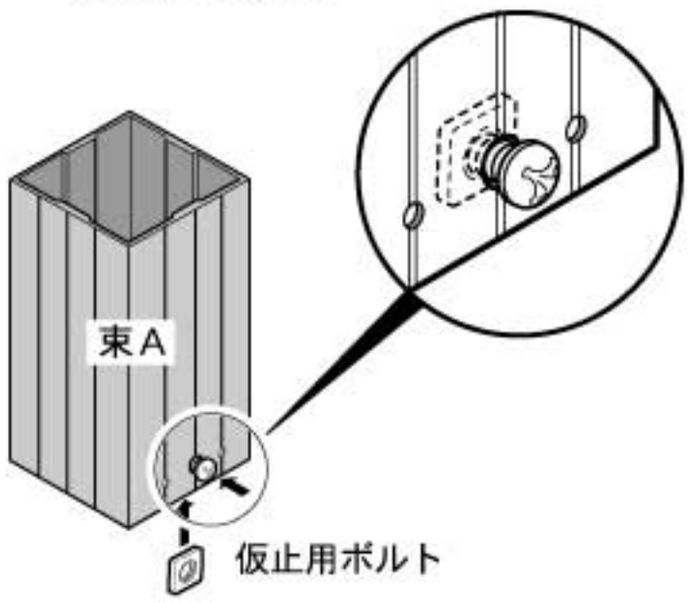
アンカー用ビスφ4.2×40 1本

仮止用ボルト×1組

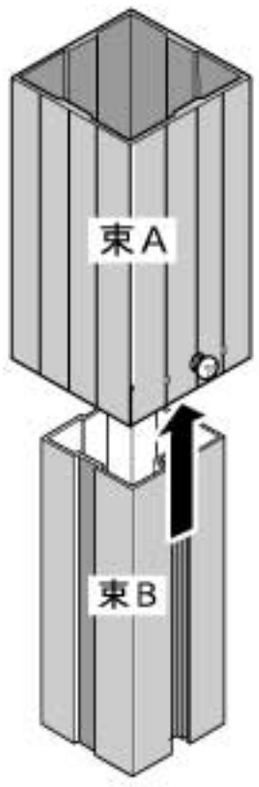
鉄板ビスφ4.2×20
13本

組立手順

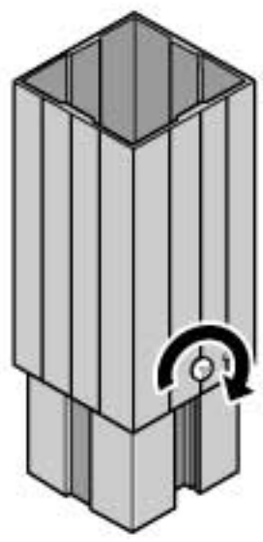
① 束Ａに仮止用ボルトを取り付けます。



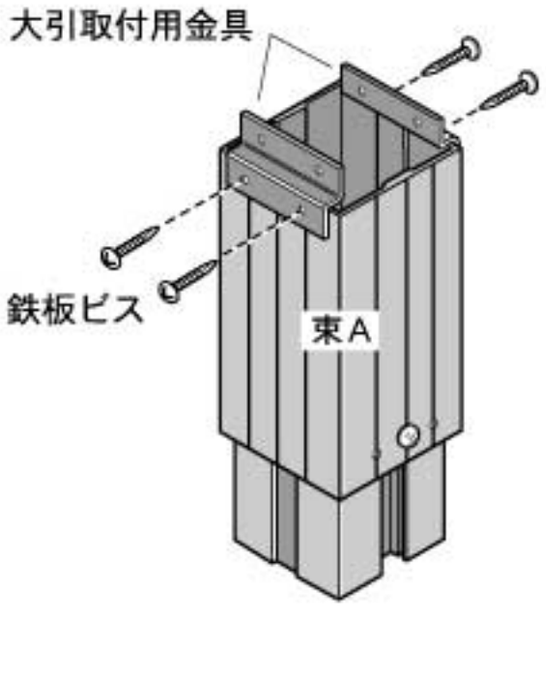
② 束Ｂの溝を手順①で取り付けた仮止用ボルトに組合わせるようにスライドして差し込みます。



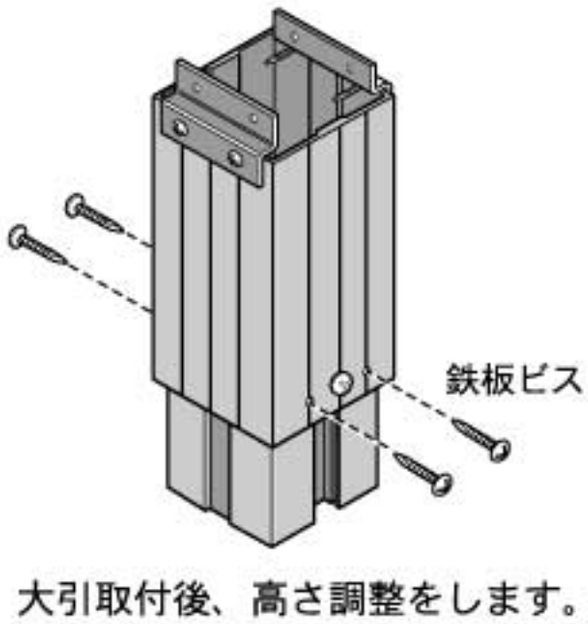
③ 束の高さを決めたら仮止用ボルトを締めます。



④ 大引取付用金具を束Ａに鉄板ビスで取り付けます。

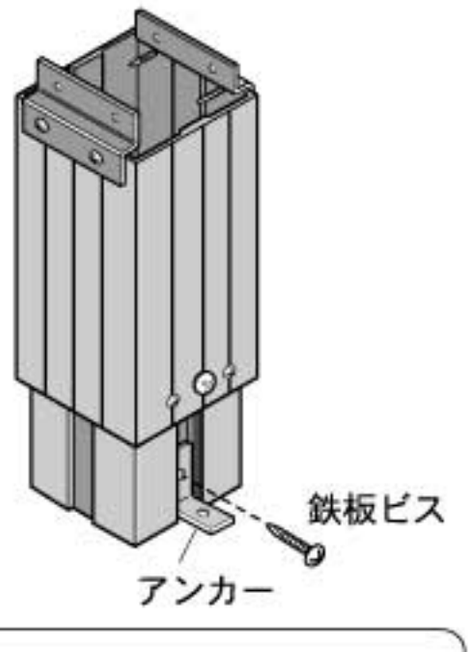


⑤ 束Ａと束Ｂを鉄板ビスで4箇所しっかりと止めます。



大引取付後、高さ調整をします。
高さ確定後に鉄板ビスで
とめてください。

⑥ アンカーを鉄板ビスで束Ｂに取り付けます。



※アンカーは必要に応じてご利用ください。
土台にアンカーを取り付ける際は、付属のアンカー用ビスをご利用いただくか、もしくは土台の素材に応じてホームセンター等で適宜なビスを別途お買い求めください。

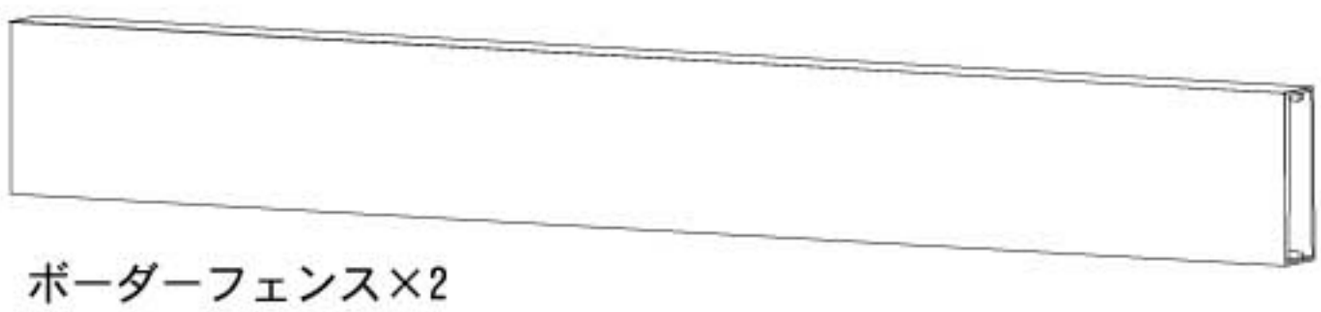
オプション商品　アルミボーダーフェンス〈組立手順〉

お願い

※アルミ製ですので施工する際に傷等が付かない用注意して設置してください。
※ボーダーフェンスを切詰するさいは、アルミ専用の高速カッター等をご使用してください。
※アルミボーダーフェンスをカットした場合バリが発生いたしますので、ヤスリ等で
　きれいに仕上げをしてください。
※手などを切らないように作業の際は軍手等をご使用ください。
※アルミを切断する場合はゴーグル等で目を保護してください。
※小さなお子様の付近では作業をしないでください。
※フェンスにのぼったり、無理な力をかけないでください。

部材

※フェンス　1　スパンに対しての数量です。
※最初に部品数量をお確かめください。



ボーダーフェンス×2
サイズ：754mm×100mm×14mm×2
　　646mm×100mm×14mm×2

取付金物×4
サイズ：16mm×140mm×2mm

皿頭ビス×8

鍋頭ビス×8

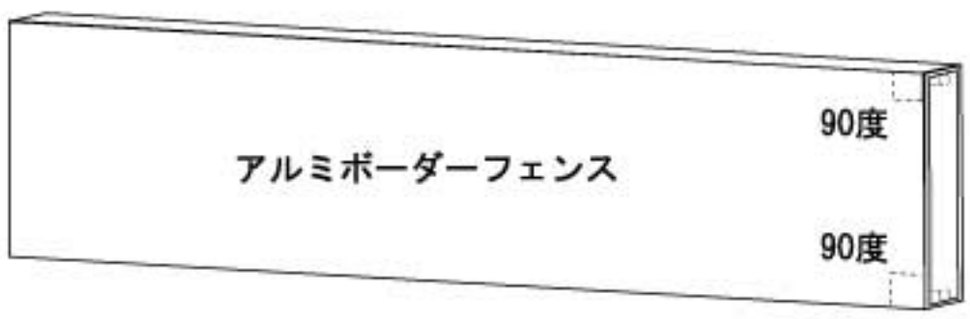
組立手順

手順①（カットする場合）

ボーダーフェンスをカットします。
※施工図面にて、フェンス幅（ポストの中心と中心サイズ）が826㎜の場合はカットしません。
（カットしない場合は手順②へ進みます。）
カットサイズは設置フェンス左右ポスト溝の内側サイズ内寸から
4㎜を差し引いた長さでカットをして下さい。

Point

カットする場合は角が90度に
なるようにしてください。

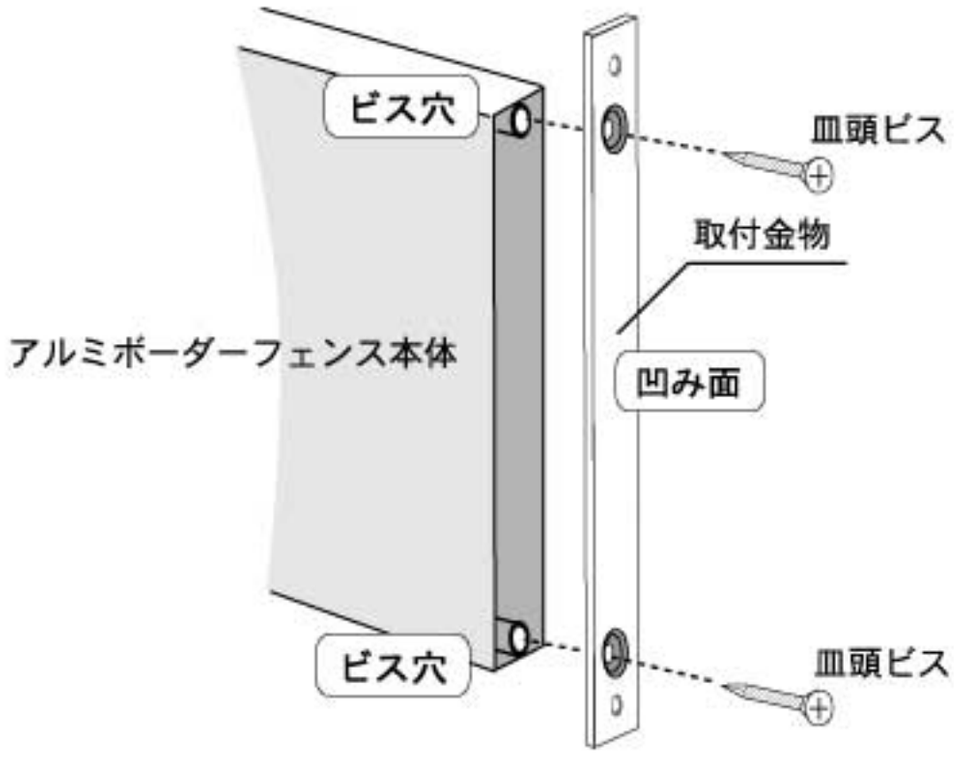


Point

カットする場合はポスト（柱）溝の内サイズから4㎜を引いたサイズで
カットしてください。

例：ポスト溝の内間サイズ（A線）が700㎜の場合
700㎜-4㎜＝カットサイズ696㎜となります。

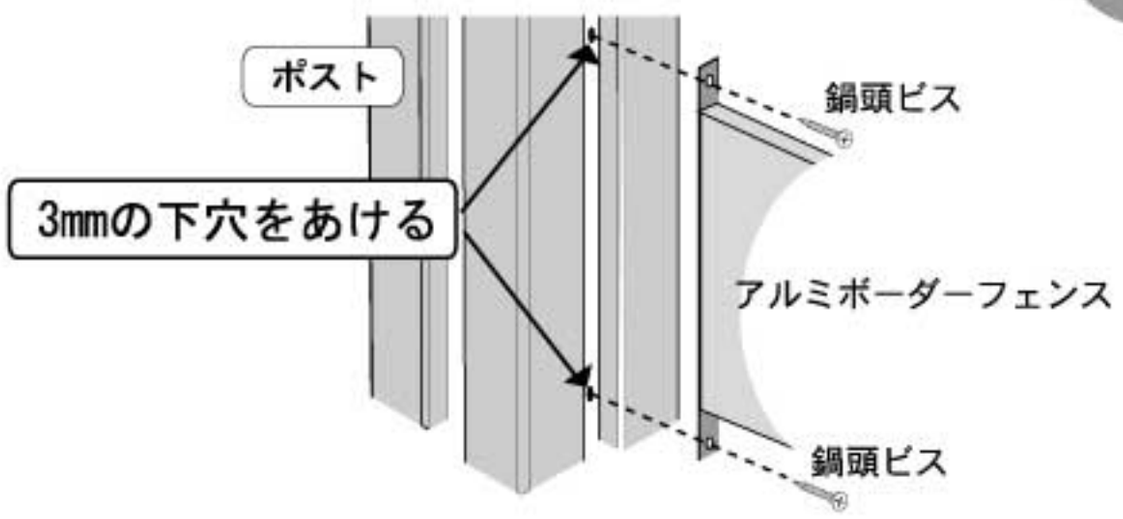
手順②　ボーダーフェンスに取付金物を取り付けます。
取付金物の凹みのある面が外側（ポスト側）になるようにして、凹み穴を
アルミボーダーフェンスのビス穴に合わせ、皿頭ビスで固定します。

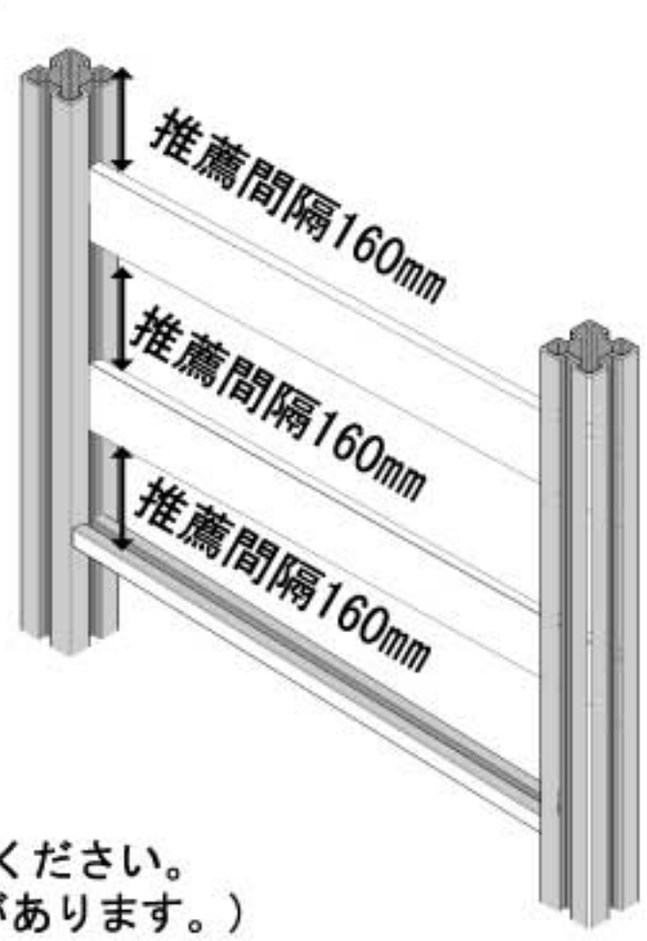


※取付金具の穴とビス穴が多少ずれても
　使用上支障はありません。
※ビスの頭が多少出ることがありますが、
　使用上支障はありません。

手順③　手順②で作成したアルミボーダーフェンスを、お好みの高さに
設定して鍋頭ビスでポストに固定します。
※鍋頭ビスを打つ際は必ずポストに下穴（3㎜）を開けて下さい。

Point
先にアルミフェンスの位置を確定させ、
ポストに下穴を開けておくと
作業がスムーズに進みます。





Point
ポストへの取付の際は力加減に注意して取付てください。
（締付けすぎると、ビスが効かなくなる可能性があります。）

（注）ポスト、笠木、フェンス受けの取付けは本組立取扱説明書 P20～24 に
　　沿って行ってください。

人工木デッキ用 ステップ〈組立手順〉

ー1段ステップ、2段ステップ、3段ステップ共通ー

◆部材確認表◆　組み立て前に部材が揃っているか確認してください。

※1段ステップ、2段ステップ、3段ステップ共通の部材表となっておりますので、お買い求の段数で部材のご確認をお願いいたします。

ボルト、ワッシャー、四角ナット
1段・・・16セット
2段・・・24セット
3段・・・32セット

L字固定金具
1段・・・2個
2段・・・4個
3段・・・6個

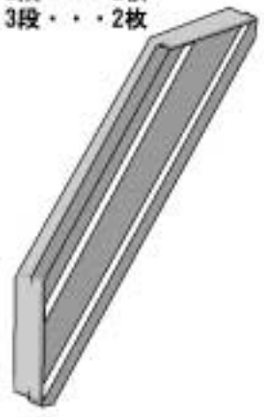
ベース金具(L)
1段・・・1個
2段・・・1個
3段・・・1個

ベース金具(R)
1段・・・1個
2段・・・1個
3段・・・1個

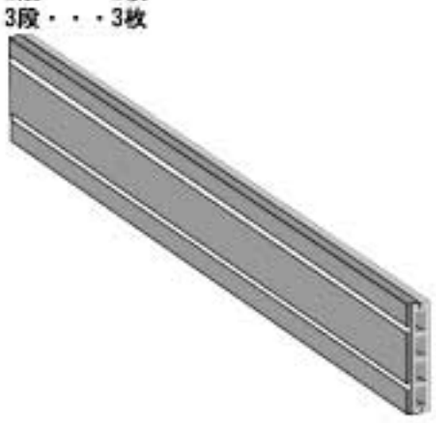
本体取り付け金具(L)
1段・・・1個
2段・・・1個
3段・・・1個

本体取り付け金具(R)
1段・・・1個
2段・・・1個
3段・・・1個

側板
1段・・・2枚
2段・・・2枚
3段・・・2枚



踏板
1段・・・1枚
2段・・・2枚
3段・・・3枚



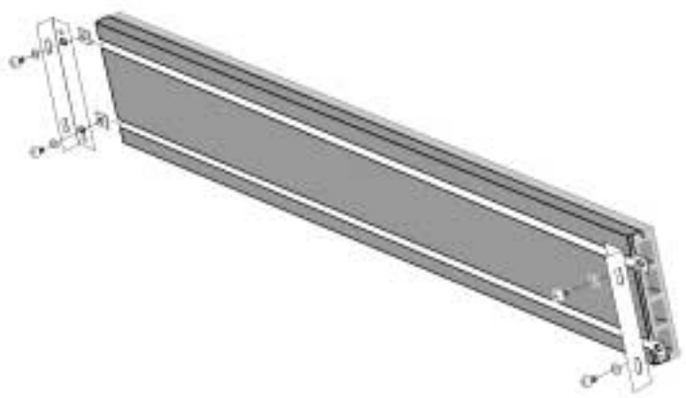
鉄板ビス　1段・・・12本
2段・・・20本
3段・・・28本

鍋ビス　1段・・・4本
2段・・・4本
3段・・・4本

六角ビス　1段・・・4本
2段・・・4本
3段・・・4本

オプション幕板固定金具
※デッキ正面にステップを取り付ける場合のみ使用
1段・・・2枚
2段・・・2枚
3段・・・2枚
鉄板ビス4本付属

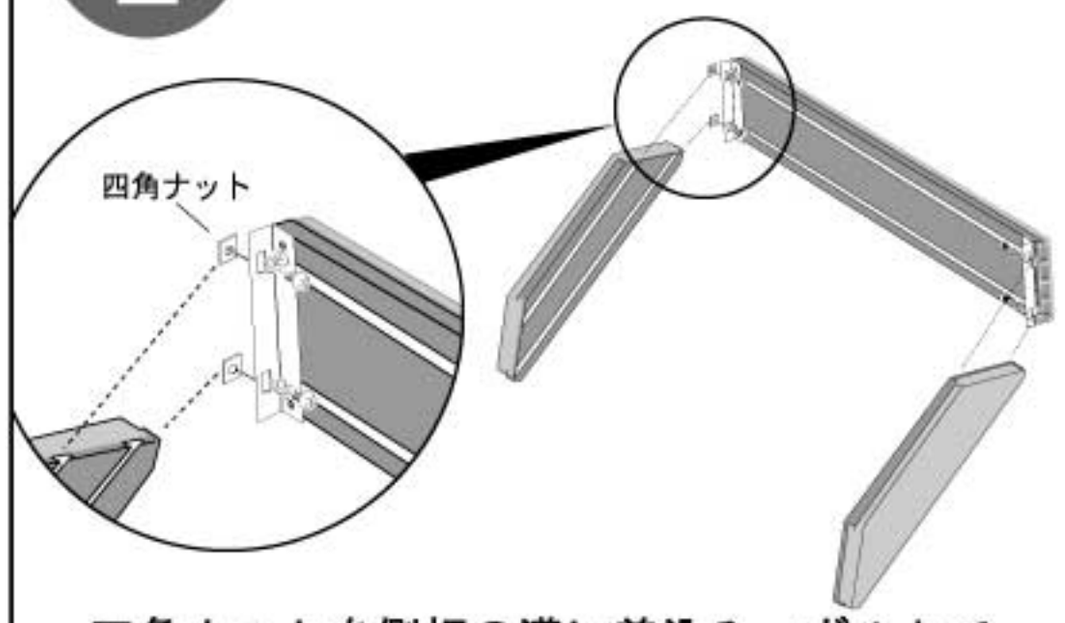
手順1　踏板にL字固定金具を取り付けます。



※四角ナットを踏板の溝に差込、
ボルトで仮締めをします。

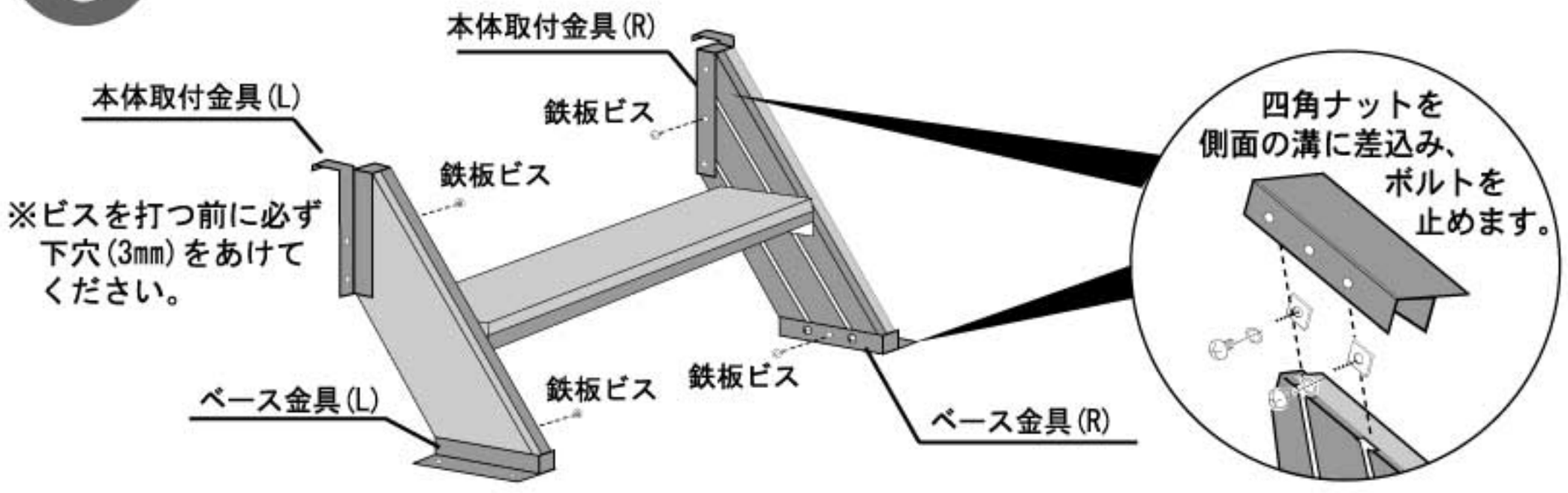
L字固定金具はこの面を踏板裏側に取り付けます。

手順2　手順１で組立てた踏板を側板に取り付けます。



四角ナットを側板の溝に差込み、ボルトで仮止めをします。※2段ステップ、3段ステップも同じように組立てます。※踏板の高さはお好みの高さで調整をしてください。

手順3　手順2で組立てたステップに本体取付金具(L,R)と、ベース金具(L,R)をボルトと鉄板ビスで取付けます。



お願い

＊組み立て施工を始める前に本書を良く読んでください。
＊ケガをしないよう、組立・施工の際は軍手等をご使用下さい。但し電動工具を
　ご使用の際は軍手をしたまま施工すると、巻き込まれる危険があります。
＊本商品はJJウッドデッキ専用に設計されておりますので、それ以外での用途での
　ご使用はご遠慮ください。
＊ご使用前に安全のご確認をお願いいたします。
＊ご不明な点がございましたら大変恐縮ですが、ご購入いただいた販売店までお尋ねください。

手順 4

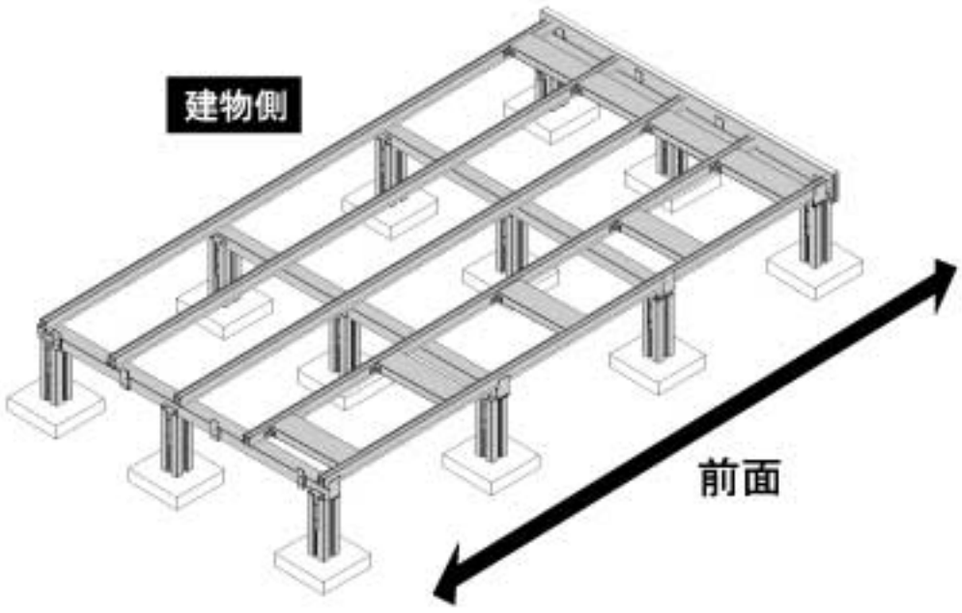
踏板の水平レベルをはかり、手順1、2で仮止めしたボルトを固定します。その後、鉄板ビスで固定します。

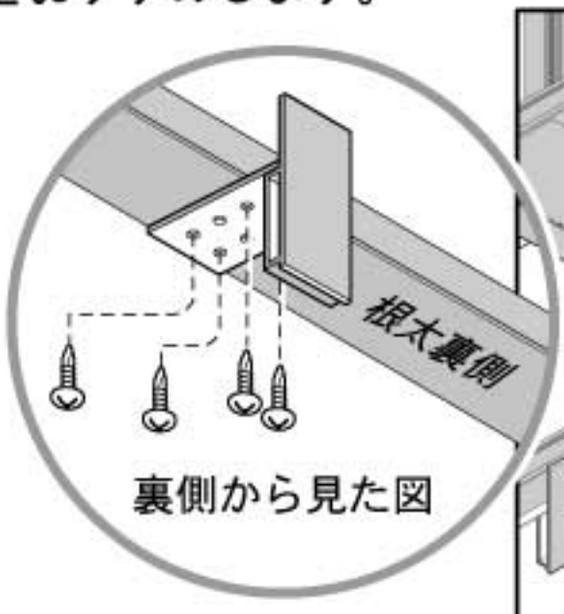
※設置予定箇所に仮置きをして、水平
　器等で水平レベル調整をします。
※高さはお好みで調整してください。
※ビスを打つ前に必ず下穴(3㎜)を
　あけてください。

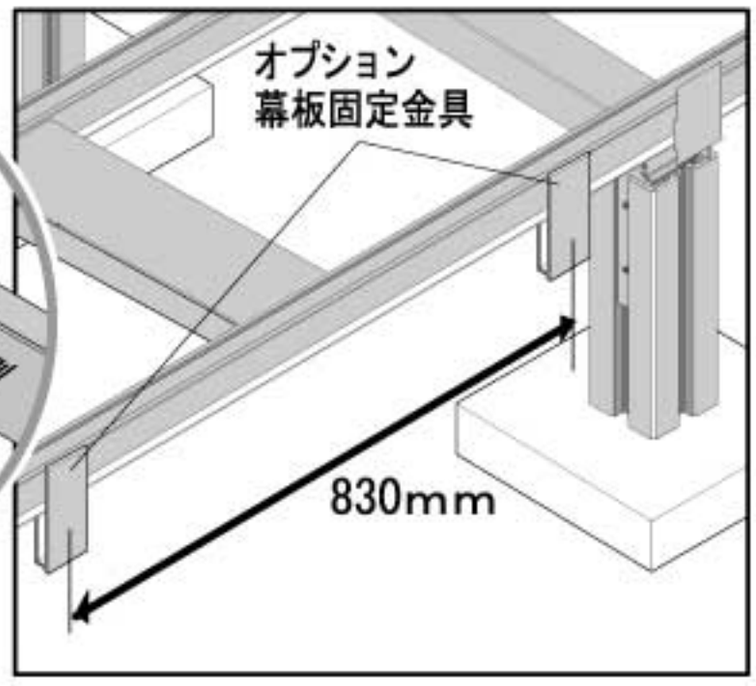
※デッキ正面にステップを取り付ける場合

「手順⑨床板取付の作業」に進む前に作業をすると楽です。

ステップを取付けたい箇所に、オプション幕板固定金具を取り付けます。
注意：その後の作業で金具は床板と幕板で隠れてしまいます。ステップ取り付け時に金具の位置が
　　わかるように目印をつけておくことをおすすめします。



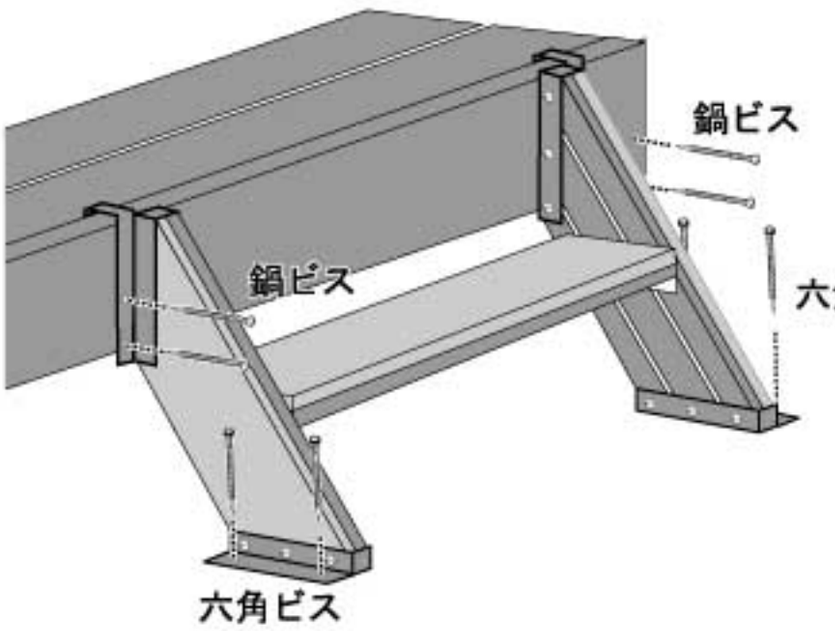




※作業が終わったら手順⑨に戻ってください。

組立てたステップをデッキ本体に取付けます。

JJウッドデッキ本体



※本体側への取り付けは鍋ビスを使用します。
　鍋ビスは本体大引き（アルミ製）まで打ち込みますので、
　必ずデッキ本体側に3㎜の下穴を
　あけてから、鍋ビスでデッキ本体に固定してください。

※お好みで平板等にアンカーを打つ場合は、六角ビスを
　使用してください。

◆ 施工上、使用上のご注意 ◆

■ 加工・塗装について

本製品は通常加工(切断、穴あけ、面取りなど)であれば木材同様の工具が使用可能です。
本製品を長さ方向へ切断しますと、変形する場合がございますので、そのような使用はお避けください。

■ 保管方法について

本製品を保管する場合は、立てかけずに平坦な場所に平置きしてください。変形の恐れがあります。
直射日光や暖房器具に近いなど、高温になる環境を避け、雨や水などのあたらない場所へ保管してください。

■ 温度特性について

本製品は原料に使用している樹脂の特性上、周囲の温度差により若干の伸縮があります。

■ 燃焼について

・本製品は可燃性ですので、周辺での火気の取り扱いには、十分ご注意ください。
・本製品の上でたき火などをしないでください。
・本製品の上で暖房器具やバーベキューコンロ等を使用しないでください。
・本製品の着火点は天然木とほぼ同じですので、天然木が燃えるような条件下では燃えてしまいます
・本製品が万が一着火、発火した場合は水散布、各種消火器にて消火してください。

■ 衝撃について

・本製品の上に重量物を落とさないようにしてください。割れやへこみ等の原因となります。
・本製品表面を傘等先端の尖ったもので突付かないでください。破損や変形の原因となります。
・本製品に強い衝撃を与えないようにしてください。破損の原因となります。

■ その他の注意事項

・日中の日差しが強い時は表面が熱くなる事がありますので、歩行の際は必ず履物を履いてご使用ください。特に小さなお子様が使用される時は十分注意してください。
・製品の特性上、隙間(目地)をあけての施工をお願いしておりますので、隙間に指等を挟まないようご注意ください。
・本製品表面に灯油、ガソリン、有機溶剤が付着した場合はすぐに拭き取ってください。変形、変色の原因となります。
・本製品の上に空き缶や鉄製の物等をおいて、長時間放置しないでください。鉄の錆等でしみができる原因となります。
・重量物を置かないでください。やむを得ず短時間だけ置く場合は敷板等を上に置いて、荷重が分散するようにしてください。

販売店名

販売日（お引渡し日）西暦　　年　　月　　日

製造元
旭興進株式会社
〒263-0003 千葉県千葉市稲毛区小深町108-1
TEL：(043)304-8881・FAX：(043)304-8882